

事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
	1	1	1	1	「特産品協会だより」発行事業	18年度～	会員相互の情報交流を深め、より売れる特産品づくりを促進するため、消費者ニーズ、流通動向、商品開発に関する情報を会報誌「鹿児島県特産品だより」として提供する。	—	会員相互の情報交流を深め、より売れる特産品づくりを促進するため、消費者ニーズ、流通動向、商品開発に関する情報を会報誌「鹿児島県特産品だより」として提供した。	会員相互の情報交流を深め、より売れる特産品づくりを促進するため、消費者ニーズ、流通動向、商品開発に関する情報を会報誌「鹿児島県特産品だより」として提供した。	会員相互の情報交流を深め、より売れる特産品づくりを促進するため、消費者ニーズ、流通動向、商品開発に関する情報を会報誌「鹿児島県特産品だより」として提供した。	継続実施予定	公益社団法人鹿児島県特産品協会	
	1	1	1	1	かごしまの特産品モニター活用事業	23年度～	消費者のニーズに対応した特産品開発を推進する。	—	消費者ニーズに対応したもののづくりを推進するため、全国500名にモニターを委嘱し、自宅での商品サンプル試用やアンケート調査を通じて、的確な市場動向の把握並びに情報の受発信に努めた。	消費者ニーズに対応したもののづくりを推進するため、全国500名のモニターによる自宅での商品サンプル試用やアンケート調査を通じて、的確な市場動向の把握並びに情報の受発信に努めた。	九州新幹線全線開業後に開発・改良された県産品等を一堂に展示・紹介し、県内の一般消費者や県内外の流通関係者から商品評価や意見等を収集するとともに、新商品等への認知度向上と市場拡大を図った。	継続実施予定	公益社団法人鹿児島県特産品協会	消費者 民間企業等
	1	1	1	1	「きりり輝け！モノづくりセミナー」事業	24年度～	「安全・安心なモノづくりを支援するため、県内特産品製造業者や団体等を対象に、流通・販売、デザイン、関係法令等の専門家によるセミナーを開催する。	—	「安全・安心なモノづくりを支援するため、県内特産品製造業者や団体等を対象に、流通・販売、デザイン、関係法令等の専門家によるセミナーを開催する。	「安全・安心なモノづくりを支援するため、県内特産品製造業者や団体等を対象に、流通・販売、デザイン、関係法令等の専門家によるセミナーを開催する。	「安全・安心なモノづくりを支援するため、県内特産品製造業者や団体等を対象に、流通・販売、デザイン、関係法令等の専門家によるセミナーを開催する。	継続実施予定	公益社団法人鹿児島県特産品協会	
	1	1	1	2	特産品コンクール開催事業	2年度～	県内で新たに開発・製造・改良された商品のコンクールを開催し、生産者の技術向上と商製品開発意欲の高揚を図るとともに、入賞商品を広くPRすることにより、販路の開拓を図る。	H22:1,100 H23:1,100 H24:1,100 H25:1,100 H26:1,100	(22年度事業実績) コンクール開催 ・出品企業数:177社 ・出品数:214品 ・入賞商品数:22品 ・ブランドショップ、イベント等で展示・販売実施 (23年度事業実績) コンクール開催 ・出品企業数:180社 ・出品数:180品 ・入賞商品数:22品 ・ブランドショップ、イベント等で展示・販売実施	1 実施方針 コンクールの開催と県内外における入賞商品PR 2 スケジュール ①出品商品募集(7月～9月) ②コンクール開催(10月) ③入賞商品展示・販売会(10月～3月) 3 事業実績 ・出品企業数:192社 ・出品数:192品 ・入賞商品数:22品 ・ブランドショップ、イベント等で展示・販売実施	1 実施方針 コンクールの開催と県内外における入賞商品PR 2 スケジュール ①出品商品募集(7月～9月) ②コンクール開催(10月) ③入賞商品展示・販売会(10月～3月) 3 事業実績 ・出品企業数:168社 ・出品数:168品 ・入賞商品数:22品 ・ブランドショップ、イベント等で展示・販売実施	1 実施方針 コンクールの開催と県内外における入賞商品PR 2 スケジュール ①出品商品募集(7月～9月) ②コンクール開催(10月) ③入賞商品展示・販売会(10月～3月)	かごしまの新特産品コンクール実行委員会 (鹿児島市鹿児島県(公社)鹿児島県特産品協会)	
	1	1	1	2	よかもん自慢支援事業	25年度～	「かごしまの新特産品コンクール」において、市長賞等を受賞した商品を対象に、受賞者が受賞商品の販路拡大を図る際の経費を助成する。	H25:636 H26:600	—	—	1 実施方針 コンクール開催後、市長賞及び県知事賞等の受賞者に対し助成(受賞した翌年度まで実施する事業に限る) 2 スケジュール (1)前年度受賞者に対する助成(4月～) (2)コンクール開催(10月) (3)当年度受賞者に対する助成(10月～) 3 H25年度実績状況 2012受賞者 2件、2013受賞者 3件	1 実施方針 コンクール開催後、市長賞及び県知事賞等の受賞者に対し助成(受賞した翌年度まで実施する事業に限る) 2 スケジュール (1)コンクール開催(10月) (2)当年度受賞者に対する助成(10月～)	産業支援課	
	1	1	1	2	アンテナショップ機能強化事業	元年度～	鹿児島市(産業会館)と東京(遊楽館)の鹿児島ブランドショップにおいて、本県特産品の総合展示や宣伝・販売を行い、特産品の「鹿児島ブランド」確立や販路拡大を図り、本県特産品の振興による地域産業の発展に寄与する。	—	1 特産品の総合展示、宣伝・紹介、販売 2 展示会、イベント 3 広報宣伝活動 本県特産品や新特産品コンクール入賞品等の紹介 4 第28回全国都市緑化フェア会場での宣伝・紹介	1 生産者や企業団体等と連携した本県特産品の総合展示、宣伝・紹介及び販売 2 特産品コンクールの入賞品や旬の特産品のタイムリーな展示、宣伝紹介及び販売 3 インターネットによる宣伝・紹介、モニターによる特産品への求票等	1 生産者や企業団体等と連携した本県特産品の総合展示、宣伝・紹介及び販売 2 特産品コンクールの入賞品や旬の特産品のタイムリーな展示、宣伝紹介及び販売 3 インターネットによる宣伝・紹介、モニターによる特産品への求票等	継続実施予定	公益社団法人鹿児島県特産品協会	
	1	1	1	2	ふるさとかごしま物産展開催事業	21年度～	県民に本県特産品等に対する理解と認識を深めてもらい、県産品の利用促進及び観光客の誘致を図る。	—	県内各地域の特産品の展示・紹介及び観光等の紹介	平成24年9月、山形屋において、県内の特産品、特に今回は奄美地域をメインとした特産品及び文化の紹介等を実施	平成25年9月、山形屋において、県内の特産品、特に今回は奄美地域をメインとした特産品及び文化の紹介等を実施	継続実施予定	公益社団法人鹿児島県特産品協会	団体、民間企業等
○	1	1	1	2	メディア等活用宣伝事業 ※H26～「観光かごしまプロモーション事業」から名称変更	S55年度～	観光客の一層の誘致を図るため、本市観光の魅力を雑誌広告やテレビCMなど、あらゆる媒体を活用しながら、宣伝広報を行う。	H23:52,293 H24:51,334 H25:52,739 H26:48,498	・メディアミックス テレビスポット、シティビジョン、駅貼りポスター、車内ポスターの実施 ・機内誌等への広告 航空機内誌、新幹線車内誌、地域情報誌等広告 ・液晶ポスター JR博多駅へ掲出 ・観光ビデオDVD 英語・中国語(簡体)版情報更新、活用 ・ETCチャラ 九州内の高速道路のSA13箇所にパンフレットを設置	・メディアミックス テレビスポット、シティビジョン、駅貼りポスター、車内ポスターの実施 ・広告 地域情報誌等広告 ・観光ビデオDVD リニューアルDVD作成 (日本語・英語・中国語・韓国語)	・メディアミックス テレビスポット、シティビジョン、駅貼りポスター、車内ポスターの実施 ・広告 地域情報誌等広告 ・観光ビデオDVD 日本語版情報更新、活用	・メディアミックス テレビスポット、シティビジョン、駅貼りポスター、車内ポスターの実施 ※効果的・効率的な広告媒体やエリア等について検討する。 ・広告 地域情報誌等広告 ・観光ビデオDVD 日本語版情報更新、活用	観光プロモーション課	
	1	1	1	2	九州新幹線全線開業効果波及促進事業	23～24年度	九州新幹線全線開業に伴い増加した観光客やビジネスチャンスを各業種、各地域に波及させる。	—	1 物産観光展でのPR及び需要拡大対策 2 とくさんひん川柳コンテストの実施 3 新商品の開発支援	吉本興業と連携事業した「鹿児島工芸看板」、「かごしま弁当」の作成や展示等を行った。	事業名・内容を変更して実施 → 新商品等開発支援事業	—	公益社団法人鹿児島県特産品協会	市町村、団体、民間企業等

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等	
														拡充
	1	1	2	新商品等開発支援事業	25年度～	九州新幹線全線開業3周年を迎え、その効果をさらに県下全域に維持・拡大させるため、全線開業後に開発・改良された県産品等を一堂に展示・紹介し、新商品等への認知度向上と市場拡大を図る。	—	—	—	九州新幹線全線開業後に開発・改良された県産品等を一堂に展示・紹介する発表会を行った。 名称：～九州新幹線全線開業3周年記念～ これぞKAGOSHIMA！自慢の逸品大発表会 日時：平成26年2月27日(木) 10時～16時 場所：かごしま県民交流センター 出品数：117社 222品目 来場者：バイヤー等50社85名、モニター100名	—	公益社団法人鹿児島県特産品協会		
○	1	1	2	農工商等連携人材育成塾開催事業	24年度～	地域の農林水産資源や技術等を活用した農工商等連携の取組を促進するため、農林漁業者や商工業者等の農工商等連携に対する理解促進や取組への意識を醸成するとともに、異業種間の連携により新たな商品・サービス等を創出する人材育成のセミナー等を開催する。	H24: 3,800 H25: 6,670 H26: 9,880	—	(1)人材育成塾の開催(9～2月) ・対象: 商工業者、農林漁業者等25名 ・内容 ①セミナー(6回) ②ワークショップ(2回) ③先進地視察(1回) ④意見交換会(1回) ⑤アドバイザーの招聘(5回分) ⑥新商品等開発プラン発表会 (2)シンポジウムの開催 ・名称: 第五次鹿児島市総合計画“食の都かごしま”チャレンジプロジェクト策定記念「農工商等連携促進シンポジウム」 ・日時: 8月24日(金) ・内容: 基調講演、パネルディスカッション	(1)人材育成塾の開催(7～2月) ・対象: 商工業者、農林漁業者等25名 ・内容 ①セミナー(8回) ②ワークショップ(4回) ③先進地視察(1回) ④意見交換会(2回) ⑤アドバイザーの招聘(5回分) ⑥新商品等開発プラン発表会 (2)トリアル試食・販売会の開催 ・日時: 3月2日(日) ・場所: 山形屋ベルグ広場 ・参加者: 11者(予定) (3)アドバイザー派遣(実績8件)	(1)人材育成塾の開催 (2)トリアル試食・販売会の開催 (3)県内他都市の事業者とのマッチング交流会 (4)アドバイザー派遣(20件)	産業創出課	市町村、民間企業等	
	1	1	2	農工商等連携支援事業	20～24年度	中小企業者と農林漁業者との出会いの場や交流の機会を提供するとともに、啓発や研修等を通じて、農工商連携事業のきっかけ作りを試みる。	—	・農工商出合い交流会 ・農工商連携勉強会 ・農工商連携推進大会 ・農工商連携セミナー ・農工商連携モデルケース見学会 ・広報事業	・農工商出合い交流会 ・農工商連携勉強会 ・農工商連携推進大会 ・農工商連携セミナー ・農工商連携モデルケース見学会 ・広報事業	—	—	県工業倶楽部等		
	1	1	2	地域資源活用・農工商等連携促進プログラム事業	20～29年度	多種多様な本県の地域資源の、より効果的な活用や新たな地域資源の開発による新事業創出、農林水産業者との連携により互いの経営資源を活用した新商品、新サービスの開発に向けて中小企業等が行う研究開発、試作品製作、販路開拓等を支援し、起業化や新事業の展開を促進する。	H24: 17,369 H25: 20,303 H26: 29,906	地域資源活用・農工商連携促進プログラム事業 助成件数 ・ 20年度 3件 ・ 21年度 2件 ・ 22年度 4件 ・ 23年度 6件	助成 12件	助成 12件	継続実施予定	(公財)かごしま産業支援センター(新産業育成課)	県、大学、公設試等	
	1	1	2	農工商等連携推進事業	22～24年度	中小企業者と農林漁業者が相互に連携し、本県の良質で豊富な農林水産物を活用した新たな商品やサービスなどを開発する農工商等連携を促進することにより、地域経済の活性化を図る。	H23: 2,126 H24: 2,554	(22年度事業実績)※鹿児島市関係のみ ①農工商等連携フォーラムの開催(1回) 開催日: 平成22年10月  (23年度事業実績)※鹿児島市関係のみ ①農工商等連携フォーラムの開催(2回) 開催日: 平成23年9月、平成24年3月 ②農工商等連携テーマ別検討会の開催(2回) 開催日: 平成24年1月、平成24年2月	1 農工商等連携成功モデル創出検討会の開催 農工商等連携により新商品開発等に取り組み中小企業者等の課題解決を図るため、専門家による指導・助言を行う。  2 農工商等連携事例集の作成 県内における農工商等連携などの取組事例や支援策等を紹介する事例集を作成する。	—	—	県(産業立地課)	県工業倶楽部等	
	1	1	2	3	アグリクラスター構想事業	18年度～	①「地産・地消」への取り組み ②「商品力向上・販路拡大」への取り組み (ビジネスマッチング)	—	【平成23年度実績】 国内商談会 8回(参加企業198社 成約先数66社) 海外商談会 5回(参加企業40社 成約先数22社)	【平24年度実績】 国内商談会 8回 海外商談会 2回	【平25年度実績】 国内商談会 7回 海外商談会 2回	継続実施予定	鹿児島アグリ&フード金融協議会(国内商談会開催のみ)	
	1	1	3	1	桜島・錦江湾資源活用商品創出支援事業	25年度～	桜島・錦江湾の地域資源を活用した商品・サービスの開発や販路開拓等を支援するとともに、商品開発などを担う人材を育成することで、地域ブランドを活用した新商品等の開発を支援する。	H25: 644 H26: 9,193	—	—	(1)資源可能性調査 (2)商品等開発勉強会の開催準備 (3)桜島・錦江湾の地域資源を活用した商品等の開発支援準備 (4)(3)で開発を行った商品の販路開拓支援準備	(1)商品等開発勉強会の開催 (2)桜島・錦江湾の地域資源を活用した商品等の開発支援 (3)(2)で開発を行った商品の販路開拓支援を継続実施予定	産業創出課	
	1	1	4	1	新商品創出支援事業	18年度～	消費者ニーズに即した「価値を高めた売れるモノづくり」を促進する。	—	特産品の製造者や関係団体等を対象にした「きらり輝け！魅力ある特産品セミナー」の開催	特産品の製造者や地域特産品協会等を対象に、流通やデザイン、関係法令等の専門家による研修会を実施	未定	—	公益社団法人鹿児島県特産品協会	
	1	1	4	1	新事業創出支援事業 (複数の事業の総称 ・農工商連携支援事業 ・地域資源活用支援事業)	17年度～	法律に基づく新連携、地域資源活用、農工商連携の各事業計画の認定を目指す中小企業者等に対して、事業計画作りから、販路開拓に至るまで、一貫して支援を図る。	—	○窓口相談 ○認定に向けた事業計画策定のアドバイス支援 ○認定後の事業計画のフォローアップ支援 ・市場調査、商品企画、試作品開発等のサポート ・首都圏等の販路開拓に係るサポート ○各種の専門家の派遣 ○鹿児島県の認定件数(累計) ①新連携 : 6件 ②地域資源活用 : 18件 ③農工商連携 : 11件	○実施内容は同左 ○鹿児島県の認定件数(当該年度) ①新連携 : 0件 ②地域資源活用 : 3件 ③農工商連携 : 0件	○実施内容は同左 ○鹿児島県の認定件数(当該年度) ①新連携 : 1件 ②地域資源活用 : 2件 ③農工商連携 : 1件	継続実施予定	中小企業基盤整備機構	国、県、中小企業支援機関

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充 の 方向性	振興の 基本方針	推進 施策	主な 取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
	1	1	4	1	23年度～	かごしまこだわり商談会・展示会 ※H26に「かごしまこだわり「食」商談会」から名称変更	H24:400 H25:400 H26:500	23年度 ①商談会名:かごしま・こだわり「食」商談会 ②日時:H24年2月9日 ③会場:鹿児島商工会議所 ④参加企業 バイヤー 13社 売り手企業33社 ⑤商談件数 188件	食品関連の優れた商品や特色のある商品を有する中小企業の販路開拓を支援するため、新たな取引や取扱代理店となる可能性のある有力企業のバイヤー等を招へいし商談会を開催する。 H25年2月28日(木)開催 会場:鹿児島商工会議所 ①個別商談会…出展企業とバイヤーとの商談会 ②商談件数 189件	食品関連の優れた商品や特色のある商品を有する中小企業の販路開拓を支援するため、新たな取引や取扱代理店となる可能性のある有力企業のバイヤー等を招へいし商談会を開催する。 H26年2月27日(木)開催 会場:かごしま県民交流センター ①個別商談会…出展企業とバイヤーとの商談会 ②展示会…県産品の展示 ③商談件数 199件	継続実施予定	商工会議所	
	1	1	4	1	—	かごしまコーディネーター会議の開催	0	数回の会議を開催した。	数回の会議を開催した。	3回の会議を開催した。 1)平成25年5月9日 2)平成25年9月2日 3)平成26年2月18日	数ヶ月に1回の会議を開催予定	鹿児島大学産学官連携推進センター	県内関係機関
	1	1	4	1	24年度～	農産加工設備整備支援事業	H24:378 H25: 0 H26: 0	—	・農産加工設備整備 (実施場所) 小山田地区 内容:食品乾燥機、製粉機等の設置 小松菜等の乾燥粉末を製造・販売や加工品への利用	要望があれば、支援を検討	要望があれば、支援を検討	農業者団体等 (生産流通課)	
	1	1	4	2	—	鹿児島大学ラボツアー事業	—	平成23年11月4日に農学部の研究シーズを中心に「ラボツアー」を開催した。	産学官連携推進センターは、2012年8月24日、「鹿児島大学ラボツアー～分析機器公開」を開催し、産業界や研究機関等から関係者43名が参加しました。 鹿児島大学には、地域産業の発展に寄与するために産学官で設置した分析機器の拠点「鹿児島イノベーションセンター」と、教育・研究用の分析機器を設置した「自然科学教育研究支援センター-機器分析施設」があります。今回のラボツアーは、施設の分析機器を一般に公開し、機器操作を体験することで、大学の機器を分析測定や技術開発に活用いただき、ひいては共同研究などへの発展も期待して企画したものです。	産学官連携推進センターは、2013年9月18日に(公財)かごしま産業支援センターと共同で、「鹿児島大学ラボツアー」を開催しました。 ラボツアーは、地域企業と大学との交流・情報交換を目的として継続的に行われているものです。今年度第1回目は水産学部水産学科教員5名の研究シーズ紹介と研究室訪問が行われ、地域企業の方など95名が参加しました。 安楽和彦准教授は、魚の目が光を吸収する特徴などの研究に基づくLED集魚灯開発、進藤雅准教授は加工残滓であるトビウオの頭や中骨を利用した魚骨、塩崎一弘助教は、小型魚類を利用したヒト疾病を防ぐための糖鎖研究、杉山靖正准教授と小松正治准教授は、海洋生物の未利用資源から得られる生理活性物質の研究などの事例を紹介しました。 後半は、研究室訪問が行われました。シーズの紹介の際には時間の制約もあり説明できなかった研究内容の補足説明や研究設備・機器の説明などが行われました。参加者は関心のある研究室を巡り、分析可能なサンプルについてなど具体的な質疑応答が行われました。	継続実施予定	鹿児島大学産学官連携推進センター	かごしま産業支援センター
	1	1	4	2	—	テクニカルショウ横浜2014への出展	200	2012年2月1日から3日にかけてパシフィコ横浜(神奈川県横浜市)にて開催されたテクニカルショウ2012に鹿児島大学の研究シーズを出展しました。今回は食・農に関する研究成果を主に展示しました。さらに、鹿児島大学の連携先である鹿児島県工業倶楽部の会員企業2社の商品・技術紹介も行いました。3日間を通じて300名以上の来訪があり、様々な情報交換を行うことができました	2013年2月6日から8日にかけて神奈川県横浜市にて開催された「テクニカルショウヨコハマ2013」に鹿児島大学ブースを出展しました。このテクニカルショウヨコハマは、平成21年に財団法人横浜企業支援財団と本学との間で締結した連携協定をきっかけに参加するようになり、本年で4回目の参加となりました。今回、理工学研究所(工学系)機械工学専攻の余永准教授らの「促進反復療法に基づく片麻痺指・前腕・上肢機能回復訓練装置の開発」を試作機と共に展示すると同時に、鹿児島市とも連携しての鹿児島市のPRを行いました。	2014年2月5日から7日にかけて神奈川県横浜市にて開催された「テクニカルショウヨコハマ2014」に鹿児島大学ブースを出展しました。このテクニカルショウヨコハマは、平成21年に財団法人横浜企業支援財団と本学との間で締結した連携協定をきっかけに参加するようになり、本年で5回目の参加となりました。今回、学術情報基盤センターの小田助教のクラウドとスマートフォン関連の技術の展示を行いました。	2016年2月頃に予定されている同展示会に出展予定。	鹿児島大学産学官連携推進センター	横浜企業支援財団
	1	1	4	2	—	企業・大学研究者のマッチング業務	0	年間200件程度の相談に対応している。	年間200件程度の相談に対応している。	年間200件程度の相談に対応している。	継続実施予定	鹿児島大学産学官連携推進センター	
	1	1	4	2	22～24年度	イノベーションシステム整備事業「大学等産学官連携自立化促進プログラム(コーディネーター支援型)」	9,298	・公務事業の獲得、研究シーズ集の発行、HPの充実等研究成果の技術移転活動。 ・次期中核コーディネーターと地域のコーディネーターとの連携強化、産学支援コーディネーター会議:年3回実施。 ・大学と地域産業との連携強化、共同研究活動支援。	・産学支援コーディネーター会議の実施:3回 ・九州沖縄地域会議:2回 ・ラボツアー:2回 ・かごしま産学官交流会:1回(次世代エネルギーと地域の取り組み) ・工業倶楽部との連携:食と健康に関するシンポジウム ・外部資金の獲得支援:共同研究(60件)、受託研究(92件)	—	—	(文部科学省)	鹿児島大学産学官連携推進センター
	1	1	4	2	25年度～	おおた研究・開発フェア	200	—	H24年度に展示会事務局より参加の打診を受け、出展する運びとなった。	平成25年10月3,4日にかけて鹿児島大学の研究者2名とパネル展示を行った。	平成26年度も出展予定	鹿児島大学産学官連携推進センター	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充 振興の 方向性	基本 方針	推進 施策	主な 取組 み	事業・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等	
	1	1	4	3	口蹄疫対策地域活性化事業	23～27年度	口蹄疫の発生により影響を受けた本県地域経済の速やかな回復に向けた必要な施策を実施することを目的として「口蹄疫対策地域活性化基金」を設置してその運用益により事業を実施する。	H24: 81,004 H25: 79,057 H26: 104,200	県内の地域経済活性化対策として、助成事業を実施。 (1) 地域再生・元気づくりイベント等支援事業 ・ 共生・協働型の商店街活性化事業 0件 ・ 大規模イベント事業 4件 ・ プレミアム付地域商品券発行事業 6件 (2) かごしま黒牛・黒豚販路開拓事業 5件 (3) 観光活性化対策事業 1件	県内の地域経済活性化対策として、助成事業を実施。 (1) 地域再生・元気づくりイベント等支援事業 ・ 共生・協働型の商店街活性化事業 3件 ・ イベント開催事業 8件 (2) 本県産牛肉・豚肉ギフト券付 地域商品券発行支援事業 6件 (3) かごしま黒牛・黒豚販路開拓事業 7件 (4) 観光活性化対策事業 1件	県内の地域経済活性化対策として、助成事業を実施。 (1) 地域再生・元気づくりイベント等支援事業 ・ 共生・協働型の商店街活性化事業 3件 ・ イベント開催事業 8件 (2) 県産牛肉・豚肉ギフト券付 地域商品券発行支援事業 5件 (3) かごしま黒牛・黒豚高付加価値 PR推進事業 4件 (4) 観光活性化対策事業 1件 (5) 地場畜産物の需要拡大対策事業 1件	継続実施予定 (平成27年度まで)	(公財)かごしま産 業支援センター (新産業育成課)	県、市町村、商工団 体、観光団体等
	1	1	4	3	物産観光展開催事業	元年度～	本県特産品や観光、文化、地域情報等を総合的に紹介し、本県のイメージアップ並びに特産品の振興を図るため、本協会の自主事業として国内百貨店及び量販店数十箇所で開催等を開催するほか、鹿児島県及び鹿児島市等と連携し国内数力所の百貨店等において、物産観光展を開催し、特産品の販路拡大や観光客の誘致促進により、本県地域産業の発展を図る。	—	1 協会主催物産観光展 国内百貨店等36箇所で開催 2 県主催物産観光展 国内5百貨店で開催 3 鹿児島市主催物産観光展 国内2百貨店で開催	1 協会主催物産観光展 国内主要消費地の百貨店等で実施 2 県主催物産観光展 国内5百貨店等において、知事等がトップセールス を行う物産観光展を実施する。 3 鹿児島市主催物産観光展 国内の百貨店において、市長等がトップセールス を行う物産観光展を開催する。	1 協会主催物産観光展 国内主要消費地の百貨店等で実施 2 県主催物産観光展 国内5百貨店等において、知事等がトップセールス を行う物産観光展を実施する。	継続実施予定	公益社団法人鹿 児島県特産品協 会 鹿児島県 鹿児島市	
○	1	1	4	3	6次産業化推進事業	24年度～	新たに、本市特産品を活用した農業の6次産業化を推進するため、研修会の開催や販売促進活動に対する支援を行う。	H24: 327 H25: 303 H26: 1,342	—	1. 6次産業化の推進 ・ 研修会 ・ 先進地研修 ・ リーフレット作成 2. 販路促進支援事業 ・ 販売促進活動への助成(物産展等への参加助成)	1. 6次産業化の推進 ・ 6次産業化研修会 ・ 農産加工品新商品開発研修会 2. 販路促進支援事業 ・ 物産展等への参加助成(旅費等補助)	1. 6次産業化の推進 ・ 農産加工品新商品開発研修会 2. 販路促進支援事業 ・ 物産展等への参加助成(旅費等補助) 3. 先進地研修支援事業 ・ 先進地研修への助成(旅費等補助) 4. 新商品開発支援事業 ・ 新商品開発経費への助成(委託料等補助)	生産流通課	
	1	1	4	3	特産農産物育成事業	17年度～	市内産特産品であるニガウリ、桜島大根、桜島小ミカン等の消費拡大をすすめる、経営の安定を図るため、生産者団体などが行う販売促進活動に係る経費に対し助成等を行う。	H23: 5,879 H24: 4,773 H25: 5,461 H26: 5,472	(1)特産物販売促進 生産者販売促進 ニガウリ、大根4名、岐阜3名 茶手もみ実演 3回(6月、11月、12月) テレビ販売促進 名古屋 桜島大根フェア 1月～2月 (2)特産物県外キャンペーン推進事業 市長トップセールス 5月 大丸神戸店、新茶 12月 新青森駅、桜島小ミカン 1月 福岡三越 桜島大根 2月 品川ジャスコ 桜島大根 生産者販売促進 加工品、福岡三越、6人 桜島小ミカン、鹿児島遊楽館 小学校(東京)など	(1)特産物販売促進 茶手もみ実演 4回(5月、8月、11月、12月) マッチングフェア 2月 東京 桜島大根フェア 1月～2月 (2)特産物県外キャンペーン推進事業 市長トップセールス 7月 京セラドーム 農産加工品 8月 静岡伊勢丹 ニガウリ 2月 イオン北花田店 桜島大根 特産物消費拡大 PR 緑茶 イオン福津店 桜島大根 東京 農産加工品 大阪、福岡など 桜島小ミカン 鹿児島遊楽館 小学校(東京)	(1)特産物販売促進 茶手もみ実演 茶 東京 10月 4回(5月、6月、11月、12月) マッチングフェア 福岡 10月 桜島大根フェア 1月～2月 (2)特産物県外キャンペーン推進事業 市長トップセールス 7月 神戸さんちか ニガウリ 8月 京セラドーム 農産加工品 1月 柿安本店 桜島大根 2月 札幌 桜島大根 2月 イオン伊丹昆陽店 桜島大根 特産物消費拡大 PR 農産加工品 イオン伊丹昆陽店 桜島大根 東京 ニガウリ 神戸 桜島小ミカン 鹿児島遊楽館 小学校(東京)など	継続実施予定	生産流通課	
	1	1	4	3	販路拡大推進事業	元年度～	グローバル化の中で、産地間競争や類似商品の氾濫等により市場競争は激化するとともに、消費者ニーズや小売市場は多様化していることから、国内外の市場動向や消費者ニーズの把握、関連業界との連携強化等により有利な市場展開を行い、本県特産品の国内外への販路拡大を図る。	—	1 国内販路開拓 ・ 量販店や業務店等との商談・意見交換会の実施 ・ 量販店での特産品フェアや新商品等のテスト販売等の実施 2 海外販路開拓 ・ 海外輸出を支援する商談会、産地PR、セミナー実施 ・ 台湾、上海への輸出可能性調査の実施 ・ 香港、シンガポール、台湾の小売店やレストランでの特産品フェアの実施 3 国内外のフェア会場での観光親善大使や大島袖クイーンによる特産品や観光等の宣伝・紹介	1 国内販路開拓 ・ 商談会やフェア等による小売店等の業態別販売戦略の構築 ・ ギフト商品や新商品等のテスト販売など 2 海外販路開拓 ・ 海外輸出を支援するセミナーの実施 ・ 海外への輸出可能性調査の実施 3 国内外における観光と連携した商品開発や宣伝販売	1 国内販路開拓 ・ 商談会やフェア等による小売店等の業態別販売戦略の構築 ・ ギフト商品や新商品等のテスト販売など 2 海外販路開拓 ・ 海外輸出を支援するセミナーの実施 ・ 海外への輸出可能性調査の実施 3 国内外における観光と連携した商品開発や宣伝販売	継続実施予定	公益社団法人鹿 児島県特産品協 会	
	1	1	4	3	かごしまの工芸品匠展開催事業	23年度～	本県には、大島袖や薩摩焼、川辺仏壇をはじめ多くの工芸品があり、これらを広く県内外に宣伝・紹介し理解と認識を高めてもらうとともに、需要の喚起による販路拡大を図る。	—	1 PR資材(工芸品パンフレット)の整備 2 「鹿児島県の工芸品匠展」の開催 3 「かごしまが誇る 用と美の器展」の開催 (テーブルウェア・フェスティバル2012出展)	1 本県工芸品の普及啓発並びに需要拡大を促進するため、工芸品を一室に展示紹介し、製作体験等が出来る「かごしまの工芸品「匠」展」を開催する。	本場大島袖協同組合と連携し、一般消費者を対象に本場大島袖の着用機会を創出し、旬の食と伝統的工芸品を楽しむ集いを開催した。	継続実施予定	公益社団法人鹿 児島県特産品協 会	県、民間企業等
	1	1	4	3	WIN-WINネット業務	23年度～	弊行の取引先である多くの中小企業・個人事業主が厳しい経営環境にある中、弊行が新たな販路開拓、もしくは事業運営の改善について支援を行うなど、積極的に取引先事業者に関与し、取引先事業者の売上高増加と営業利益の改善を実現させる。	非公開	1、実施方針 弊行の取引先である多くの中小企業・個人事業主が厳しい経営環境にある中、弊行が新たな販路開拓、もしくは事業運営の改善について支援を行うなど、積極的に取引先事業者に関与し、取引先事業者の売上高増加と営業利益の改善を実現させる。	1、実施方針 弊行の取引先である多くの中小企業・個人事業主が厳しい経営環境にある中、弊行が新たな販路開拓、もしくは事業運営の改善について支援を行うなど、積極的に取引先事業者に関与し、取引先事業者の売上高増加と営業利益の改善を実現させる。	継続実施予定	南日本銀行	外部専門機関 外部コンサルタント等	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
1	1	4	3	『食の魅力』発見プロジェクト	23～24年度	地方の「優れた食材」に販促の機会とノウハウを提供し、「食の資源」探求に積極的なパイヤーとの商談の機会を創出する。	非公開	1 実施状況(参加者数は弊行誘致分) (1)H23年7月 『食の魅力』発見プロジェクト2011 6社	1 実施方針 地方の「優れた食材」に販促の機会とノウハウを提供し、「食の資源」探求に積極的なパイヤーとの商談の機会を創出する。 2 スケジュール (1)H24年7月 『食の魅力』発見プロジェクト2012 3社	—	—	『食の魅力』発見プロジェクト実行委員会 (南日本銀行)	第二地方銀行協会
1	1	4	3	むらおこし事業等地域活性化事業	—	全国の地域資源等を活用して開発された特産品を中心に、各地域の特色を生かした商品の成果普及や関係者の情報交換を積極的に行うとともに、各地の観光PRを行い、産業おこしによる地域経済の活性化自立化に寄与することを目的とする。	H24:1,800	(1)ニッポン全国物産展 ①開催日:平成23年11月25～27日 ②開催場所:東京池袋サンシャインシティ ③参加企業(全国):401社 (内、鹿児島県:9社) (内、かごしま市商工会管内:2社) (2)九州新幹線全線開業イベント物産展 ①開催日:平成23年11月12～13日 ②開催場所:博多駅前広場	(1)ニッポン全国物産展 ①開催日:平成24年11月23日～25日 ②開催場所:東京池袋サンシャインシティ ③参加企業(全国):362社 (内、鹿児島県9社)(かごしま市商工会なし) (2)むらおこし特産品紹介フェア ①開催日:平成24年7月13日～15日 ②開催場所:イオン鹿児島 ③参加企業:6社(かごしま市商工会のみ)	(1)ニッポン全国物産展 ①開催日:平成25年11月22日～24日 ②開催場所:東京池袋サンシャインシティ ③参加企業(全国):361社 (内、鹿児島県8社)(かごしま市商工会 1社出展)	※ニッポン全国物産展は継続実施の予定	全国商工会連合会 (鹿児島県商工会連合会・かごしま市商工会)	
1	1	4	3	販路開拓支援事業 (鹿児島アグリ&フード金融協議会)	21年度～	鹿児島銀行、南日本銀行、鹿児島相互信用金庫、鹿児島信用金庫、奄美大島信用金庫、鹿児島興業信用組合が構成金融機関となり、南九州地域の農業・食料を中心とした産業振興に資する事業等の実施において連携・協力を行うことにより、地域の経済活性化に寄与することを目的とする。	—	1 実施状況(参加者数は弊行誘致分) (1)H21年10月 「南の逸品商談会 in Tokyo」 (2)H22年3月 「新幹線直通ルート商談会」 (3)H22年6月 「福岡ギフトショー」 (4)H22年9月 「南の逸品商談会 in Tokyo」 (5)H23年3月 「南の逸品 発掘フェア in Osaka」 (6)H23年10月 「南の逸品商談会 in Tokyo」 (7)H24年2月 「かごしまの逸品商談会」	1 実施方針 引き続き南九州地域の農業・食料を中心とした産業振興に資する事業等の実施において連携・協力を行うことにより、地域の経済活性化に寄与していく。 2 スケジュール (1)H24年9月 「南の逸品商談会 in Tokyo」 (2)H24年9月 「イトーヨーカ堂商談会」 (3)H25年1月 「第2回かごしまの逸品商談会」	1 実施方針 引き続き南九州地域の農業・食料を中心とした産業振興に資する事業等の実施において連携・協力を行うことにより、地域の経済活性化に寄与していく。 2 スケジュール (1)H25年6月 「福岡ギフトショー」 (2)H25年6月 「東急ハンズ熊本商談会」 (3)H25年9月 「南の逸品商談会」 (4)H26年1月 「かごしまの逸品商談会」	継続実施予定	鹿児島アグリ&フード金融協議会 (鹿児島銀行)	鹿児島銀行、鹿児島相互信用金庫、鹿児島信用金庫、奄美大島信用組合、奄美信用組合
1	1	5	1	農林水産物地産地消推進事業	17年度～	豊富な市内産特産農林水産物を広く市民に紹介するため、「市内産農産物旬のキャンペーン」「食の産地交流会」「旬のクッキング教室」を開催し、旬の味を市民に提供するとともに、産地の紹介や安全への取組、食材のもつ機能性・料理方法等を紹介し、地産地消を推進する。	H23:1,764 H24:1,764 H25:2,664 H26:2,664	(1)市内産農産物旬のキャンペーン(年3回) 市内産特産農産物の市民へのPR販売 6月(アミュ広場)、8月、12月(山形屋) (2)食の産地交流会(年3回) 市内消費者の産地見学と意見交換 8月(ナス)、10月(軟弱野菜)、12月(桜島小ミカン) (3)旬のクッキング教室(年6回) 市内産の旬の野菜等のPRと料理方法の紹介 6月、7月、8月、12月、1月、2月 市内の公民館等で開催	(1)市内産農産物旬のキャンペーン(年3回) 市内産特産農産物の市民へのPR販売 6月(アミュ広場)、8月(山形屋)、12月(アミュ広場) (2)食の産地交流会(年3回) 市内消費者の産地見学と意見交換 8月(ナス)、10月(軟弱野菜)、12月(桜島小ミカン) (3)旬のクッキング教室(年6回) 市内産の旬の野菜等のPRと料理方法の紹介 6月、7月、8月、10月、1月、2月 市内の公民館等で開催	(1)市内産農産物旬のキャンペーン(年3回) 市内産特産農産物のPR販売 6月、8月(山形屋)、12月(アミュ広場) (2)食の産地交流会(年3回) 市内消費者の産地見学と意見交換 8月(ナス)、2月(青のり)、3月(ナバナ) (3)旬のクッキング教室(年6回) 市内産の旬の野菜等のPRと料理方法の紹介 6月、7月、8月、11月、1月、2月 市内の公民館等で開催 (4)暮れの市 地域通り会と連携し、市内産特産農産物のPR販売	継続実施予定	鹿児島市農産物等流通促進協議会 (生産者団体、県、市)	
1	1	5	1	そうしん「うまかもん市」	21年度～	地産地消ネットワークづくりの一環として鹿児島県内の地域産品(農産・水産・畜産・加工品)生産・販売業者の新規開拓と販売機会の拡大をサポートする。マッチングフェア事業等を通じてダイエーとつながりがあることから、全国に先駆けてモデルケース企画として共同開催している。	—	—	平成24年度は11月1日～4日にダイエー鹿児島店で実施した。	次の2回開催 ①平成25年5月30日(木)～6月2日(日) ②平成26年1月30日(木)～2月3日(月) 内①は「スイーツフェア」としてお菓子等を中心に出店者を募り、開催。 ②は、「鹿児島うまかもん市in福岡」として、ダイエー笹丘店(福岡市中央区)にて開催	県内・県外のダイエーにて鹿児島県の「うまいもん」を周知できるように開催を続ける	鹿児島相互信用金庫	ダイエー
1	1	5	1	そうしん「小さな地産・地消支援ネットワーク」	21年度～	小規模・零細企業を中心とした農水産物生産者、食品加工業者など支店取引先の食材、農水産物や特産品を惣店間の店頭にて展示・紹介し、販路拡大支援をサポートする。 過去13回実施	—	—	平成24年度は8月21日に本店営業部敷地内にて開催した。	①平成25年8月21日に当金庫鹿屋支店 ②平成25年8月23日に当金庫大小路支店	日程未定	鹿児島相互信用金庫	
1	1	5	2	かごしま地産地消推進店の登録	18年度～	県産農林水産物を積極的に活用している飲食店等を「かごしま地産地消推進店」として登録することを通じて、飲食店等における地産地消の取組拡大や県産農林水産物の消費者への理解促進と消費拡大を推進する。	H22:93 H23:60	・年4回(4、7、12、1月)登録 ・登録累計423店(うち鹿児島市分155店)	引き続き年4回の登録を実施	引き続き年4回の登録を実施	※平成27年度まで実施予定	かごしまの“食”交流推進会議 (事務局:県農政課)	
1	1	6	1	プロモーション推進事業(企業誘致)	19年度～	鹿児島の魅力を積極的に発信・アピールし、退会・会議・イベントの誘致、観光客の誘致、企業の誘致、特産品・農産品の販路拡大などにつながる活動を推進する。	H23:10,241 H24:15,375 H25:16,036 H26:17,014	(23年度事業実績) ・特産品・農産品のPR 市長トップセールス、桜島大根PR等 ・情報発信 季節ごとの情報、話題性のある情報の発信 ・コンベンションの誘致 団体誘致訪問等 ・スポーツ大会の誘致 各競技団体誘致訪問等 ・企業誘致 企業訪問、情報提供等 ・その他 雑誌等取材協力、ポータルセールス等	・特産品・農産品のPR 市長トップセールス、桜島大根PR等 ・情報発信 季節ごとの情報、話題性のある情報の発信 ・コンベンションの誘致 団体誘致訪問等 ・スポーツ大会の誘致 各競技団体誘致訪問等 ・企業誘致 企業訪問、情報提供等 ・その他 雑誌等取材協力、ポータルセールス等	・特産品・農産品のPR 市長トップセールス、桜島大根PR等 ・情報発信 季節ごとの情報、話題性のある情報の発信 ・コンベンションの誘致 団体誘致訪問等 ・スポーツ大会の誘致 各競技団体誘致訪問等 ・企業誘致 企業訪問、情報提供等 ・その他 雑誌等取材協力、ポータルセールス等	継続実施予定	かごしまプロモーション推進室	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
	1	1	6	1	22年度～	九州新幹線全線開業の経済効果を最大限に受け入れるために、当所が中心となって組織する「九州新幹線全線開業経済効果最大プロジェクト」との連携を図り、様々な観光振興策を展開する。また、鹿児島県の「新幹線効果活用プラン」等への参画、協力をはじめ、行政・関係団体等と連携を図るとともに、商工会議所のネットワークを活用した独自の取り組みを実施する。	—	23年度 ・関西におけるプロモーション事業(関西かごしまファンデーへの出展、かごしま交流懇話会in大阪、京阪神商工会議所訪問等) ・中国地方でのプロモーション事業(広島・鹿児島交流会議、かごしまの観光と食のタペイン広島、広島県内商工会議所・エージェンツ訪問等)等	継続実施	観光客誘致キャンペーンの実施 ※鹿児島プロモーションの展開 ※大規模抽選会事業の実施	継続実施	商工会議所	
	1	2	1	1	18年度～	1 有識者会議等による観光未来戦略の進捗管理・推進(H17～H23) 2 第2期観光未来戦略策定(H22～H23) 3 有識者会議等による第2期観光未来戦略の進捗管理・推進(H24～)	H23: 9,591 H24: 198 H25: 186 H26: 291	(22年度) 1 次期観光未来戦略策定基礎調査 ・国内・海外でのインターネットによるアンケート調査 ・有識者レポート 2 戦略の基本施策に位置づけた事業の進捗状況確認 (23年度) 1 第2期鹿児島市観光未来戦略の策定 2 現戦略の進捗管理・総括	第2期鹿児島市観光未来戦略の進捗管理・推進	第2期鹿児島市観光未来戦略の進捗管理・推進	第2期鹿児島市観光未来戦略の進捗管理・推進	観光プロモーション課	
	1	2	2	1	21年度～	「食」をテーマにした新たな鹿児島の魅力づくりを行い、県内外への情報発信を効果的に展開していくことを通じて、本市のさらなる観光振興を図る。	H23: 12,000 H24: 12,000 H25: 12,000 H26: 12,000	(21年度) 1 “味のまち鹿児島”づくり協議会の設立 2 “味のまち鹿児島”シンポジウムの開催 3 “味のまち鹿児島”ワークショップの開催 (22年度) 1 “味のまち鹿児島”「薩摩美味維新」実行委員会の設置 2 “味のまち鹿児島”「薩摩美味維新 プレイベント」の実施 3 “味のまち鹿児島”「薩摩美味維新」の実施 (23年度) 1 “味のまち鹿児島”「薩摩美味維新」の実施	本市の魅力の一つである「食」をテーマにしたイベントやキャンペーン等である“味のまち鹿児島”「薩摩美味維新」を四季折々に実施した。	1 “味のまち鹿児島”「薩摩美味維新」の実施 2 他団体主催イベントの誘致・支援	1 “味のまち鹿児島”「薩摩美味維新」の実施 2 他団体主催イベントの誘致・支援	“味のまち鹿児島”づくり協議会(事務局:市観光振興課)	
	1	2	2	1	20年度～	ガイドの解説を受けながらまち歩きを楽しめる「鹿児島ふらりまち歩き」を推進するとともに、市内の主要観光地等でもボランティアガイドによる観光案内が受けられる体制をとり、観光客の受入体制の充実を図る。	H23: 22,464 H24: 21,858 H25: 21,000 H26: 22,752	(22年度) ①まち歩きガイドの実施(16コース) ②観光地ガイドの実施(6ヶ所) ③まち歩き観光ステーションでの観光案内 (23年度) ①まち歩きガイドの実施(16コース) ②観光地ガイドの実施(6ヶ所) ③まち歩き観光ステーションでの観光案内 ④よりみちクルーズ船内における観光案内	①まち歩きガイドの実施(22コース) ②観光地ガイドの実施(6ヶ所) ③まち歩き観光ステーションでの観光案内 ④よりみちクルーズ船内における観光案内 ⑤市民向けのまち歩きの実施	1 まち歩きガイドの実施(24コース) 2 観光地ガイドの実施(6ヶ所) 3 まち歩き観光ステーションでの観光案内 4 よりみちクルーズ船内における観光案内 5 市民向けまち歩きの実施 6 フォトスポット情報発信に向けたカメラスタンドの改修	1 まち歩きガイドの実施(24コース) 2 観光地ガイドの実施(6ヶ所) 3 まち歩き観光ステーションでの観光案内 4 よりみちクルーズ船内における観光案内 5 市民向けまち歩きの実施 6 フォトスポット情報発信に向けたカメラスタンドの改修	鹿児島観光コンベンション協会	
	1	2	2	1	24～25年度	本市の朝の観光素材の掘り起こしを行い、朝の観光素材を活用したモデルコースを作成するとともに、その情報を発信していくことを通じて、本市における滞在型観光の推進を図る	H24: 600 H25: 360	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略1-10)滞在型観光の推進による経済効果の増大”	1. 朝の観光素材の掘り起こし 2. モデルコース案の作成 3. モニターツアーの催行	1. 朝の観光素材の掘り起こし 2. モデルコース案の作成 3. モニターツアーの催行 4. リーフレット及び電子ブックの作成	—	朝を楽しむ観光推進実行委員会(事務局:市観光企画課)	
	1	2	2	1	25年度～	民間団体が実施する、多くの市民や観光客を呼び込める新たなイベントに対する補助制度を設け、本市の新たなイベントとして定着を図る。	H25: 1,153 H26: 11,275	—	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略1-6)四季を通じたイベントづくり”	1. 実施方針 民間団体が実施する、多くの市民や観光客を呼び込める新たなイベントに対する補助制度を設け、本市のイベントとして定着を図る。 2. スケジュール (1) イベントの募集(4月～5月) (2) 助成団体の決定(5月末) (3) 助成団体によるイベント内容の調整 (4) イベントの実施 ※上記に加え、既選定イベントを実施 3. 成果指標の目標値 毎年度1イベントを選び、最終的に5つ程度の新たなイベントを創出	1. 実施方針 同左 2. スケジュール(当該年度選定分) (1) イベントの募集(4月～5月) (2) 助成団体の決定(5月末) (3) 助成団体によるイベント内容の調整 (4) イベントの実施 ※上記に加え、既選定イベントを実施 3. 成果指標の目標値 同左	観光プロモーション課	
○	1	2	2	2	18年度～	<23年度まで> 「鹿児島市みどり豊かな農山村ふれあい推進基本計画」に基づきグリーン・ツーリズムを推進する。 (1)推進体制の整備 (2)情報発信 (3)人材育成 (4)活動支援 (5)農業・農村体験交流 <24年度以降> 「鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画」に基づきグリーン・ツーリズムを推進する。 (1)都市部住民の農村地域における交流促進 (2)人材の育成と関係団体への支援・連携 (3)農村地域の魅力の情報発信 (4)計画の推進	H23: 6,453 H24: 7,044 H25: 5,623 H26: 7,806	(18年度以降の主な取組) ①推進体制の整備 推進協議会・推進委員会・地域推進連絡会の開催、庶大との連携による都市農村交流分析事業の実施 ②情報発信 ホームページ・案内板・ガイドブック・体験ツアー・観光業者等の意見交換会による情報発信 ③人材育成 インストラクターの養成・派遣、インストラクター等への研修、インストラクター連絡会の開催、農村体験人材バンクの創設 ④活動支援 活動団体の登録・助成、棚田の保全 ⑤農業・農村体験交流 推進リーダー研修会の開催、農家民泊の促進、農家民泊研修、農作業体験学習の促進	①都市部住民の農村地域における交流促進 農家民泊の促進、県外エージェンツ・県内観光関係者への情報発信、農家民泊の促進、農作業体験学習の促進、棚田の保全、農村体験交流人材バンクの活用 ②人材の育成と関係団体への支援・連携 地域グリーン・ツーリズム推進連絡会の開催、登録団体等の認証・助成、農家民泊の促進、棚田の保全、インストラクターの派遣、インストラクター等への研修、インストラクター連絡会の開催、農村体験人材バンクの活用 ③農村地域の魅力の情報発信 体験ツアーの実施、案内板の管理・運営、県外エージェンツ・県内観光関係者への情報発信、生活情報紙による情報発信 ④計画の推進 推進協議会・推進委員会・地域推進連絡会の開催	1 都市部住民の農村地域における交流促進 農家民泊の促進、県外エージェンツ・県内観光関係者への情報発信、農家民泊の促進、農作業体験学習の促進、棚田の保全、農村体験交流人材バンクの活用 2 人材の育成と関係団体への支援・連携 地域グリーン・ツーリズム推進連絡会の開催、登録団体等の認証・助成、農家民泊の促進、棚田の保全、インストラクターの派遣、インストラクター等への研修、インストラクター連絡会の開催、農村体験人材バンクの活用 3 農村地域の魅力の情報発信 体験ツアーの実施(3地域へ拡充)、ガイドブックの作成・配布、ホームページ・案内板の管理・運営、県外エージェンツ・県内観光関係者への情報発信、生活情報紙による情報発信 4 計画の推進 推進協議会・推進委員会・地域推進連絡会の開催	グリーンツーリズム推進課		

事業等の実施状況等〔継続事業等〕

資料3

拡充 振興の 方向性	基本 方針	推進 施策	主な 取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等		
○	1	2	2	2	2	桜島・錦江湾ジオパーク推進事業	23年度～	桜島・錦江湾ジオパークにおいて、世界ジオパークを見据えながら、ジオツアーの実施や市民への周知活動等を行う。	H24: 8,559 H25: 17,431 H26: 22,100	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略 1-1)もっと「桜島」を体感できる体験メニューづくり 1-2)錦江湾・ウォーターフロントの魅力を活用	1 桜島ジオパーク研究会の開催 2 日本ジオパークネットワークへの準会員加盟 3 基礎調査の実施 4 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会準備会の開催	1 推進協議会の設立 2 日本ジオパークネットワークへの加盟申請(認定申請) 3 ジオに関する活動の展開 ・ジオツアー ・ジオガイド講座 ・セミナー、シンポジウムの開催等 ・アンケート など 4 情報発信 ・チラシ、パンフレット等の広報ツールの作成 ・ラッピング電車の制作・運行 ・広報用DVDの制作 ・コルトンの制作 ・案内板の整備	1 ジオに関する活動の展開 ジオツアー、ジオガイド講座、セミナー等の開催 など 2 情報発信 ガイドマップ等の作成 など 3 世界ジオパーク認定に向けた取組 多言語化に向けた取組 ジオパーク国際ユネスコ会議出席 など	桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会 (事務局:市観光プロモーション課)	観光プロモーション課
	1	2	2	2	2	新幹線全線開業影響等調査事業(産業支援課分)	24年度	九州新幹線全線開業により、事業所、消費者等の動向が変化していると予測されることから、その実態及び変化が本市経済に及ぼす効果・影響等について調査を実施する。	H24:2,793	H14,H17年度に同様の調査を実施	【新幹線全線開業影響等調査】 1. 商業者…商店街の代表者及び市内商業者(2,117件) 2. 消費者…市内、JR沿線の近隣自治体の消費者(2,000件) 3. 新幹線利用者…新幹線利用者(県外居住者)(1,016件) 4. 事業者…市内に本社のある事業所及び市内事業所と県外に本社を有する市内の事業所(500件) 5. 有識者…県内外の有識者(50件)	—	—	産業支援課	
	1	2	2	2	2	新幹線全線開業影響等調査事業(観光企画課分)	24年度	九州新幹線全線開業により、本市における観光客の動向が変化していると予測されることから、その実態及び変化を把握するための調査を実施する。	H24:7,182	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略2-1)ニーズの把握とターゲットの明確化”	1. 観光客へのヒアリング (5月、8月、10月、11月、12月、25年1月) 2. 調査結果の分析及び中間報告書、最終報告書の作成	—	—	観光企画課	
	1	2	2	2	2	ロゲイニングイベント開催支援事業	24年度～	本市の観光資源である自然や歴史等を活用しチェックポイントを制限時間内に回るロゲイニングイベントの開催を支援する。	H24: 371 H25: 783 H26: 1,033	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略1-6)四季を通じたイベントづくり”	1. ロゲイニングイベント実施団体への支援 実施場所:桜島 2. 先進地視察 沖縄県	1. ロゲイニングイベント実施団体への支援 実施場所:桜島(1件)、中心市街地(2件) 2. コーディネーターによる開催支援	1. ロゲイニングイベント実施団体への支援 2. コーディネーターによる開催支援 3. ロゲイニング広報用チラシの作成	スポーツ課	
	1	2	2	2	2	桜島・錦江湾ジオパーク旅行商品造成調査事業	25～26年度 (短期)	ジオの観点から地域資源の調査等を行い、ジオの魅力を活かした旅行商品の造成のための調査を行う。	H25:6,989 H26:3,738	—	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略1-10)滞在型観光の推進による経済効果の増大”	1. 実施方針 将来的な世界ジオパーク認定を見据え、桜島・錦江湾ジオパークにおけるツアー等の充実を図るため、ジオの魅力を活かした旅行商品の企画、試験の実施等を行う。 2. スケジュール (1)桜島のジオ資源の調査 (2)観光客向けジオツアーに関するニーズの調査 (3)観光客向けジオツアーの企画及び試験の実施 3. 成果指針の目標値 報告書の作成	1 今後の実施方針 同左 2 スケジュール (1)桜島・錦江湾ジオパーク旅行商品の企画 (2)桜島・錦江湾ジオパーク旅行商品の試験の実施	観光プロモーション課	
	1	2	2	2	2	映画撮影等誘致支援事業	25年度～	鹿児島市の魅力の発信につながる映画等に対し助成する。	H25:10,000 H26:10,000	—	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略2-3)鹿児島ならではの魅力・おすすめ情報の発信による認知度向上	1 実施方針 鹿児島市の魅力の発信につながる映画や連続ドラマを誘致し、その製作に係るロケ経費及びPR経費に対して助成する。なお、補助対象作品の審査は選考審査会による審査を行う。 2 スケジュール ・選考審査会の開催(4月)→映画「六月燈の三姉妹」を補助対象作品とすることを決定 ・ロケ経費分500万円(9月支出) ・PR経費分500万円(26年3月支出) 【映画】 ・鹿児島ロケ実施(5月) ・南九州先行ロードショー開始(11月9日～) ・全国公開(26年5月31日～) 3 成果指針の目標値(H25年末) 25年度補助対象作品 映画「六月燈の三姉妹」1件	1 実施方針 鹿児島市の魅力の発信につながる映画や連続ドラマを誘致し、その製作に係るロケ経費及びPR経費に対して助成する。なお、補助対象作品の審査は選考審査会による審査を行う。 2 スケジュール 未定	観光プロモーション課	
	1	2	2	2	2	観光地来訪状況調査事業	25年度	第2期観光未来戦略の推進にあたっての基礎資料とするため、湯之平展望所等の観光地において、来訪状況調査を行う。	H25:2,010	—	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略2-1)ニーズの把握とターゲットの明確化	1. 実施方針 第2期鹿児島市観光未来戦略推進にあたっての基礎資料とするため、市内の管理者のいない観光地において、来訪状況調査を実施する。 2. スケジュール 市内観光地16か所(桜島側6か所、市街地側10か所)での来訪状況調査(4月25日～11月25日) 3. 成果指針の目標値 報告書の作成	—	観光企画課	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) 決算(見込)額 または予算額	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
	1	2	2	2	着地型旅行商品造成調査事業	25～26年度	市内の観光資源を活かした、体験型・交流型の要素を取り入れた着地型旅行商品の造成のための調査を行う。	H25: 10,920 H26: 5,962	—	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略1-10)滞在型観光の推進による経済効果の増大”	1. 実施方針 性別や年代などによって異なる観光客の様々なニーズに対応するため、体験型・交流型の要素を取り入れた着地型旅行商品の造成のための調査を行った。 2. スケジュール (1)観光資源の掘り出し (2)着地型旅行商品の造成 (3)着地型旅行商品の試験的実施 3. 成果指針の目標値 報告書の作成	1 今後の実施方針 同左 2 スケジュール (1)着地型旅行商品の造成 (2)着地型旅行商品の試験的実施	観光プロモーション課	
○	1	2	2	2	世界文化遺産登録推進事業	25年度～	磯地区の異人館などを含む「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界文化遺産登録を目指し、構成資産の適切な保存管理と整備活用を図る。また、世界遺産登録後も見据え、市民との協働で文化遺産を生かした地域振興を図る。	H25: 36,573 H26: 39,112	—	—	1 世界文化遺産登録に向けた関係団体との協議・手続き ・25年4月 国へ推薦書提出 ・25年9月 国内推薦案件に決定 ・26年1月 ユネスコへ推薦書正式提出 2 かがしま近代化産業遺産協働行動計画の策定 世界遺産登録を見据え、市民、事業者、NPO等との協働の取組を進めるため、実践的プログラムとなる協働行動計画の策定 策定主体: かがしま近代化産業遺産パートナーシップ会議 3 磯地区交通アクセス調査 世界遺産登録後も見据え、増加が予想される観光客に対し、円滑な交通手段を確保するため、磯地区の交通アクセスについて多角的に調査、検討 4 市民への広報啓発 ラッピング電車広告、コルトン看板掲出、DVD制作等	1 世界文化遺産登録に向けた関係団体との協議・手続き ・26年秋 イコモス審査 ・27年 世界遺産登録(目標) 2 かがしま近代化産業遺産パートナーシップ会議 遺産を活用したイベント、ファン拡大イベントの開催 ・おもてなし講座等の開催 ・サイン・トータルデザイン計画の作成 ・ポスター、パンフレット等の作成 3 受入体制整備 ・サインの整備 ・パークアンドライドの社会実験等	世界文化遺産登録推進室	市民団体 NPO法人 大学 事業者 観光・経済団体 行政
○	1	2	2	3	外国人観光客受入事業 ※25年度は「外国人観光客受入体制整備事業」として実施(25年度より、受入関連事業を「東アジア観光客誘致事業」から抜粋)	21年度～	ホテル等の外国語案内表記の整備に対する助成を行うほか、外国人用公共交通ガイドブックの作成等を行う。	H23: 17,517 (うち、関係分は288) H24: 19,566 (うち、関係分は955) H25: 4,557 H26: 9,600	(21年度) 海外観光客受入体制整備費助成: 1件 クルーズ船の寄港実績: 33隻 (22年度) 海外観光客受入体制整備費助成: 1件 クルーズ船の寄港実績: 50隻 (23年度) 海外観光客受入体制整備費助成: 2件 クルーズ船の寄港実績: 22隻	海外観光客受入体制整備費助成: 6件 クルーズ船の寄港実績: 35隻	・海外観光客受入体制整備費助成 ・クルーズ船の寄港実績: 17隻(見込み) ・シャトルバスの運行実験	・海外観光客受入体制整備費助成 ・公衆無線LAN環境の整備 ・外国人観光客向け「鹿児島ふらりまち歩き」の試験的実施 ・「桜島ARアプリ」による情報発信 ・クルーズ船の受入 ・入港時における歓迎行事の実施 ・観光客船寄港広報の実施 ・脇田電停間及び天文館間のシャトルバスの運行実験	観光プロモーション課	県 鹿児島商工会議所 鹿児島海外観光客受入協議会 県観光連盟 NPO法人ゆめみなと 鹿児島市も参加)
	1	2	2	3	海外観光客誘致宣伝事業 ※26年度～「東アジア等観光客誘致宣伝事業」及び「外国人観光客受入事業」へ統合	S48～25年度	関係機関と連携して海外観光客船の受入等を行う。	H23: 2,600 H24: 2,600 H25: 4,005 ※観光客船関係分のみ計上	・入港時における歓迎行事の実施 ・観光客船寄港広報の実施 (過去3年間における観光客船の入港実績) ・H21年度: 33隻 ・H22年度: 50隻 ・H23年度: 22隻	・入港時における歓迎行事の実施 ・観光客船寄港広報の実施 (観光客船の入港実績の見込み35隻)	・入港時における歓迎行事の実施 ・観光客船寄港広報の実施 ・脇田電停間及び天文館間のシャトルバスの運行(社会実験)	—	鹿児島海外観光客受入協議会 (事務局: NPO法人ゆめみなと※市も参加)	県 鹿児島商工会議所 コンベンション協会 鹿児島観光連盟
	1	2	2	3	ウエルカムキュート運営事業 (※H25から名称変更。H24までは「外国人観光客ウエルカムキュート導入事業」)	24年度～	市電、市バス、桜島フェリーの共通券の料金及び観光施設の入館料等が割引される外国人観光客向けのキュートを販売し、外国人観光客の誘致を促進するとともに、回遊性の更なる向上を図る。	H24: 1,066 H25: 2,202 H26: 2,104	第2期鹿児島市観光未来戦略の推進 “基本戦略4-2)外国人観光客に対するきめ細やかな受入体制づくり”	・H24.7.1発売開始 ・チラシ、ホームページ作成 ・海外エージェンツへの情報発信 ・海外セールスでのプロモーション	1 公共交通ガイドブックでの広報 2 海外セールスでのプロモーション 3 台湾プロモーションにおけるキャンペーンの実施	1 公共交通ガイドブックでの広報 2 海外セールスでのプロモーション	観光プロモーション課	・交通局 ・船舶局 ・鹿児島観光コンベンション協会
	1	2	3	1	広域観光連携事業	S28年度～	行政区域を越えた他地域の観光資源施設と連携させた広域的なルートづくりや観光宣伝などの共同事業を行う。また、各種の協議会に、観光関係団体の会員として加入し、全国レベル・県レベルでの観光振興事業の中で本市のPRを行うとともに、各種の情報提供を受ける。	H23: 5,327 H24: 5,159 H25: 5,234 H26: 7,061	(23年度) 1 九州観光都市連盟 旅行エージェンツ訪問、観光素材集作成等 2 鹿児島県四地区観光連絡協議会 観光キャンペーン、雑誌等記者招聘、パンフレット作成等 3 鹿児島県観光誘致促進協議会 旅行エージェンツとの意見交換会、NHKドラマ誘致等 4 観光かがしま大キャンペーン推進協議会 総集中宣伝、誘客宣伝等	1 九州観光都市連盟 旅行エージェンツ訪問、観光素材集作成等 2 鹿児島県四地区観光連絡協議会 観光キャンペーン、雑誌等記者招聘、パンフレット作成等 3 鹿児島県観光誘致促進協議会 旅行エージェンツとの意見交換会、NHKドラマ誘致等 4 観光かがしま大キャンペーン推進協議会 総集中宣伝、誘客宣伝等	1 鹿児島県四地区観光連絡協議会 観光キャンペーン、雑誌等記者招聘、パンフレット作成等 2 鹿児島県観光誘致促進協議会 旅行エージェンツとの意見交換会、NHKドラマ誘致等 3 観光かがしま大キャンペーン推進協議会 総集中宣伝、誘客宣伝等 4 その他 九州観光都市連盟・鹿児島県都市観光連絡協議会・鹿児島県観光連盟・日本観光振興協会・国際観光振興機構 総会・連絡会議等の開催、各種情報発信等	観光プロモーション課		
	1	2	4	1	姉妹友好都市等との交流事業 (短期)		姉妹友好都市、兄弟都市、その他海外の各都市と交流を行い、相互の友好を深める。 (平成20年度の「姉妹都市等からの来訪者との交流」と「長沙市との交流」を統合したもので。)	H22: 20,867 H23: 19,983 H24: 13,729 H25: 15,935 H26: 45,400	・平成21年度来訪者の状況 38件 海外から 332人 国内から 75人 ・平成22年度来訪者の状況 33件 海外から 492人 国内から 14人 ・平成23年度来訪者の状況 29件 海外から 290人 国内から 83人	姉妹友好都市ほか海外の各都市からの来訪者との交流 ・長沙市研修生の受入 ・パース市・長沙市青少年等の受入 ・その他海外からの来訪者の受入  来訪者の状況 16件 海外から 321人 国内から 7人	姉妹友好都市ほか海外の各都市からの来訪者との交流 ・長沙市研修生の受入 ・パース市・長沙市青少年等の受入 ・その他海外からの来訪者の受入  来訪者の状況 28件 海外から 369人 国内から 36人	姉妹友好都市ほか海外の各都市からの来訪者との交流 ・姉妹都市等からの来訪者の受入 ・姉妹都市間約40周年記念訪問団パース市派遣 ・兄弟都市間約45周年記念訪問団鶴岡市派遣	国際交流課	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充 振興の 方向性	基本 方針	推進 施策	主な 取組 み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等	
				さつまマルツァーノプロジェクト	23年度～	ナポリ市近郊を原産地とするトマト「サンマルツァーノ」を活用した商品を開発・販売することにより、姉妹都市であるナポリ市との交流を市民レベルまで広げ、両都市間の友好関係を更に深めるとともに、地域経済の活性化や観光振興に貢献しようとするもの。	—	24年3月からサンマルツァーノの栽培を開始。	25年1月に、収穫したサンマルツァーノを原料とした飲料水(商品名:トマトでつくった炭酸水)を開発し、販売を開始。	鹿児島特産であるきびなごとサンマルツァーノのドライマトをオーリーブオイルで煮て、イタリアのオイルサーディン風に仕立てたコラボ商品「きびなごナポリターナ」を開発。 同商品は、「2013かごしまの新特産品コンクール」にも出品した。	継続実施予定	NPO法人ぐるっと鹿児島ネットワーク		
				こなみずき&サンマルツァーノ商品開発プロジェクト	25年度～	平成27年度に鹿児島市・ナポリ姉妹都市盟約55周年を迎えることを踏まえ、ナポリ市近郊を原産地とするトマト「サンマルツァーノ」と鹿児島産さつまいもの澱粉「こなみずき」を原料とするコラボ商品の開発・販売に、JA鹿児島県経済連を中心として取り組み、55周年に向けた機運を高めようとするもの。	—	—	—	備いケダバンの製造のもと、サンマルツァーノとこなみずきを原料としたピザパン(商品名:サンコーナ)を25年10月1日から、南九州ファミリーマートの各店舗で販売を開始。	継続実施予定	JA鹿児島県経済連ほか	国際交流課	
				アジアとの交流	(短期)	(市長のアジア訪問) アジア地域との文化・経済などの多方面において強化するために市長のトップセールスの充実を図る。	H22: 5,995 H23: 16,881 H24: 1,421 H25: 5,570 H26: 7,375	H21年度 「韓国でのトップセールス」 航空会社・旅行社・百貨店等での観光・特産品PRや情報収集。 ・期間: H22年1月30日～2月2日(3泊4日) ・参加者: 5名(市長、市民代表1、市職員2、国際交流アドバイザー1名) H23年度 「シンガポール・マレーシア訪問」 マラッカ(マレーシア)親善訪問、シンガポールのクルーズ会社・旅行社等での観光PRや情報収集。 ・期間: 平成23年5月28日～6月2日 ・団員: 5名(市長、市民代表1、市職員3)	—	「東南アジア友好交流訪問」 東南アジアの都市と本市との友好交流と本市のPR。 ・期間: H25年7月6日～7月14日(8泊9日) ・訪問国: タイ、ミャンマー、インドネシア ・参加者: 5名(市長、市民代表1、市職員3)	「東南アジア友好交流訪問」 東南アジアの都市と本市との友好交流と本市のPR。 ・期間: 平成26年7月5日～7月12日(7泊8日) ・訪問国: フィリピン、ベトナム ・参加者: 5名(市長、市民代表1、市職員3)	「アジア太平洋都市サミット参加」 ・テーマ: バランスのとれた暮らしと持続可能な生活 ・期間: 12月(予定) ・開催地: バンコク ・参加者: 未定	国際交流課	
○				東アジア等観光客誘致宣伝事業 (※「海外観光客誘致宣伝事業」が26年度から「東アジア等観光客誘致宣伝事業」及び「外国人観光客受入事業」へ統合される。)	21年度～	発展著しい東アジア及びアセアンからの観光客誘致を促進するため、効果的なトップセールスのほか、誘致セールス、観光プロモーション等を継続的に実施する。	H23: 17,517 H24: 19,489 H25: 16,456 H26: 21,924	(21年度) 1 トップセールス(台湾) 2 誘致セールス(中国、韓国、香港) 3 韓国メディア関係者の招聘 4 海外観光客誘致事業補助金 など (22年度) 1 トップセールス(韓国) 2 観光プロモーション(韓国) 3 誘致セールス(中国、韓国、香港、台湾) 4 海外観光客誘致事業補助金 など 5 さきどり情報の発信 (23年度) 1 トップセールス(上海) 2 観光プロモーション(上海) 3 誘致セールス(中国、韓国、香港、台湾) 4 海外観光客誘致事業補助金 など	1 観光プロモーション(韓国・台湾) 2 トップセールス(韓国) 3 ロッテジャイアンツ鹿児島デー(韓国) 4 誘致セールス(中国、韓国、香港、台湾、タイ・シンガポール) 5 海外観光客誘致事業補助金 6 さきどり情報の発信	1 観光プロモーション(韓国・台湾・上海) 2 トップセールス(韓国) 3 ロッテジャイアンツ鹿児島デー(韓国) 4 誘致セールス(中国、韓国、香港、台湾、タイ・シンガポール) 5 海外観光客誘致事業補助金 6 さきどり情報の発信 など	観光プロモーション課			
				九州縦軸4市観光連携事業	元年度～	九州新幹線全線開業の効果を高めるために、本市と福岡市、熊本市、北九州市で構成する九州縦断観光ルート協議会において、発展著しい東アジアや関西以西地域をターゲットに観光客の誘致促進を図る。	H23: 2,819 H24: 2,500 H25: 2,500 H26: 2,500	(21年度) 1 プロモーションコンテンツ制作事業(ポスター、DVDなどプロモーションコンテンツの作成) 2 大阪プロモーション 3 中国無錫市からの太極拳関係者及びエージェント招聘事業 (22年度) 1 三都市連携大阪プロモーション 2 韓国・中国からのエージェント招聘事業 3 プロモーションツール作成事業 4 ソウルプロモーション (23年度) 1 中国での共同プロモーション 2 韓国からの誘客促進事業 3 プロモーションツール作成事業	1 韓国釜山を中心とした観光PR事業 2 台湾からの映像等の広告媒体を担うメディア招聘事業 3 中国上海からの旅行会社・マスコミ招聘事業(VJ事業) 4 上海観光雑誌「南国風」広告掲載	1 四都市連携観光プロモーション事業(台湾)(ITF2013・パワーブローガー招聘) 2 韓国著名漫画家による日本の魅力発信事業(韓国) 3 中国上海からのメディア招聘事業(VJ事業) 4 プロモーションツール作成事業	1 四都市連携観光プロモーション事業(台湾) 2 観光雑誌等広告掲出事業(中国) 3 FIT向け情報発信事業(韓国) 4 プロモーション事業(新市場) 5 プロモーションツール作成事業 6 情報発信事業	九州縦断観光ルート協議会(福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市)		
				日本貿易振興機構かごしま貿易情報センター助成事業	S46年度～	鹿児島市中小企業振興条例に基づき、日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター(ジェトロ鹿児島)の行う事業(地方貿易情報誌発行、講演会等開催、貿易投資相談、地方貿易振興事業など)に要する費用の一部を助成する。	H23: 1,300 H24: 1,300 H25: 1,300	○補助金額 1,300千円 ○補助対象事業 ジェトロ鹿児島が実施する情報提供および貿易投資相談事業、講演会・セミナー等の開催、貿易促進関連事業(海外の市場情報の提供やメールマガジン等を通じた情報提供など)	1 実施方針 ジェトロ鹿児島が実施する事業に要する費用の一部を助成することにより、市内企業の海外への販路拡大支援や相談機能の充実を図る。	1 実施方針 ジェトロ鹿児島が実施する事業に要する費用の一部を助成することにより、市内企業の海外への販路拡大支援や相談機能の充実を図る。	継続実施予定	経済政策課		
				各種貿易関係団体への負担金	S36年度～ S28年度～ 11年度～	貿易関係団体(社団法人鹿児島県貿易協会、公益財団法人日本関税協会、鹿児島港利用促進協議会)に対し、負担金を支出することにより、海外貿易の促進や貿易業者の連携、及び鹿児島港における貿易・観光の促進を図り、地域経済の発展に寄与する。	H23: 634 H24: 634 H25: 634 H26: 634	○負担金の支出 ・鹿児島県貿易協会 300千円 ・日本関税協会 48千円 ・鹿児島港利用促進協議会 286千円 ○各団体の事業概要 貿易や関税に関する情報、統計データ、貿易動向や内外経済に関する情報等を刊行物やメールマガジン等により会員に情報提供するなどしている。	1 実施方針 貿易関係団体に対し負担金を支出することにより、海外貿易の促進や貿易業者の連携、及び鹿児島港における貿易・観光の促進を図る。	1 実施方針 貿易関係団体に対し負担金を支出することにより、海外貿易の促進や貿易業者の連携、及び鹿児島港における貿易・観光の促進を図る。	継続実施予定	経済政策課		

事業等の実施状況等〔継続事業等〕

資料3

拡充 振興の 方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等	
○	1	3	1	1	輸出チャレンジ支援事業	24年度～	本市の中小企業者が、海外の輸出を目的に、県、日本貿易振興機構等が主催する合同展示会や見本市等への出展、ミッションに参加する際に要する経費の一部を助成する。 26年度からはアジア以外へも対象地域を拡大して助成する。	H24: 1,129 H25: 2,218 H26: 4,563	—	・展示会等への出展経費の助成  助成実績 7件 香港6件、タイ1件	○展示会等への出展経費の助成 助成実績 22件 中国12件、タイ7件、 台湾1件、インドネシア1件、シンガポール1件  ○セミナーの開催 ジェトロと共催して、海外販路開拓セミナー開催(1月)	本市中小企業者の海外での合同展示会等の出展等に対する経費の2分の1を助成する。  ・海外初出展企業 初回 200千円、2～4回 150千円 (4回まで支援) ・海外出展実績がある企業 初回～3回 150千円(3回まで)	経済政策課	県、ジェトロ、金融機関等
	1	3	1	1	製造業アジア圏販路開拓支援事業 ※H25年度から、事業名変更 製造業海外取引支援事業	23年度～	アジアへの販路開拓を図ろうとする県内製造業者を対象に、海外市場動向等に係るセミナーの開催や海外商談会への出展支援、専門家の派遣等を実施し、新たな海外販路開拓を支援する。	H23: 20,000 H24: 8,609 H25: 7,353 H26: 8,171	(H23年度実績) 1 セミナーの開催(3回) 開催日:平成23年8月、10月、平成24年2月 2 海外商談会への出展支援(3回) 開催日:台湾(台北)、中国(上海、昆山) 支援企業:5社	1 セミナーの開催(2回) 海外市場動向等に係る専門家の講演や県内企業による事例発表等 2 海外商談会への出展支援(2回) 出展ブースの提供、通訳の配置、チラシ作成など 3 海外企業取引可能性現地調査(タイ)	1 セミナーの開催(1回) 海外市場動向等に係る専門家の講演や県内企業による事例発表等 2 海外商談会への出展支援(2回) 出展ブースの提供、通訳の配置、チラシ作成など 3 海外企業取引可能性現地調査(ベトナム) 4 海外取引商談会の開催(1回)	1 海外へ取引拡大を検討中の企業への支援 ・セミナーの開催 ・専門家派遣 ・海外企業との取引可能性現地調査 2 海外商談会への出展支援 ・ブース確保 ・パンフレット作成 ・通訳配置 3 具体的な販路開拓を図る企業への実務支援 ・実務支援 ・海外取引商談会の開催	県(産業立地課)	
	1	3	1	1	海外見本市出展支援	—	海外販路開拓を目的として海外の見本市へ出展する企業を支援。	非公開  H22年度 出展支援実施 (1)Food Taipei2010(2010年6月) (2)Fine Food Australia 2010(2010年8月) (3)Food Week2010(2010年11月) (4)感性価値デザイン展・香港(2010年12月)	H24年度 出展支援実施 1.SIAL China(上海5月) 2.Thaiex(バンコク5月) 3.Food Taipei(台湾6月) 4.Food Expo(香港8月) 5.Food Expo Korea(ソウル11月) 6.Manufacturing Indonesia(インドネシア12月) 7.Winter Fancy Food Show(サンフランシスコ1月)	H25年度 出展支援実施 1.Thaiex2013 2.SEOUL FOOD 2013 3.Food Taipei2013 4.Summer Fancy Food Show 2013 5.中国国際工業博覧会2013 6.Manufacturing Indonesia等	継続実施予定	ジェトロ		
	1	3	1	1	JAPANブランド育成支援事業	—	鹿児島料理の創造として、鹿児島県産の安心・安全な食材をJAPANブランドとして中国市場へ販路開拓を図るため実施する。	H23: 6,300 H24: 6,566 H25: 8,189	平成24年度は「国内外販路開拓支援事業」として実施 1. 現地打合せ(香港・上海) 平成24年6月24日～26日 2. 香港・上海を対象とした選定会、商談会(東京都) 平成24年6月27日～28日 3. 香港企業との打合せ(福岡市) 平成24年6月16日 4. 現地打合せ(台湾) 平成24年9月26日～29日 5. 商談会及び市場視察、企業訪問(香港) 平成24年10月25日～26日 6. 商談会(シンガポール) 平成24年11月1日～3日 7. 九州食の展示商談会(熊本市) 平成24年11月21日～22日 8. 市場調査(上海) 平成24年11月30日～12月20日 9. 企業訪問、市場視察(台湾) 平成24年12月6日～8日 10. 個別商談会(香港) 平成24年12月13日～14日	平成25年度はJAPANブランド育成事業を継続実施 黒糖焼酎の海外展開(かごしま市商工会は関与なし)	継続実施予定(実施内容は未定)	鹿児島県商工会連合会(かごしま市商工会)		
	1	3	1	1	海外商談会開催事業	—	海外販路開拓を目的として海外の見本市へ出展する企業を支援。	H23: — H24: —	(1)鹿児島県香港商談会実施(2011年10月) (2)シンガポール商談会出展支援(2012年1月)	(1)鹿児島県香港商談会実施(2012年10月) (2)米国ロサンゼルス食品開拓販路ミッション(2013年2月)	(1)鹿児島県タイ国(バンコク)商談会及び市場視察ミッション(2014年2月)	未定	(公社)鹿児島県貿易協会 ジェトロ鹿児島	
	1	3	1	1	そうしんTOBO会	2年度～	海外企業とのビジネスマッチング支援のため、平成2年度から貿易ミッション派遣事業(過去25回開催)を展開している。	—	—	—	①平成25年9月29日(日)～10月4日(金)にミャンマー(ヤンゴン)、タイ(バンコク)向けに実施 ②平成26年3月1日(土)～5日(水)に中国は大連・上海向けに実施	日程未定	鹿児島相互信用金庫	
	1	3	1	2	海外バイヤーの招へい及び海外商談会	23年度～	海外バイヤーを招へい及び海外償還会を開催し、地場食品企業とビジネスマッチングを行う。	H22: 1,600 H23: — 非公開	(1)海外バイヤー商談会(米国、食品)(2010年2月) (2)海外バイヤー招へい(韓国、分野:食品)商談会(2010年4月) (3)海外バイヤー招へい(台湾、シンガポール、香港、米国、仏国、分野:食品)商談会(2010年6月) (4)海外バイヤー招へい(お茶)商談会(2010年11月)	海外バイヤー招聘お茶輸出商談会(11月鹿児島)	海外バイヤー招聘お茶輸出商談会(11月鹿児島)	海外バイヤー招聘お茶輸出商談会(11月鹿児島)予定	ジェトロ鹿児島、ジェトロ九州ブロック	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充 振興の 方向性	基本 方針	推進 施策	主な 取組 み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
1	3	1	2	かごしまブランド海外展開推進事業	23年度～	海外における県産品の販路拡大やかごしまブランドの構築のため、フェア開催やバイヤー等の招聘、イメージアップ広告、イベント等におけるPRを行う。	—	(1)香港フードエキスポ2011農林水産省ミッション参加 (2)香港政府関係者等の情報交換会開催 (3)香港中華レストラン協会総会での本県食材PR (4)JAPANMEGAFEST出展(香港) (5)天皇誕生日祝賀レセプション県産品PR(香港) (6)香港・マカオホテルシェフ招聘 (7)香港インターコンチネンタルホテル鹿児島フェア開催 (8)香港食品ミッション団との試食商談会・交流夕食会開催 (9)シンガポール・香港・アメリカでの県産品広告	(1)日健日本食品鹿児島視察アテンド(香港) (2)天皇誕生日レセプション県産品食材提供(香港・シンガポール) (3)焼酎イメージアップポスター作成	(1)OishiJAPAN2013出展(シンガポール) (2)沖縄ハブ空港視察 (3)天皇誕生日レセプション県産品食材提供(香港・シンガポール) (4)特産品輸出促進セミナー開催 (5)バイヤー等鹿児島招聘事業(シンガポール・マカオ等) (6)アメリカでの広告展開	未定	(公社)鹿児島県貿易協会	経済連
1	3	1	2	そうしん国内商談会 (海外バイヤー招聘事業)	—	そうしん食&アグリビジネス交流会やTOBIO会活動を通して、鹿児島島の優れた農産物加工食品を海外に輸出するため、韓国・台湾(中国)・香港バイヤーを招致しての「3ヶ国合同商談会」を開催した。	—	—	平成24年8月23日実施	実績なし	日程未定	鹿児島相互信用金庫	
1	3	1	3	かごしまの食輸出拡大事業 (H24までは「かごしまの農畜産物等輸出拡大事業」)	21年度～	県産農畜産物等の輸出に意欲のある農業団体等への活動支援	H23:1,000 H24:1,000 H25:1,000 H26:3,000	H21:2団体に対する輸出促進支援 (香港向け野菜、台湾向け果樹) H22:2団体に対する輸出促進支援 (香港向け野菜、香港向け花き) H23:3団体に対する輸出促進支援 (香港向け野菜、果樹、タイ向け肉類)	H24:2団体に対する輸出促進支援 (香港向け果樹、タイ向け肉類)	H25:4団体に対する輸出促進支援 (香港向け野菜・果樹・観葉植物、台湾向け野菜) (事業名は「かごしまの食輸出拡大事業」に変更)	農業団体等の事業要望を取りまとめ中	県農政課(農業協同組合、農業生産法人 など)	
1	3	1	3	中国IT活用推進事業	23年度～	中国銀聯(中国政府系銀行連合組織)の銀聯カード保有者を対象とした、中国銀聯公式オンラインショッピングモールを開設し、中国での本県特産品の宣伝・紹介及び販路拡大を図る。	—	中国銀聯(中国政府系銀行連合組織)の銀聯カード保有者を対象とした中国銀聯公式オンラインショッピングモールを活用し、本県特産品の宣伝・紹介並びに需要拡大を促進した。	中国銀聯(中国政府系銀行連合組織)の連銀カード保有者を対象とした中国連銀公式オンラインショッピングモールを活用し、本県特産品の宣伝・紹介並びに需要拡大を促進する。	中国銀聯(中国政府系銀行連合組織)の連銀カード保有者を対象とした中国連銀公式オンラインショッピングモールを活用し、本県特産品の宣伝・紹介並びに需要拡大を促進した。	継続実施予定	公益社団法人鹿児島県特産品協会	民間企業等
1	3	1	3	食品輸出促進実証モデル事業	22年度～	東アジアをはじめとする海外市場へ、本県産の食品の輸出を促進するため、川内港及び志布志港から外資定期コンテナ船を利用し、混載コンテナにより、本県産の食品を輸出する者に対して、輸出に係る経費の一部を助成する。	H23:1,624 H24:3,596 H25:3,235	10社:1,624,524円	14社:3,596,103円	20社:3,234,292円	継続実施予定	(公社)鹿児島県貿易協会	
1	3	1	3	トップセールス推進事業	24年度～	香港・シンガポールにおけるアジア最大級の食品見本市に県内機関と一体となった出展を行い、オール鹿児島での県産品販路拡大をサポートする。	—	—	1. フードエキスポ2012出展(香港) 2. MGMマカオ「鹿児島県産品フェア」開催(マカオ) 3. シェラトンホテル「鹿児島県産品フェア」開催(香港) 4. OishiJapan2012出展(シンガポール)	(1)フードエキスポ2013出展(香港) (2)ベトナム及びタイ知事トップセールスに係る事前調査 (3)上海総領事公邸における「本格焼酎と食を食べる夕べ」	未定	(公社)鹿児島県貿易協会	特産品協会
1	3	1	3	クールジャパン推進事業	25年度～	ジェトロが実施するBtoBへの支援を基本とするプロモーションを通じて、コンテンツ、ファッション、デザイン、食品等の分野における日本の魅力ある製品及びサービスを広くPRする。	—	—	—	事業概要の通り	継続実施予定	ジェトロ	
1	3	2	1	情報活動事業	22年度～	① 貿易情報誌の発行 ② トレードダイレクトリー、会員ガイドブックの発行 ③ メーリングリストによる情報発信	—	① 貿易情報誌の発行 ② トレードダイレクトリー、会員ガイドブックの発行 ③ メーリングリストによる情報発信	① 貿易情報誌の発行 ACCESS(季刊誌) 貿易ニュース(月間・ウェブ配信) ② メーリングリストによる情報発信 ③ 新たな市場可能性に関する調査・研究	① 貿易情報誌の発行 ACCESS(季刊誌) 貿易ニュース(月間・ウェブ配信) ② メーリングリストによる情報発信 ③ 新たな市場可能性に関する調査・研究	継続実施予定	(公社)鹿児島県貿易協会	
1	3	2	1	製造業アジア圏販路開拓支援事業	24年度～	今後需要の拡大が期待される中国をはじめとしたアジア各国への販路開拓を目指す県内の製造業者等中小企業者の取り組みについて、販路開拓セミナーの開催や専門家派遣を実施し、アジア圏への新たな販路開拓を支援する。	H24:1,152 H25:689	—	1. セミナー開催 2回/年 ・9月開催 出席者72名 ・3月開催 出席者71名	1. セミナー開催 1回/年 ・2月開催 出席者66名	計画なし(平成25年度まで)	(公財)かごしま産業支援センター (新産業育成課)	県、大学、公設試等
1	3	2	2	貿易相談事業	—	各種貿易に関する相談に対する対応	—	各種貿易に関する相談に対する対応	各種貿易に関する相談に対する対応	各種貿易に関する相談に対する対応	継続実施予定	(公社)鹿児島県貿易協会	
1	3	2	2	そうしん海外貿易相談室	24年度～	貿易取引や海外進出を考えている方に、信金中央金庫を始め、各分野の専門家や海外拠点、各国公的機関と連携しながら各種金融サービスや相談業務を行う部署を新設。	—	—	電話・窓口受付・E-mail・担当者訪問等合計で300件程度	電話・窓口受付・E-mail・担当者訪問等合計で450件程度	E-mail・担当者訪問等により相談業務を実施)	鹿児島相互信用金庫	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充 振興の 方向性	基本 方針	推進 施策	主な 取組 み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
1	3	3	1	鹿児島港湾整備事業(港湾負担金)	開始年度不明	〔概要〕 国、県が実施する鹿児島(重要港湾)の港湾整備事業等に対し、港湾所在都市(受益者)である本市が、根拠法令等に基づき事業費の一部を負担するもの。 〔目的〕 人・物・情報の行き交う国際性豊かな交流拠点や、健全かつ安心な海洋性レクリエーション基地の整備、物流機能及び臨港交通体系の充実、海とふれあえる魅力ある空間の創出を図る。 〔効果〕 高度な物流・快適な人流空間や多彩な交流空間、豊かな日常生活空間、多様で高質な産業空間等の形成が促進される。	H23:407.618 H24:455.817 H25:368.279	(23年度事業実績) ○本港区 泊地(季節性撤去工、本体工等) ○新港区 岸壁(-9m)準備工、地盤改良 岸壁(-6m)本体工、実施設計、細部設計) ○鴨池港区 荒田川排水機場(ポンプ設備工) ○中央港区 橋梁(C)(橋脚、上部工等) 廃棄物埋立護岸(マリンボート)上部工等) ○谷山二区 防波堤(東)測量、実施設計) 橋梁(七ツ島橋)落橋防止対策工、単価調査) 橋梁(竹原橋)橋面防水工) ○浜平川港区 防波堤(北)基礎工、本体工、上部工)	(24年度事業実績) ○新港区 岸壁(-9m)地盤改良、基礎工等) 岸壁(-6m)基礎工、本体工、表込工等) 岸壁(-4.5m)調査設計) 物揚場(-4m)調査設計) 臨港道路(測量設計) ホーディングブリッジ(製作・据付) ○鴨池港区 荒田川排水機場(除塵機整備等) ○中央港区 橋梁(C)上部工、機壁工等) ○谷山一區 谷山臨海大橋(橋梁補修委託) ○谷山二區 防波堤(東)基礎工) 橋梁(七ツ島橋)落橋防止工等) 橋梁(竹原橋)ひび割れ注入工、断面補修工等)	(25年度実施内容) ○新港区 岸壁(-9m)耐震(表込工、上部工、舗装工、付属工) 岸壁(-7.5m)設計、本体工) 岸壁(-4.5m)直立消波ブロック製作) 臨港道路(路盤工、舗装工) ○鴨池港区 可動橋(可動橋補修) ○中央港区 橋梁(C)(上部工、橋面工、舗装工) 道路(舗装工) 橋梁(A)(谷山臨海大橋)補修工) 道路(マリンボート)排水工、路盤工) 緑地(マリンボート)緑地整備、噴水広場整備) 臨港道路(道路改良) ○谷山二區 防波堤(東)基礎工) 橋梁(竹原橋)落橋防止工、ひび割れ補修) ○浜平川港区 防波堤(北)上部工)	国、県が実施する鹿児島港の港湾整備事業等の整備促進を図るため、事業費の一部を引き続き負担する。	鹿児島港湾・空港整備事務所 県港湾空港課 (市都市計画課)	
○	1	3	2	青果市場リニューアル事業	22年度～ (長期)	(概要) 平成24年7月に策定した「鹿児島市中央卸売市場青果市場リニューアル基本計画」に基づき、市場施設の高度化及び活性化対策を推進し、青果市場の現在地でのリニューアルを行う。 (目的) 市場施設の老朽化や食の安全・安心の確保などに対応する。	H23: 365 H24: 15,094 H25: 30,723 H26: 277,020	(22、23年度事業実績) ○青果市場整備検討委員会(第1回～第8回) ○青果市場整備検討連絡会(第1回～第19回) ○整備庁内連絡会(第1回～第7回) ○卸売場棟外2棟耐震調査診断業務委託(22年度) ○青果市場リニューアル基本計画素案パブリックコメント実施(平成24年2月7日～3月31日)	○青果市場整備検討委員会(第9回) ○青果市場整備検討連絡会(第20回) ○整備庁内連絡会(第8回) ○青果市場リニューアル基本計画策定 ○青果市場リニューアル推進協議会(第1回～第12回予定) ○卸売場棟外外壁診断業務委託 ○青果市場リニューアル整備・保全計画等作成業務委託(平成25年7月末まで)	○青果市場リニューアル整備・保全計画等作成業務委託(平成25年7月末まで) ○屋根付荷捌場実施設計	(26年度以降の実施計画) ○屋根付荷捌場整備工事の実施 ○自走式立体駐車場の整備、既存施設改修の設計及び工事の実施	青果市場	
○	1	3	2	魚類市場再整備事業	22年度～ (長期)	(概要) 平成24年3月に策定した「鹿児島市中央卸売市場魚類市場再整備基本計画」に基づき、市場の建て替え及び活性化対策を推進し、魚類市場の現在地での再整備を行う。 (目的) 市場施設の老朽化や食の安全・安心の確保などに対応する。	H23: 10,665 H24: 17,090 H25: 48,310 H26: 562,366	(22、23年度事業実績) ○魚類市場整備検討委員会(第1回～第10回) ○魚類市場整備検討連絡会(第1回～第22回) ○整備庁内連絡会(第1回～第7回) ○地盤調査の実施(7月～9月) ○魚類市場再整備基本計画素案パブリックコメント実施(平成24年2月7日～3月7日) ○魚類市場再整備基本計画の策定(24年3月)	○PFI導入可能性調査の実施 ○再整備基本設計(26年1月末まで)	○再整備基本設計(24年度の続き) ○仮設市場棟実施設計	1 スケジュール(予定) 26年度～再整備実施設計、 仮設市場棟の整備など再整備工事の実施	魚類市場	
1	3	4	1	プロモーション推進事業(ポータルセールス等) (※事業概要や実施状況は「シティセールス」と合わせて記載しているため、1.1.6.1と同じ)	19年度～	鹿児島島の魅力を積極的に発信・アピールし、大会・会議・イベントの誘致、観光客の誘致、企業誘致、特産品・農産品の販路拡大などにつながる活動を推進する。	H23:10,241 H24:15,375 H25:16,036 H26:17,014	(23年度事業実績) ・特産品・農産品のPR 市長トップセールス、桜島大根PR等 ・情報発信 季節ごとの情報、話題性のある情報の発信 ・コンベンションの誘致 団体誘致訪問等 ・スポーツ大会の誘致 各競技団体誘致訪問等 ・企業誘致 企業訪問、情報提供等 ・その他 雑誌等取材協力、ポータルセールス等	・特産品・農産品のPR 市長トップセールス、桜島大根PR等 ・情報発信 季節ごとの情報、話題性のある情報の発信 ・コンベンションの誘致 団体誘致訪問等 ・スポーツ大会の誘致 各競技団体誘致訪問等 ・企業誘致 企業訪問、情報提供等 ・その他 雑誌等取材協力、ポータルセールス等	「ポータルセールス」の予定なし	観光プロモーション課・東京事務所		
○	2	1	1	新産業創出支援事業	23年度～	本市の将来を牽引する新たな産業を創出するため、産学官で構成する「新産業創出研究会」を設置し、本市の特性等を生かしたビジネスモデルや推進方策の検討を行うなど、新産業創出に向けた企業等の取組を促進する。	H23:12,395 H24:16,111 H25:16,363 H26:21,773	1 実施方針 新産業や他都市の取り組みに精通する有識者、民間、行政等で構成する「新産業創出研究会」を設置し、本市の特性等を生かすビジネスモデルやその推進方策を検討した。 2 ビジネスモデル 食:かごしま食材洗練化モデル 健康:アクティブエイジング産業創出モデル 環境:環境負荷軽減“見える化”ビジネス創出モデル	1 実施方針 引き続き、ビジネスモデルの事業化へ向け、新産業創出研究会部会を開催し、産学間、企業間等による共同研究開発や地域資源を生かす新製品・商品・サービス等の開発を支援する。 2 スケジュール (1)テーマごとに部会を設置(環境・健康・食) 部会会員:43者 (2)共同研究開発支援(セミナー開催、共同研究開発等助成制度の創設)	1 実施方針 引き続き、ビジネスモデルの事業化へ向け、新産業創出研究会部会を開催し、産学間、企業間等による共同研究開発や地域資源を生かす新製品・商品・サービス等の開発を支援する。 (1)新産業創出研究会の開催 (2)新産業創出研究会部会の開催 ・食、健康、環境 ・新たに部会内に分科会を設置 ・部会会員:56者 (3)産業振興アドバイザーの配置(2名) (4)共同研究開発等支援(補助件数:3件)	(1)新産業創出研究会の開催 (2)新産業創出研究会部会の開催 ・食、健康、環境 ・新たに部会内に分科会を設置 ・部会会員:59者 (3)産業振興アドバイザーの配置(2名) (4)共同研究開発等支援(補助件数:5件)【拡充】	産業創出課	
2	1	2	1	環境・新エネルギー産業参入促進事業	24年度	環境・新エネルギー産業への参入を目指す企業を対象に、バイオマスなど地域資源を活用した事業化の可能性や技術的課題等について、フォーラムや事業化検討会を開催し、県内の環境・新エネルギー産業の振興を図る。	1,981	—	1. ビジネスフォーラムの開催 2. 事業化検討会の開催(先進地視察など)	—	—	県(産業立地課)	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充 振興の 方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
2	1	2	2	重点業種研究開発支援事業	20年度～	自動車、電子、新成長分野関連産業(環境・エネルギー産業、健康・医療産業、バイオ関連産業)に関する新技術、新製品の開発に要する経費の一部を助成する	H24: 12,692 H25: 12,999 H26: 12,999	助成件数 20年度 3件 21年度 5件 22年度 4件 23年度 4件	4件助成	4件助成	継続実施予定	(公財)かごしま産業支援センター(産学官連携課)	県、大学、公設試等
2	1	2	2	かしん創業プラン大賞	24年度～	実現させたい事業計画を募集し、表彰する。事業実現後のバックアップ。	—	—	17事業所がエントリー	12事業所がエントリー	継続実施	鹿児島信用金庫	
2	1	2	2	中小製造業者創業・新分野進出等支援事業	25年度～	地域経済の活性化や雇用機会の確保を図るため、創業や新たな分野への進出、規模拡大に取り組む中小製造業者に対し、経営計画の策定、研究開発、設備投資等を支援する。	H25: 48,954 H26: 200,000	—	—	1 対象者 創業や新分野への進出、規模拡大に取り組む県内に事業所を有する中小製造業者 2 対象分野 自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連の製造業 3 助成対象事業(助成率、助成限度額) (1)ソフト支援 ・ 経営計画の策定(2/3以内、800千円/年) ・ 人材育成(1/2以内、120万円/年) ・ 試作・研究開発(2/3以内、400万円/年) ・ マーケティング・販路開拓(1/2以内、150万円/年) ・ 専門家の招へい(2/3以内、90万円/年) (2)ハード支援 ・ 経営計画に基づく製造の用に供する設備投資(新規雇用常用者数3人以上) (設備投資額(下限1千万円)×2%+新規雇用常用者数×30万円、2千万円)	1 対象者 創業や新分野への進出、規模拡大に取り組む県内に事業所を有する中小製造業者 2 対象分野 自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連の製造業 3 助成対象事業(助成率、助成限度額) (1)ソフト支援 ・ 経営計画の策定(2/3以内、800千円/年) ・ 人材育成(1/2以内、120万円/年) ・ 試作・研究開発(2/3以内、400万円/年) ・ マーケティング・販路開拓(1/2以内、150万円/年) ・ 専門家の招へい(2/3以内、90万円/年) (2)ハード支援 ・ 経営計画に基づく製造の用に供する設備投資(新規雇用常用者数3人以上) (設備投資額(下限1千万円)×2%+新規雇用常用者数×30万円、2千万円)	県(産業立地課)	一部委託先:(公財)かごしま産業支援センター
2	1	2	3	かしんチャレンジマーケット	24年度～	商品やサービスのPR販売と従業員の“売る気と技術”を磨くとともに、市場を肌で感じる場を提供する。	—	—	24年 9月 7日 24年11月30日 24年12月27日 25年 2月15日 24年10月19日 24年12月10日 25年 1月18日 25年 3月15日 実施	25年 4月19日 25年 6月21日 25年 8月 9日 25年10月18日 25年12月20日 26年 2月21日 25年 5月24日 25年 7月12日 25年 9月 6日 25年11月15日 26年 1月17日 26年 3月20日 実施	26年 4月24日 26年 6月20日 26年 8月 9日 26年10月24日 26年12月19日 27年 2月20日 26年 5月23日 26年 7月24日 26年 9月19日 26年11月21日 27年 1月23日 27年 3月20日	鹿児島信用金庫	
2	1	3	1	新事業等開拓支援プログラム事業	23～29年度	新たに取り組もうとする研究開発等に対する事前調査(市場調査・成分分析調査等)、新製品の展示会への出展、新用途の調査に要する経費の助成を行う。	H24: 11,993 H25: 9,654 H26: 15,000	(1)新事業参入調査支援 助成 5件 (2)新市場開拓支援 助成 10件 (3)新用途開拓支援 なし	(1)新事業参入調査支援 助成 5件 (2)新市場開拓支援 助成 37件 (3)新用途開拓支援 なし	(1)新事業参入調査支援 助成 0件 (2)新市場開拓支援 助成 38件 (3)新用途開拓支援 廃止	継続実施予定	(公財)かごしま産業支援センター(新産業育成課)	県、大学、公設試等
2	1	3	1	ベンチャープラザ開催事業	10年度～	ベンチャー企業が開発した新商品・新技術について、企業経営者、金融機関、行政機関等のニュービジネスに興味・関心を持つ者に対する発表の場を提供し、併せて情報交換、商談の場を設けて販路開拓等の取り組みを支援する。	H24: 1,107 H25: 1,107 H26: 1,107	1 これまでの経過 年4回の平成23年度までに52回開催している。 2 成果指標の実績値(補助件数・回数・人数など) 企業発表は県外企業を含み各回3社の発表を行っており、県内企業は平成23年度末で127社となっている。	5、8、11、2月に開催 県内企業8社が発表	5、8、11、2月に開催 県内企業8社が発表	継続実施予定	(公財)かごしま産業支援センター(新産業育成課)	
2	1	4	1	企業立地促進補助事業	S60年度～	企業が雇用人員など一定の要件を満たして事業所等を設置する(増設を含む)場合の経費の一部を補助する。 (注1)県立会による市町村との立地協定が必要 (注2)用地等取得後3年以内の操業開始が要件 (注3)補助対象となる設備投資額から、用地取得得費を除く 進出企業が雇用人員など一定の要件を満たして事業所を増設する(設備更新含む)場合の経費の一部を補助する。(H25年度～) (注1)県立会による市町村との立地協定が必要 (注2)進出企業(県外に本社又は親会社がある企業)が対象 (注3)補助対象となる設備投資額から、用地取得得費を除く	H23: 598,312 H24: 334,371 H25: 283,948 H26: 834,402	H22年度実績: 7件(うち鹿児島市立地企業1件) H23年度実績: 8件(うち鹿児島市立地企業1件)	H24年度実績: 11件(うち鹿児島市立地企業3件)	H25年度実績: 17件(うち鹿児島市立地企業0件)	継続実施予定	県(産業立地課)	
2	1	4	1	環境・エネルギー広域連携事業	23年度～	企業立地法に基づき、わが国の成長分野を対象に、新規立地、付加価値増加、雇用創出を促進するため鹿児島県を含む九州4県で「環境・エネルギー関連産業」の更なる集積と高度化を図るため、情報交換や広域的な連携事業に取り組む。	H24: 1,623 H24: 1,622	(1)地域連携マネージャーの設置(各県1名) (2)事業運営協議会の開催(4回/年) (3)マッチングの情報交換 (4)セミナーの開催(本県1回) (5)大型産業展示会への共同出展(3箇所)	(1)地域連携マネージャーの設置(各県1名) (2)事業運営協議会の開催(5回/年) (3)マッチングの情報交換 (4)大型産業展示会への共同出展(1箇所)	未実施	未定	(公財)かごしま産業支援センター(新産業育成課)	県、大学、公設試等

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充 振興の 方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
○	2	2	1	再生可能エネルギー導入促進事業	25年度～	再生可能エネルギーの導入促進を図るため、産学官連携による調査・研究を行う。	H25:7,084 H26:8,740	—	—	小水力、風力、温泉熱などの本市の地域資源を活かした再生可能エネルギーの導入を促進するため、学識経験者や民間事業者等で構成する再生可能エネルギー導入促進研究会を設置して、民間活力を活用した再生可能エネルギーの利用推進に向けた取組の具現化策を産学官連携により調査・研究する。	25年度の再生可能エネルギー導入促進研究会による提言を踏まえ、市民、事業者、市等が太陽光や風力、木質バイオマス等の再生可能エネルギーの導入を促進するための計画を策定する。	再生可能エネルギー推進課	大学等、民間企業、金融機関
	2	2	1	ものづくり企業元気おこし交流事業	25年度～	県内ものづくり企業の創意工夫を惹起し、新製品開発や販路拡大等の促進によって相互の経営基盤の強化を図っていくため、大学や公設試等との情報共有のものと、異業種間の交流・連携を促進する。	9,240	—	H25年度の国の緊急雇用創出事業に基づく県からの委託事業。	1 実施方針 講演会・研究シーズ等の発表会、県外の異業種交流会の開催などにより新製品開発への取り組みを促進する。 2 スケジュール (1)異業種交流会の設置(8月～3月) (2)同交流会の実施(8月～1月:現地視察含む) (3)講演会の実施(7月) (4)県外視察の実施(10月) (5)結果報告会(1月) 3 成果指標の目標値 (1)異業種交流会は3テーマごとに3回(8月・10月・12月)	H26年度以降は工業倶楽部で実施	工業倶楽部	県
	2	2	3	マッチング・コーディネート事業	12年度～	県内中小企業等の多様なニーズに対応した各事業を円滑に遂行するため、財団法人かごしま産業支援センターにコーディネーターを配置する。	H24:6,687 H25:6,626 H26:6,785	1 これまでの経過 中小企業の業種の実体に合わせ、各分野のコーディネーターが相談に対応している。 2 成果指標の実績値(補助件数・回数・人数など) 平成22年度は2名、平成23年度は3名の体制で実施。	1 実施方針 平成24年度は、一般製造関係、農工商関係、海外展開・経営全般関係への対応 2 スケジュール 平成24年4月1日から平成25年3月31日 3 成果指標の実績値又は目標値(補助件数・回数・人数など) 一般製造関係と農工商等連携についてはそれぞれ1名、週2日。海外展開・経営全般関係については1名、月1日配置する。	1 実施方針 平成25年度は、一般製造関係、経営全般関係、海外展開関係への対応 2 スケジュール 平成25年4月1日から平成26年3月31日 3 成果指標の実績値又は目標値(補助件数・回数・人数など) 一般製造関係と経営全般関係についてはそれぞれ1名、週2日。海外展開関係については1名、月1日配置する。	1 実施方針 平成26年度は、一般製造関係、経営全般関係への対応 2 スケジュール 平成26年4月1日から平成27年3月31日 3 成果指標の実績値又は目標値(補助件数・回数・人数など) 一般製造関係と経営全般関係についてはそれぞれ1名、週2日。	(公財)かごしま産業支援センター(相談経営課)	県、大学、公設試等
	2	2	3	そうしんブレン”21”ビジネスマッチング	24年度～	地域中小企業同士の交流及び新たな受発注の取引拡大を推進するとともに、異業種動向の情報収集に繋がるビジネスチャンスの拡大とブレン”21”企業の県内外への情報発信を支援する	—	—	平成24年度は、平成25年2月5日に開催	実績なし	日程未定	鹿児島相互信用金庫	
	2	2	3	下請企業取引連携促進事業(雇用基金)	25年度～	共同受注に向けた企業連携によるグループ化の検討など、下請企業の新たな事業展開を促進し、取引先の開拓と受注機会の拡大を図る。	H25:5,959	—	—	1 セミナーの開催(1回) 共同受注・企業連携に関する専門家による講演 2 分科会の開催(3回) (第1回)「中小製造業と海外取引」 (第2回)「発注企業が受注企業に望むこと」 (第3回)「下請中小企業の自立化支援の取組」 3 先進地事例調査の実施(宮城県)	—	産業立地課(県)	委託先:(公財)かごしま産業支援センター
	3	1	1	中心市街地活性化推進事業	19年度～	第2期中心市街地活性化基本計画の着実かつ円滑な推進を図るとともに、中心市街地活性化協議会に対する支援等を行うことにより、都市機能の増進及び経済活力の向上を促進する。	H23:3,934 H24:7,979 H25:4,791 H26:3,549	1 計画掲載事業の進捗 ■進捗状況(H23年度) 完了:32事業 実施中:30事業 未完了:15事業 未着手:3事業 合計 80事業 2 数値目標の達成状況 ①歩行者通行量(20地点、土日) 基準値(H18年):125,531人/日 目標値(H24年):150,000人/日 実績値(H23年):129,869人/日 ②中心市街地の年間入込観光客数 基準値(H18年):6,801千人 目標値(H24年):8,000千人 実績値(H23年推計):7,762千人 ③小売業年間商品販売額 基準値(H16年):2,094億円 目標値(H24年):2,100億円 実績値(H23年推計):1,752億円	1 計画掲載事業の進捗(2期計画) ■進捗状況(H24年度) 完了:39事業 実施中:31事業 未完了:9事業 未着手:1事業 合計 80事業 2 数値目標の達成状況 ①歩行者通行量(20地点、土日) 基準値(H18年):125,531人/日 目標値(H24年):150,000人/日 実績値(H24年):130,712人/日 ②中心市街地の年間入込観光客数 基準値(H18年):6,801千人 目標値(H24年):8,000千人 実績値(H24年推計):7,653千人 ③小売業年間商品販売額 基準値(H16年):2,094億円 目標値(H24年):2,100億円 実績値(H24年推計):1,742億円 3 第2期中心市街地活性化基本計画の策定 H25.3.29 内閣総理大臣より認定	1 計画掲載事業の進捗(2期計画) ■進捗状況(H25年度) 完了:4事業 実施中:39事業 未完了:16事業 未着手:6事業 合計 65事業 2 数値目標の達成状況 ①歩行者通行量(30地点、土日) 基準値(H24年):165,664人/日 目標値(H29年):171,000人/日 最新値(H25年):152,707人/日 ②中心市街地の年間入込観光客数 基準値(H23年):7,762千人 目標値(H29年):8,100千人 最新値(参考値:H24年):7,653千人 ③第三次産業の従業者数 基準値(H21年):62,939人 目標値(H29年):64,000人 最新値(参考値:H24年):60,562人 3 第2期計画の変更 ・第1回変更(H25.7.25認定) 2事業追加、1事業変更 ・第2回変更(H26.3.25認定) 4事業追加、10事業変更 4 中活協議会に対する支援等 中活協議会の運営に要する経費の1/2未満を負担する。(商工会議所と折半) ・H25.4.25 第1回中活協議会 ・H25.6.6 第2回中活協議会 ・H26.2.18 第3回中活協議会	継続実施予定	経済政策課	鹿児島市中心市街地活性化協議会

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
○	3	1	1	1	街なか空き店舗活用事業	18~27年度	中心市街地内の空き店舗の有効活用やまちの賑わい創出のため、空き店舗を活用したテナントミックス事業やチャレンジショップ事業を行う商店街等に対して賃借料や改装費の一部を助成する。	H23: 6,800 H24: 6,332 H25: 6,025 H26: 9,760	<p>街まちづくり鹿児島が実施したテナントミックス事業による出店者に対して助成した。街まちづくり鹿児島は、空き店舗見学会を実施し、HPや新聞掲載などによる広報を行い、出店者を募集した。</p> <p>(H21年度事業実績)新規出店 3件 補助件数:店舗借上経費 4件(継続店舗 3件、新規店舗 1件)、店舗改装経費 3件 (H22年度事業実績)新規出店 4件 補助件数:店舗借上経費 9件(継続店舗 5件、新規店舗 4件)、店舗改装経費 3件 (H23年度事業実績)新規出店 3件 補助件数:店舗借上経費 6件(継続店舗 4件、新規店舗 2件)、店舗改装経費 3件</p>	<p>1 実施方針 中心市街地の商店街等が実施するテナントミックス事業、チャレンジショップ事業に対して助成することにより空き店舗を解消し、魅力ある商店街づくりに寄与する。</p> <p>2 H24年度実績 (テナントミックス事業) 新規出店 3件 補助件数:商店街事務経費 4件 店舗借上経費 6件 店舗改装経費 3件</p>	<p>1 実施方針 中心市街地の商店街等が実施するテナントミックス事業、チャレンジショップ事業に対して助成することにより空き店舗を解消し、魅力ある商店街づくりに寄与する。</p> <p>2 スケジュール 商店街等からの申請に基づき随時対応</p> <p>3 事業実績 (テナントミックス事業) 新規出店 4件 補助件数:商店街事務経費 4件 店舗借上経費 6件 店舗改装経費 3件</p>	<p>1 実施方針 商店街からの要望等を踏まえ対応。平成26年度から店舗借上経費の補助について、新規創業の場合、補助対象期間を12か月から24か月に拡充する。</p> <p>2 スケジュール 商店街等からの申請に基づき随時対応</p>	産業支援課	
	3	1	1	1	街なかサービス推進事業	24年度~	中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、観光案内、トイレ・ペーパークーの貸出等の街なかサービス及び特産品の情報発信を行うたまちサロンを運営する。	H24: 38,434 H25: 32,833 H26: 32,850	—	<p>1 実施方針 中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、たまちサロンにおいて観光・イベント情報の提供やペーパークー貸出など街なかサービスのほか、特産品等の展示販売などを行う。</p> <p>2 事業実績 たまちサロン利用者数:(旧) 3,413人(85人/日・4~5月) (新)34,063人(113人/日・6~3月) サービス利用件数:29,476件(新・6~3月) ①来街者サービス(ペーパークー貸出、手荷物預かり等) ②観光情報、特産品等の情報提供 ③特産品等の展示・販売(売上金額:1,143,000円) にぎわい創出につながるイベントの実施(6回) ④空き店舗見学会(2回)、空き店舗対策セミナーの開催 ⑤中心市街地回遊行動調査の実施</p>	<p>1 実施方針 中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、たまちサロンにおいて観光・イベント情報の提供やペーパークー貸出など街なかサービスのほか、特産品等の展示販売などを行う。</p> <p>2 事業実績 たまちサロン利用者数:73,317人(201人/日) サービス利用件数:55,866件 ①来街者サービス(ペーパークー貸出、手荷物預かり等) ②観光情報、特産品等の情報提供 ③特産品等の展示・販売(売上金額:141,924円) にぎわい創出につながるイベントの実施(9回) ④空き店舗見学会(2回)、空き店舗対策セミナーの開催 ⑤中心市街地回遊行動調査の実施</p>	<p>1 実施方針 継続実施予定</p>	産業支援課	
	3	1	2	1	中小企業振興条例に基づく助成事業 (共同施設設置)	S48年度~	市内の商店街等が構成員の事業共同化のための共同施設や市民の利便を図るための共同施設(街路灯やアーケード等)を設置した場合に助成する。	H23: 27,877 H24: 0 H25: 52,074 H26: 2,376	<p>1 実績値(補助活用実績内訳) (H21年度) 一番街商店街振興組合:アーケード内の照明設備の改修 (H22年度) 萩原通り会他3団体:街路灯の設置 (H23年度) 天文館一丁目商店街振興組合:アーケード改修 天文館一丁目商店街振興組合:街路灯の設置</p>	補助活用団体なし	<p>1 実施方針 市内の商店街等が構成員の事業共同化のための共同施設や市民の利便を図るための共同施設(街路灯やアーケード等)を設置した場合に助成する。 25年度からは、新たに省エネ型街路灯への改修に対し助成した。</p> <p>2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時対応</p> <p>3 事業実績 18団体へ助成</p>	<p>1 実施方針 商店街からの要望等を踏まえ対応</p> <p>2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時対応</p>	産業支援課	
	3	1	2	1	ハイアムニティ商店街づくり補助事業	20~24年度	歩いて楽しむ、快適性の高い潤いのある街づくりを支援するため、消費者ニーズの高い緑化や休憩設備の設置、情報提供機能の充実などの環境整備事業を行う商店街に対して助成を行う。 1. 補助対象者 鹿児島商工会議所管内の商店街(法人、任意) 2. 補助対象事業 ①グリーンモール事業 来街者のアムニティ(快適性)や文化向上に資する施設整備及び備品購入 ②タウン事業 情報発信のための施設整備及びソフト開発・購入	H24: 2,000	<p>23年度 ①天神おつきや商店街振興組合 ・事業名:ドライミスト設置事業</p>	<p>24年度 ①照国表参道商店街振興組合 ・事業名:まち歩き案内板設置・ホームページ開設事業 ②宇宿商店街振興組合 ・事業名:デジタル案内板設置事業</p>	—	—	商工会議所	
	3	1	2	1	明るい商店街づくり支援事業 ※H23年度までは「商店街活性化ソフト対策支援事業」で実施	24年度~	商店街の夜の魅力の創出や消費者が安心して買い物ができる環境づくりのため、市の共同施設設置事業の助成を受けて街路灯等を設置した商店街が維持管理する街路灯などの電気料の一部を助成する街路灯等点灯事業と街路灯等にリース契約により省エネ電球を導入した場合にリース料の一部を助成する省エネ電球導入事業を実施する。	H24: 9,967 H25: 10,188 H26: 10,644	<p>1 これまでの経緯 平成23年度まで商店街活性化ソフト対策支援事業の明るい商店街づくり推進事業として実施しており、平成24年度より現事業として実施。</p> <p>2 実績値 H20年度74団体、H21年度73団体、H22年度72団体、H23年度72団体に支援。</p>	<p>1 実施方針 市の共同施設設置事業の助成を受けて街路灯を設置した商店街や、商店街ファンタスティックイルミネーション助成事業による助成を受けてイルミネーションを設置した商店街が維持管理する街路灯などの電気料の一部を助成した。</p> <p>2 スケジュール 年に2回(6月、11月)商店街からの申請に基づき実施</p> <p>3 平成24年度実績 71団体に支援</p>	<p>1 実施方針 商店街の要望を踏まえ対応</p> <p>2 スケジュール 年に2回(6月、11月)商店街からの申請に基づき実施</p> <p>3 事業実績 街路灯等点灯事業 70団体に支援 省エネ電球導入事業 3団体に支援</p>	<p>1 実施方針 商店街の要望を踏まえ対応</p> <p>2 スケジュール 年に2回(6月、11月)商店街からの申請に基づき実施</p>	産業支援課	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等	
		3	1	2	2	頑張る商店街支援事業	19年度～	商店街等が、独自のアイデアや創意工夫を生かし、商店街の活性化を図るために実施する事業に助成する。	H23:16,625 H24:26,292 H25:27,618 H26:36,257	(H21年度) ・宇宿商店街振興組合(ミニコミ誌発行事業)など計12団体に支援 (H22年度) ・天文館本通商店街振興組合(テンテン天まち街興し事業)など計14団体に支援 (H23年度) ・WeLove天文館協議会(WeLove天文館活性化事業)など計18団体に支援	1 実施方針 商店街の活性化を図るために実施する事業について、商店街の特徴や現状・商店街づくりの方向性に沿った支援を行う。 〔補助対象事業〕 ○総合支援型:3-5年度間の事業計画を策定し、複数の事業を組み合わせることにより商店街づくりを総合的に進める事業 ○個別支援型:フラッグ作成やイベント開催等個別に実施する事業 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時実施 3 平成24年度実績 ○総合支援型 ・We Love 天文館協議会(We Love 天文館活性化事業)など計7団体に支援 ○個別支援型 ・金生通り商店街振興組合(フラッグ作成事業)など計17団体に支援	1 実施方針 商店街の活性化を図るために実施する事業について、商店街の特徴や現状・商店街づくりの方向性に沿った支援を行う。 〔補助対象事業〕 ○総合支援型:3-5年度間の事業計画を策定し、複数の事業を組み合わせることにより商店街づくりを総合的に進める事業 ○個別支援型:フラッグ作成やイベント開催等個別に実施する事業(1回あたりの上限額を、30万円から50万円に変更) 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時実施 3 事業実績 ○総合支援型 ・We Love 天文館協議会(We Love 天文館活性化事業)など計7団体に支援 ○個別支援型 ・金生通り商店街振興組合(フラッグ作成事業)など計24団体に支援	1 実施方針 商店街からの要望等を踏まえ対応 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時実施	産業支援課	
		3	1	2	2	商店街活性化ソフト対策支援事業 ※平成23年度末で事業廃止 CI戦略推進事業と商店街等交流活性化事業は頑張る商店街支援事業へ統合。明るい商店街づくり推進事業は、単独の事業として継続実施。	13～23年度	商店街が実施するイベント開催事業等のソフト事業に対して助成することにより、商店街や地域の活性化を促進する。	H22:16,742 H23:11,078	1 実績値(補助事業の活用件数) ・CI戦略推進事業 H20:9件、H21:17件、H22:20件、H23:11件 ・明るい商店街づくり推進事業H20:74件、H21:73件、H22:72件、H23:72件 ・商店街等交流活性化事業H20:13件、H21:11件、H22:9件、H23:4件	—	—	—	産業支援課	
		3	1	2	2	商店街歩行者通行量調査	S49年度～	本市主要商店街における歩行者の流れや特徴を把握し、その分布状況及び動向を比較分析することにより、今後の商店街の振興を図っていくための基礎資料とする。	H23: 0 H24:6,720 H25: 0 H26:7,125	1 実施方針 前回調査と比較し、日中の調査地点を2地点追加し、夜間の調査地点を11地点追加した。 2 スケジュール ・平成24年10月18日(木)、20日(土)、21日(日)の3日間にわたり実施 3 実績値 ・調査地点数 153地点(前回調査から増減なし) (実施時期 平成22年10月14日(木)、16日(土)、17日(日)) ・調査地点数 155地点	1 実施方針 隔年での調査のため実施なし	1 実施方針 ・前回と同じ155地点にて実施予定。 2 スケジュール ・10月の平日、土曜日、日曜日の3日間に調査予定	産業支援課		
		3	1	2	2	にぎわい商店街づくり支援事業	19年度～	商店街の経営実態調査、来街者、居住世帯の買物調査、現場診断の結果などを中小企業診断士等が分析し、商店街活性化のための提言や助言を行う。 また、商店街が中心となって「商店街づくり検討会」を組織し、診断士等の助言をもとに、「商店街づくり」の構想・計画などを策定する。	H24: 0 H25:1,275 H26:7,085	1 これまでの経緯 H19年度～H23年度間に、5団体が活用 2 実績値 (H22年度)鹿兒島中央駅西口通り会(現・ソウさんのはな通り会) (H23年度)活用団体なし	事業活用団体なし	1 実施方針 照会表参道商店街振興組合が事業活用 2 スケジュール 商店街診断9月～12月、街づくり研究会12月～3月 3 事業実績 1団体の事業活用	1 実施方針 「商店街診断」と「商店街づくり計画策定」とに選択できるようにメニューを整備し、事業の利用を促進する。 ①商店街診断:4団体が事業活用予定 ②商店街づくり計画策定:1団体が事業活用予定 2 スケジュール ①商店街診断8月～11月予定 ②「商店街づくり計画策定」12月～2月予定	産業支援課	
		3	1	2	2	中小企業連携組織等支援事業 (組合等連携強化指導事業(商業・サービス業))	23年度～	地域の商業・サービス業者等を対象とした連携強化の推進や人材育成、商店街の連携による新たなサービス、ソフト事業構築への支援を行うことを目的とする。	H23:348 H24:200 H25:133	(平成23年度実績) 回数:3回 参加者延べ人数:161人	地域の商業・サービス業者等を対象とした連携強化の推進や人材育成、商店街の連携による新たなサービス、ソフト事業構築への支援を行うことを目的とする。 合計2回 【鹿兒島県環境整備事業(協)】 実施日:平成24年7月27日 参加者:74人 【伊集院地区通り会連合会】開催予定 実施日:平成25年2月22日	対象:鹿兒島県運動具小売商(協) 開催日:平成26年2月18日 テーマ:スポーツ用品販売業の販売促進及び販路拡大の研究 講師:(株)アスカ 代表取締役 笹瀬信嘉 参加者:19人 対象:西陵商観会 開催日:平成26年2月25日 テーマ:商店街活性化と地域づくり 講師:宇宿商店街(振)青年部 吉留大輔 参加者:13人	対象:鹿兒島県化粧品小売(協) 開催日:平成26年6月11日 テーマ:化粧品販売実績向上に向けて ～「キリウ」販売コンテスト 全国NO.1店のノウハウに学ぶ～ 講師:(有)なかはら マネージャー 伊藤奈津美 参加者:70人	鹿兒島県中小企業団体中央会 (連携情報課)	
		3	1	2	2	街おこし指導事業	継続	商店街の活性化を図るため、まちおこしの先進地のリーダーや専門家を招いて、講習会や懇談会を実施し商店街の事業運営を側面から支援する。	H23:2,450	H22年度実績(鹿兒島県全体) ・重点指導商店街地区(年3回程度) 商店街等数:8件 指導対象事業者数:213 ・一般地区商店街等 商店街等数:21件 指導対象事業者数:393	H24年度実績(鹿兒島県全体) ・重点指導商店街地区(年3回程度) 商店街等数:6件 指導対象事業者数:172 ・一般地区商店街等 商店街等数:19件 指導対象事業者数:926	慈眼寺通り会が重点商店街に指定 11月24日 豊栄商店街(東車良町)で視察研修を実施 ※谷山地区商店街通り会と共催	8商店街通り会のうち、慈眼寺通り会が重点商店街地区に指定 《通り会連合会》 総会1回・役員会2回 平成26年6月10日開催 テーマ:まちづくり補助金・にぎわい補助金活用方法について 講師:九州経済産業局商店街アドバイザー 中小企業診断士 田中 博道 平成26年7月18日開催 テーマ:儲かる商店街づくり ～2020谷山商店街づくりプロジェクト～ 講師:(株)創造経営研究所 宇都 幸雄	鹿兒島県商工会連合会(かごしま市商工会)	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事業・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
3	1	2	2	THE商人塾！事業	25年度	商店街の人材育成を通じ、商店街の活性化を図るとともに、商店街内外におけるネットワークの構築並びに情報交換の場を提供する。	H25: 1,078	—	—	・講義8回(1コマ2時間) ・先進地商店街視察1回 ・24名受講	—	商工会議所	
3	1	3	1	商店街を核とした共生・協働型のまちづくり活性化推進事業	21年度～	商店街を核とした共生・協働型のまちづくりの活性化を図るため、商店街の課題に対する商店街活性化事業計画の策定に向けた取組に支援を行うとともに、商工団体、地域住民、NPO、行政等が連携した推進体制を整備する。	H22: 1,452 H23: 2,475 H24: 938 H25: 1,565 H26: 2,449	(21年度事業実績) ①商店街まちづくりリーダー育成・派遣事業 受託者:宇宿商店街振興組合 委託内容:まちづくりや地域の活性化に向けて積極的に活動しているNPO法人等と協働し、商店街を担う人材(リーダー)育成を図った。  (22年度事業実績) ①商店街まちづくりリーダー育成・派遣事業 受託者:宇宿商店街振興組合 委託内容:前年度に育成した商店街を担う人材(商店街まちづくりリーダー)を中心とした「商店街まちづくりリーダーネットワーク会議」を設置し、同会議が各地域商店街の勉強会や実践的な取組に対して活動支援を行った。 ・会議開催 県内6地区 ・気運づくり研修会の開催 ②商店街魅力アップ促進会議 市町村・商工団体・商店街関係者を対象に商店街活性化に繋がる支援制度や商店街活性化の取組事例等の情報提供を行うとともに、各地域振興局・支庁ごとに各地域のニーズにあった商店街の在り方などの意見交換会を開催したことにより、県全体で商店街活性化の推進を図った。 ・全体会議 ・地域商店街意見交換会 県内3地区	①商店街活性化事業計画策定支援事業 商店街の活性化のため、地域商店街活性化法に基づき商店街振興組合等が行う「商店街活性化事業計画」の策定に向けて、一体的に実施されるコンセンサス形成事業及び調査事業への支援を行った。 ②商店街魅力アップ促進会議 市町村・商工団体・商店街関係者を対象に商店街活性化に繋がる支援制度や商店街活性化の取組事例等の情報提供を行うとともに、各地域振興局・支庁ごとに各地域のニーズにあった商店街の在り方などの意見交換会を開催し、県全体で商店街活性化の推進を図った。 ・全体会議の開催 ・地域商店街意見交換会の開催(県内7地区)	①商店街活性化事業計画策定支援事業 商店街の活性化のため、地域商店街活性化法に基づき商店街振興組合等が行う「商店街活性化事業計画」の策定に向けて、一体的に実施されるコンセンサス形成事業及び調査事業への支援を行った。 ※3団体に対して支援。 ②商店街魅力アップ促進会議 市町村・商工団体・商店街関係者を対象に商店街活性化に繋がる支援制度や商店街活性化の取組事例等の情報提供を行うとともに、各地域振興局・支庁ごとに各地域のニーズにあった商店街の在り方などの意見交換会を開催し、県全体で商店街活性化の推進を図った。 ・全体会議の開催 ・地域商店街意見交換会の開催(県内7地区)	①商店街活性化事業計画策定支援事業 ②商店街魅力アップ促進会議 25年度と同様に、年に1回の全体会議及び県内7つの地区で意見交換会を実施予定。	県(商工政策課)	
3	1	3	1	地域のおか店コラボ支援事業 ※25年度に地域密着店連携支援モデル事業から名称変更	23年度～	近隣の中小店舗等が連携して、地域の消費者へPR等を行う取組に対して支援する。	H24: 878 H25: 757 H26: 960	H23年度からH24年度までのモデル事業として開始 ・4団体に支援	1 実施方針 近隣で商業・サービスを営む事業者が連携して店舗をPRする取組を支援することで、商店街の強化・再生や商業集積の形成・強化を図り、商業・サービスの活性化につなげる。 2 H24年度の実施実績 ・9団体に支援	1 実施方針 要望を踏まえ対応 2 スケジュール 事業申込に基づき随時対応 3 実施実績 6団体に支援(7件) ※2年のモデル事業期間を経て、H25年度から本格実施とする。	1 実施方針 要望を踏まえ対応 2 スケジュール 事業申込に基づき随時対応	産業支援課	
3	1	3	2	地域繁盛店づくり支援事業	23年度～	実践的なセミナーと店舗での指導を組み合わせた研修会を開催し、地域商業の中核となる繁盛店を育成することにより、商店街全体の活性化につなげる。	H23: 1,720 H24: 2,090 H25: 2,419 H26: 2,047	1 これまでの経過 23年度より事業開始 2 実績値 (23年度) 受講者:5名 回数:7回(セミナー形式4回、臨店指導3回)	1 実施方針 実践的なセミナーと店舗での指導を組み合わせた研修会を開催する。 2 スケジュール 7～9月に重点的にセミナーと臨店指導を重点的に実施し、1月に取り組みの結果について確認の臨店指導を行う。 3 実績値 (24年度) 受講者:10名 回数:8回(セミナー形式3回、臨店指導5回)	1 実施方針 実践的なセミナーと店舗での指導を組み合わせた研修会を開催した。 2 スケジュール 7～10月に重点的にセミナーと臨店指導を重点的に実施し、1月に取り組みの結果について確認の臨店指導を行った。 3 実績値 (25年度) 受講者:7名 回数:8回(セミナー形式3回、臨店指導5回)	1 実施方針 継続実施予定 2 スケジュール 9～2月にセミナーと臨店指導を行う予定。	産業支援課	
3	1	3	2	商店街交流事業	22年度～	先進地視察・交流	H22: 588 H23: 733 H24: 720 H25: 726 H26: 600	視察交流 ①天神橋三丁目商店街振興組合(大阪市) ②南京町商店街振興組合(神戸市) ③大阪ステーションシティ(大阪市)	視察交流 ①三井アウトレットパーク木更津(木更津市) ②戸越銀座商店街連合会(東京都品川区) ③東京スカイツリー・東京ソラマチ(東京都墨田区) ④渋谷ヒカリエ(東京都渋谷区)	視察交流 ①浜松商工会議所(浜松市) ②桜山商店街振興組合(名古屋市) ③愛知県商店街振興組合連合会(名古屋市)	継続実施予定	鹿児島県商店街振興組合連合会	鹿児島市
3	1	3	2	商店街振興組合指導事業(鹿児島県補助事業)	22年度～	商店街振興組合役員・組合員を対象とした研修会の開催、情報提供を行う。	H22: 1,012 H23: 958 H24: 954 H25: 971 H26: 1,002	(1)商店街活性化研究会(3回) ①地方商店街の活性化と地域振興について ②地域ブランド戦略と街づくり ③南九州西回り自動車道の建設と周辺地域商業への影響、地域振興について (2)商店街人材育成研修会(3回) ①商店街組合事務局のあり方 ②商店街のリーダー育成について ③商店街の後継者育成について (3)商店街情報誌「街づくり・かごしま」の発行(3回)	(1)商店街活性化研究会(3回) ①売上向上と商店街活性化に向けた商売のやり方 ②商店街と映画館の連携による相乗効果と活性化 ③個店の店舗力向上と商店街活性化について (2)商店街人材育成研修会(3回) ①地域資源を活用した商店街活性化とおもてなしのありかた ②商店街のリーダー育成 ③商店街の後継者育成 (3)商店街情報誌「街づくり・かごしま」の発行(3回)	(1)商店街活性化研究会(3回) ①地方商店街の活性化と地域振興 ②個店のファンを作る商店街活動 ③まちづくりにおけるタウンマネージャーの必要性と役割 (2)商店街人材育成研修会(3回) ①商店街振興組合に係る法律問題について ②商店街のリーダー育成 ③商店街の後継者育成 (3)商店街情報誌「街づくり・かごしま」の発行(3回)	継続実施予定	鹿児島県商店街振興組合連合会	鹿児島県

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等		
	3	1	3	2	商人塾 創業塾	—	短期・集中型の研修講座として、商業・サービス業における人材の育成を図るため「商人塾」を、創業の取組を支援するため「創業塾」を実施する。	H23: 1,800 H24: 2,340 H25: 2,340 H26: 2,340	・商人塾 6回講座 49名受講 ・創業塾 6回講座 50名受講	・商人塾 7回講座 (25年2月開催) ・創業塾 ①創業塾 6回講座 44名受講 ②飲食店創業塾 3回講座 33名受講	商人塾 6回講座 (26年2月開催) 24名受講 創業塾 7回講座 42名受講	継続実施	商工会議所			
	3	1	3	2	みせづくりブラッシュアップ事業	25年度～	小規模事業者が抱えている様々な経営課題の改善・解決を支援するため各分野の専門家を横断的に派遣する。	H25: 300 H26: 300	—	—	・支援件数 延指導回数13回	継続実施	商工会議所			
	3	1	4	1	元気の出る中小企業支援事業	7年度～	商工業の事業協同組合や商店街、中小企業者で組織するグループが開催する研修会等に講師を派遣する。	H22: 2,076 H23: 977 H24: 1,156 H25: 819 H26: 1,225	1 実績値 (H21年度) ・いづろ商店街振興組合など計5団体に派遣 (H22年度) ・一番街商店街振興組合など計12団体に派遣 (H23年度) ・宇宿商店街振興組合など計9団体に派遣	1 実施方針 商工業の事業協同組合や商店街、中小企業者で組織するグループが開催する研修会等に講師を派遣し、その活動を側面支援することにより、商店街及び中小企業者の活性化を図る。 2 スケジュール 対象団体の申請に応じ研修会を開催 3 H24年度実績 WeLove天文館協議会など計10団体に派遣	1 実施方針 商工業の事業協同組合や商店街、中小企業者で組織するグループが開催する研修会等に講師を派遣し、その活動を側面支援することにより、商店街及び中小企業者の活性化を図る。 2 スケジュール 対象団体の申請に応じ研修会を開催 3 事業実績 WeLove天文館協議会など計9団体に派遣	1 実施方針 対象団体の要望を踏まえ対応 2 スケジュール 対象団体の申請に応じ研修会を開催	産業支援課			
	3	1	5	1	ソーシャルビジネス促進事業	23年度～	ソーシャルビジネスに関するセミナー等の開催により、市民や企業等のソーシャルビジネスへの理解と関心を深め、事業者が活動しやすい事業環境の醸成、担い手の育成を図るとともに、アドバイザーの派遣等により事業者を育成・支援し、ソーシャルビジネス(SB)の成長を促進する。	H23: 3,647 H24: 1,620 H25: 1,120 H26: 1,025	実施内容 ①セミナーの開催(全12回) ・3シリーズ×4回 ②アドバイザーの派遣(20件) ・経営・財務・人材育成等に関する専門的知識を有する者を企業やNPO法人等からの依頼に応じて派遣し、助言・指導等を行う。 ③ビジネスマッチング交流会の開催(1回) ・基調講演、SB事業者によるビジネスプラン発表・マッチング交流会 (23年度実績) ①セミナー参加者 延べ272人 ②アドバイザー派遣 延べ20件 ③ビジネスマッチング交流会 1月28日開催 参加者104人	実施内容 ①セミナーの開催(4回) ②アドバイザーの派遣(10件) ・経営・財務・人材育成等に関する専門家をSB事業者からの依頼に応じて派遣し、助言・指導等を行う。 ③ビジネスマッチング交流会の開催(1回) ・基調講演、SB事業者によるビジネスプラン発表・マッチング交流会 (24年度実績) ①セミナー参加者 延べ62名 ②アドバイザーの派遣 延べ10件 ③ビジネスマッチング交流会 1月25日開催 参加者53人	新規創業者等育成支援事業と一括して鹿児島相互信用金庫に業務委託(H25.7～)	新規創業者等育成支援事業と一括して鹿児島相互信用金庫に業務委託(H25.7～)	①SB事業者への助言指導(1M対応) ②アドバイザーの派遣(10件) ・経営・財務・人材育成等に関する専門家をSB事業者からの依頼に応じて派遣し、助言・指導等を行う。	①SB事業者への助言指導(1M対応) ②アドバイザーの派遣(10件) ・経営・財務・人材育成等に関する専門家をSB事業者からの依頼に応じて派遣し、助言・指導等を行う。	産業創出課	関係機関、民間企業等
	3	1	5	3	市民とつくる協働のまち事業	18年度～	市民と行政との協働による個性的なまちづくりを進めるため、公益的なサービスを提供する市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成する。	H23: 5,254 H24: 4,459 H25: 4,702 H26: 6,049	1 これまでの経過 市民と行政との協働による個性的なまちづくりを進めるため、公益的なサービスを提供する市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成した。 2 実績 H18 補助金額 4,563千円 補助件数 11件 H19 補助金額 6,370千円 補助件数 12件 H20 補助金額 6,987千円 補助件数 13件 H21 補助金額 5,285千円 補助件数 13件 H22 補助金額 3,462千円 補助件数 8件 H23 補助金額 4,468千円 補助件数 10件 H24 補助金額 4,018千円 補助件数 12件 H25 補助金額 4,297千円 補助件数 14件	1 実施方針 市民と行政との協働による個性的なまちづくりを進めるため、公益的なサービスを提供する市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成する。 2 スケジュール 24年11月 25年度事業募集 25年12月 意見交換会 12月～3月 選考審査会(5回) 25年3月下旬 予算議決 25年4月 補助決定、事業実施 3 実績 補助金額 4,297千円 補助件数17件	1 実施方針 市民と行政との協働による個性的なまちづくりを進めるため、公益的なサービスを提供する市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成する。 2 スケジュール 25年10月～11月 26年度事業募集 25年12月 意見交換会 12月～3月 選考審査会(5回) 26年3月下旬 予算議決 26年4月 補助決定、事業実施 3 実績 補助予定金額 5,278千円 補助予定件数17件	1 実施方針 市民と行政との協働による個性的なまちづくりを進めるため、公益的なサービスを提供する市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成する。	NPO、町内会等の市民活動団体			
○	3	2	1	1	「メイドインかごしま」支援事業	24年度～	本市中小企業(製造業者等)の新製品開発等の経営力の強化や商品の販路拡大の取組を支援する。	H24: 11,934 H25: 13,806 H26: 18,694	—	1. 経営力強化事業 ①製造業アドバイザー派遣事業 派遣先: 12社(グループ)、派遣回数: 計28回 ②企業の新製品開発等の取組に対する助成 補助対象: 4社、助成金額: 計732,000円 ③相談会の開催 2月25日開催、参加5社 2. 販路拡大推進事業 ①鹿児島島の物産と観光PR開催事業 ・イオン福津店(福岡県)で開催 ②三市連携地場企業販路拡大推進事業 ・食の商談会の開催(東京) ・「中小企業総合展2012」出展 ③企業の商談会等への出展等に対する助成 (商談会等への出展・開催) 補助対象: 18社・グループ、助成金額: 計1,904,000円 (新商品販路開拓) 補助対象: 6商品、助成金額: 計1,392,000円	1. 経営力強化事業 ①製造業アドバイザー派遣事業 派遣先: 12社(グループ)、派遣回数: 計19回 ②企業の新製品開発等の取組に対する助成 補助対象: 7社、助成金額: 計856,000円 ③相談会の開催 11月11日・12日開催、参加6社 2. 販路拡大推進事業 ①物産と観光のPR(大垣市、松本市、札幌市) ②四市連携地場企業販路拡大推進事業 「中小企業総合展2013-2014」出展 食の商談会の開催(東京) ③企業の商談会等への出展等に対する助成 (商談会等への出展・開催) 補助対象: 25社・グループ、助成金額: 計2,761,000円 (新商品販路開拓) 補助対象: 4商品、助成金額: 計696,000円	1. 実施方針 継続実施 ※1. ②については、新たにデザインを活用した取組に対し助成を行う予定。 ※2. ①については、新たに札幌市の百貨店での物産と観光のPRを行う予定。	産業支援課			
	3	2	1	1	商品開発デザイナー育成支援事業 ※H25からは「クリエイティブタレント育成支援事業」へ	24年度	市内デザイナーや製造業者等を対象に、デザインが商品にもたらす効果をテーマとした講座を開催することで、デザイナーの商品デザイン制作技術の向上を図るとともに、事業者のデザイン面における事業革新等を促進する。	5,100	—	①デザインに関連する知識向上を目的とした基礎講座の開催(2回) ②デザインワークショップ(実践講座)の開催(1回)	—	—	産業創出課			

事業等の実施状況等〔継続事業等〕

資料3

拡充 振興の 方向性	基本 方針	推進 施策	主な 取組 み	事業・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
	3	2	1	ものづくり重点業種支援事業	20年度～	本県の重点業種である自動車・電子・食品・新成長分野関連産業の振興を図るため、企業が行う研究開発、人材育成、販路拡大等の取組を一体的に支援する。	H23:19,958 H24:19,958 H25:16,879 H26:20,035	・重点3業種に係る研究開発に対する支援 助成件数4件(継続1件を含む) ・重点3業種における新規参入や取引拡大を図るため、品質管理、生産管理等の研修、人材育成、販路拡大への支援 ①かごしまモノづくり研究会の実施 ②派遣研修、専門的研修への助成 助成件数2件 ③農商工等連携フォーラムの開催 ・重点3業種における取引拡大・新製品開発 など県内企業連携組織(かごしまモノづくり推進協議会)の取組に対する支援	□ 企業が行う新技術・新製品の研究開発に対する支援 ・対象業種:自動車・電子・新成長分野 ・補助率:2/3以内 ・採択:400万円×3件 ・かごしま産業支援センターに委託 □ 企業が行う人材育成、販路拡大等への支援 ・県外企業等への派遣助成 120万円×2件以内など ・TPS研修会等の開催 □ 県内企業連携組織の活動に対する支援	□ 企業が行う新技術・新製品の研究開発に対する支援 ・対象業種:自動車・電子・新成長分野 ・補助率:2/3以内 ・採択:400万円×3件 ・かごしま産業支援センターに委託 □ 企業が行う人材育成、販路拡大等への支援 ・県外企業等への派遣助成 120万円×2件以内など ・TPS研修会等の開催 □ 九州内における広域的連携組織への参画	□ 企業が行う新技術・新製品の研究開発に対する支援 ・対象業種:自動車・電子・新成長分野 ・補助率:2/3以内 ・採択:400万円×3件 ・かごしま産業支援センターに委託 □ 企業が行う人材育成、販路拡大等への支援 ・県外企業等への派遣助成 120万円×2件以内など ・TPS研修会等の開催 □ 九州内における広域的連携組織への参画	県(産業立地課)	一部委託機関(公財)かごしま産業支援センター
	3	2	1	大島紬小柄文様の着姿シミュレーションに関する研究	23～24年度(短期)	小柄平織組織を立体的に表現する手法と、現代の洋服感覚を生かした色を使用することで大島紬小柄着姿シミュレーションシステムを確立し産地の活性化を図るものである。	—	・大島紬の伝統模様の収集、蓄積し、伝統的模様集や大島紬端切集を作成。両産地組合や関連企業へ配布。	・市販ソフトを利用して平織組織の立体感、素材感表現手法の確立 ・地、柄が色変換できる仕上がり想定図ベース画像作成(名前付小柄80種) ・地色の選定(34種) ・地(34種)と柄(黒、紺)をコーディネートして反物を作成 ・販売促進用商品作成(手提げ袋、包装紙、パンフレット、パネル)	—	—	県(工業技術センター)	
	3	2	1	大島紬光輝性緋の研究	23～25年度(短期)	派手さを強調した光輝性のある緋と新規洋装用緋糸を開発し洋装化への対応を図るものである。	—	・12色相環から高明度グループを取り出しLCGにより新規色の輪を創作する ・創作した色相環に基づき染料を選定し色見本帳を作成する ・白大島紬用の試作試験(色の輪、緋密度、色数、染料濃度、発色基材混入別) ・光輝性緋による泥大島紬 ・白大島紬の試作 ・光輝性緋と新規素材による洋装品ネクタイ ・小物等の試作 ・光輝性緋によるデザインの開発(活用事例の提案)	・12色相環から高明度グループを取り出しLCGにより新規色の輪を創作する ・創作した色相環に基づき染料を選定し色見本帳を作成する ・白大島紬用の試作試験(色の輪、緋密度、色数、染料濃度、発色基材混入別)	・12色相環から低明度グループを取り出しLCGにより新規色の輪を創作する ・創作した色相環に基づき染料を選定し色見本帳を作成する ・白大島紬用の試作試験(色の輪、緋密度、色数、染料濃度、発色基材混入別)	—	県(工業技術センター)	
	3	2	1	中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(H25:ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業)	24～26年度	きめ細かく顧客ニーズをとらえる創意工夫に取り組むために、中小企業経営力強化支援法の認定経営革新等支援機関(認定支援機関)当と連携しつつ、ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等を支援する。	H24: 941 H25: 18,340 H26: 43,990	—	1 実施方針 事業の周知を図るために公募説明会の開催、中小企業支援機関、認定支援機関等との連携により実施。また公募申請書類の評価審査については第三者による評価委員会、審査委員会により行い、採択後は巡回等により採択企業を支援。 2 スケジュール ・公募(3・4・6月) ・採択(第1回一次公募4月、第二次5月、二次公募8月) 3 成果指標の目標値(補助件数・回数・人数など)等 ・補助件数(102件採択)	公募説明会の開催、評価・審査による採択案件の確定。採択企業に対する支援。 1 公募 第1回公募(3/15～4/15)、第2回公募(6/10～7/10) H25補正第1回公募一次締切(2/17～3/14) 公募説明会(4・6月、H25補正2月) 2 採択 第1回公募49件第2回公募53件 交付申請説明会(5・6・9月) 3 巡回、中間監査、確定検査 4 補助金交付	1.H24補正採択企業に対する確定検査・補助金交付 2.H25補正における公募及び採択企業に対する中間監査、確定検査 等	県中小企業団体中央会	中小企業庁、認定支援機関
○	3	2	1	クリエイティブタレント育成支援事業	25年度～	市内デザイナーのスキルアップや製造業者等のデザイン面での事業革新を支援するため、新たにデザインコンテストを開催するとともに、デザイン関連講座を充実し、デザイン産業の人材育成や本市商工業者のマーケティング力の向上及び製品等の競争力強化を図る。	H25: 13,820 H26: 11,424	—	—	1.「かごしまデザインアワード2013」の開催 ・6月～7月:課題提供企業募集 ・8月～11月:作品募集(応募件数:307作品) ・12月:1次審査 ・1月:2次審査 ・2月:最終審査(最優秀賞1件、企業賞5件、奨励賞2件選定) 2. デザイン関連講座の開催(10回) ・8月～9月:デザイン講座(5回) 定員:30名 ・10月～11月:ディレクター育成講座(5回) 定員:20名	1.「かごしまデザインアワード2014」の開催 ・6月:課題提供企業募集 ・8月～11月:作品募集 ・12月:1次審査 ・1月:2次審査、最終審査 2. デザイン関連講座の開催(10回) ・9月～12月:プロデューサー育成講座の開催	産業創出課	
	3	2	1	2段ろくろ開口装置による洋装化織物の研究	25～26年度(短期)	2段ろくろ開口装置を備えた織機は、多様な織物が製作可能であり、2段ろくろ開口装置を利用して大島紬の製造技術を生かした大島紬の洋装化製品の需要拡大を図る。	165	—	—	・経糸密度、緯糸密度変化による織物試作 ・経糸密度、緯糸密度変化による織物の風合い検討 ・2段ろくろ開口装置を備えた織機による変化組織織物試作	・経糸始末の検討(ストールなど) ・緋や泥染め技術を活かした洋装化製品の試作(ストール、ネクタイ)	県(工業技術センター)	
	3	2	1	大島紬アンテナショップ運営事業(鹿児島県ふるさと雇用再生特別基金) ※織姫館の機能は街なかサービス推進事業に引き継ぎ、大島紬の情報発信を行う。	21～23年度(短期)	多くの市民や観光客が訪れる中心市街地において、大島紬アンテナショップを運営することで、継続的な雇用創出を図り、日常的かつ継続的に本場大島紬に関する情報発信を行うことにより、その消費拡大につなげ、業界全体の活性化を図る。また、消費者の反応を調査することで、新商品開発に役立てる。	H22: 33,463 H23: 34,459	(22年度事業実績) 来館者数: 13,045人 試着体験: 431人 着物相談: 141人 販売先等紹介:117人 (23年度事業実績) 来館者数: 12,464人 試着体験: 237人 着物相談: 178人 販売先等紹介: 80人	—	—	—	産業支援課	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
3	2	2	1	特産品宣伝事業	—	特産品ガイドブックを作成・配布し、市内の優れた特産品をイベントなどあらゆる機会を利用し、市民はもとより県内外の多くの人々に紹介・宣伝し、需要の拡大と販路の拡大を図る。	H22:3,489 H23:6,854 H24:2,322 H25:3,186 H26:3,349	(22年度事業実績) ①特産品ガイドブック作成:23,000部 内訳 日本語版:20,000部 韓国語版:2,000部 繁体版:1,000部 ②特産品ガイドブックの配布:20,293部 内訳 日本語版:15,748部 外国語版:4,545部 〔英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語〕 (23年度事業実績) ①特産品ガイドブック作成:50,000部 内訳 日本語版:30,000部 外国語版:20,000部 〔英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語〕 ②特産品ガイドブックの配布:26,274部 内訳 日本語版:25,340部 外国語版:934部 〔英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語〕	(24年度事業実績) ①特産品ガイドブック作成:20,000部 内訳 日本語版:20,000部 ②特産品ガイドブックの配布:21,051部 内訳 日本語版:17,150部 外国語版:3,901部 〔英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語〕	1 実施方針 ①特産品ガイドブックの作成・配布 ・印刷内容 本市の主な特産品の案内文と写真等、鹿児島市工房MAP(工芸品の工房、特産品販売所の位置、連絡先)など ・主な配布先 観光案内所、県外での観光キャンペーン、物産展、ホテル等 2 スケジュール 年間を通して実施 3 事業実績 ①特産品ガイドブック作成:30,000部 内訳 日本語版:30,000部 ②特産品ガイドブックの配布:25,019部 内訳 日本語版:21,835部 外国語版:3,184部 〔英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語〕	1 実施方針 ①特産品ガイドブック作成:30,000部 ②特産品ガイドブックの配布 年間を通して実施	産業支援課	
3	2	2	1	伝統的工芸産業の活路開拓支援事業	S55年度～	伝統的工芸産業の産地組合が行う活路開拓事業に必要な経費を補助することにより、本市の伝統的工芸産業の振興を図る。	H23:8,842 H24:2,842 H25:2,842 H26:2,810	(23年度事業実績) ①市伝統的工芸産業活路開拓事業補助金(大島組) ・本場大島組広報宣伝(展示会開催等)事業 団体:本場大島組織物協同組合 補助額:8,500,000円 内容:大島組広報宣伝看板作成 大島組体験用きもの補修・大島組広報・展示会開催 ②市伝統的工芸産業活路開拓事業補助金(竹) ・ふれあい竹のいち開催事業 団体:鹿児島市竹工芸振興組合 補助額:100,000円 内容:第6回ふれあい竹のいち ③「薩摩焼フェスタ」の開催 実施主体:薩摩焼フェスタ実行委員会 負担金:242,000円	(24年度事業実績) ①市伝統的工芸産業活路開拓事業補助金(大島組) 団体:本場大島組織物協同組合 補助額:2,500,000円 内容:展示会開催・体験用きもの補修・大島組広報 ②市伝統的工芸産業活路開拓事業補助金(竹) 団体:鹿児島市竹工芸振興組合 補助額:100,000円 内容:第7回ふれあい竹のいち ③「薩摩焼フェスタ」の開催 実施主体:薩摩焼フェスタ実行委員会 負担金:242,000円	1 実施方針 ①市伝統的工芸産業活路開拓事業補助金(大島組) 団体:本場大島組織物協同組合 内容:大島組展示会開催・広報宣伝 ②市伝統的工芸産業活路開拓事業補助金(竹) 団体:鹿児島市竹工芸振興組合 ③「薩摩焼フェスタ」の開催 実施主体:薩摩焼フェスタ実行委員会 2 スケジュール ①市伝統的工芸産業活路開拓事業補助金(大島組)申請(8月) ②第6回ふれあい竹のいち開催(5月) ③「薩摩焼フェスタ」開催(11月)	1 実施方針 継続実施予定 2 スケジュール ①市伝統的工芸産業活路開拓事業補助金(大島組)申請(8月) ②第6回ふれあい竹のいち開催(5月) ③「薩摩焼フェスタ」開催(11月)	産業支援課 薩摩焼フェスタ実行委員会 (鹿児島県薩摩焼協同陶業組合、鹿児島市、鹿児島県、日置市、霧島市、始良市、(公社)鹿児島県特産品協会、(公社)鹿児島県観光連盟、南日本新聞社)	
3	2	2	1	かごしまのモノ作り体験学習支援事業	17年度～	県内高校生等を対象に、県特産品の歴史やブランドショップでの販売体験、工場見学・研修を通じ、本県特産品に対する若者の理解と認識を深めてもらい、将来的な需要拡大に繋げる。	—	県内高校生等を対象とした、本県特産品の販売体験、工場見学及び研修	県内の高校生を対象に、本県特産品についての学習やブランドショップでの販売体験、さつま揚げやガラス工芸等の工場見学・研修を実施	継続実施	—	公益社団法人鹿児島県特産品協会	
3	2	2	1	かごしまのいいもの情報発信支援事業	25年度～	ものづくり中小企業の製品の認知度向上及び販路拡大を図るため、かごしまのいいもの(製品)の情報を収集し、雑誌やテレビ番組等で紹介されるように首都圏のメディア等に向けて情報発信を行うとともに、企業のメディア等に向けた広報活動に対する助言・指導を行い、広報スキルの向上を図る。	H25:5,450 H26:5,724	—	—	(1)情報収集 118社 (2)情報発信 ・プレスリリース作成 18件(44社) ・プレス発表会の実施 3月6日開催(東京日本橋) メディア26社来場、出品18社 (3)助言・指導 ・「プレスリリースの書き方」セミナーの実施 1月27日開催(市会議室) 10社参加	継続実施予定	産業支援課	
3	2	2	2	販路開拓支援事業	22年度～	地域資源等を活かした新商品、新技術、新サービスの創出に取り組む中小企業の域外への販路づくりを支援するため、首都圏で開催される全国規模の展示会等に出展し、地元中小企業における地域資源を活用した新商品の新市場や販路の開拓を支援する。	H23:500	①商談会名:第25回東京ビジネスサミット2011In神戸 ②開催期間:H23年12月1日・2日 ③会場:神戸国際展示場 ④参加企業:3社	販路開拓に係るメール等による情報提供	販路開拓に係るメール等による情報提供	継続実施	商工会議所	
3	2	2	2	そうしん食&アグリビジネス交流会	20年度～	鹿児島県内の農畜産物・水産物生産者およびこれらの食品加工業者の販路拡大支援として、過去大小7回の商談会を実施した。また、平成23年度からは、鹿児島県の豊富な食と観光資源をまるごとPRし、多様な販路開拓支援を行うとともに、バイヤーや旅行エージェント等に、食と観光の情報発信と交流の機会を提供する商談会を開催している。	—	—	〔平成24年は10月24日に霧島市にて開催した。〕	〔平成25年10月19日、そうしん「食・観商談会」として指宿市にて開催〕	〔平成26年10月25日(土)、薩摩川内市にて開催予定。〕	鹿児島相互信用金庫	
3	2	2	2	ビジネスマッチング支援事業	—	県内中小企業の取引先開拓、販路開拓を支援するために県内外の発注企業を招へいし、県内受注企業との個別面談、交流懇談会を実施する。	H24:1,742 H25:1,893 H26:3,149	(23年度実績) 鹿児島県取引情報交換面談会の開催 日 時:平成24年2月7日(火) 参加企業:発注企業29社 受注企業57社 取引成約:13件	(24年度実績) かごしま取引商談会(鹿児島県取引情報交換面談会) 日 時:平成24年10月16日(火) 参加企業:発注企業29社 受注企業69社 取引成約:20件	(25年度実績) かごしま取引商談会(鹿児島県取引情報交換面談会) 日 時:平成25年10月22日(火) 参加企業:発注企業31社 受注企業66社 取引成約:12件	(26年度予定) かごしま取引商談会(鹿児島県取引情報交換面談会) 日 時:平成26年11月11日(火) ミニ商談会を2回開催予定	(公財)かごしま産業支援センター(取引振興課)	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
3	2	2	2	新市場販路開拓助成事業	14年度～	製品等の販路開拓を図るため、企業が県外の展示会等への出展に要する経費の一部を助成する。	H24:3,009 H25:2,006 H26:3,007	1 これまでの経過 県内の研究開発型企業等が出展する展示会やビデオ制作費の一部を助成することにより、製品・技術の販路開拓を図っている。 2 成果指標の実績値(補助件数・回数・人数など) 平成14年度から平成23年度まで91件の助成を行っている。	・経費助成 ・支援センターで大型展示会に出展し県内企業の製品を展示。 ・中小企業テクノフェア 4社 ・健康博覧会 6社	1 支援センターで大型展示会に出展し県内企業の製品を展示。 ・食品開発展 1協議会(7社) ・中小企業総合展 3社	継続実施予定	(公財)かごしま産業支援センター(新産業育成課)	県、大学、公設試等
3	2	2	2	JETRO WEBサイト(J-File)、メールマガジン(さくら通信)による情報提供	25年度～	ジェトロが実施するイベントや関係機関等が主催するイベントについて定期的に情報発信を図り、ジェトロのサービスを幅広くPRする。	—	—	—	事業概要の通り	継続実施予定	ジェトロ	
3	2	2	3	IT活用による市場拡大支援事業	25年度～	特産品の市場拡大を支援するため、これらの特産品に関する情報をタイムリー且つ的確に流通関係者へ提供するとともに、特産品の商品情報並びにバイヤー等をデータベース化し、インターネット上での商談の場を創出する。	—	—	—	インターネットを活用して特産品情報と流通関係者を一元管理し、的確かつタイムリーな①特産品情報提供、②商談機会の創出を行うためB to B(ビジネス専用)の商談サイト「かごしま伝・匠・美の館」を開始した。 登録状況 ・県内の生産・製造企業等:50社 約1,100品目 ・国内外の流通関係者等:90社 約200名	継続実施予定	公益社団法人鹿児島県特産品協会	
3	2	3	1	鹿児島ビジネス市場	17～23年度	取引先の拡大や技術提携、共同開発などのビジネスチャンスを創出することを目的に、交流のテーマを設定し、テーマに関心のある企業を集めて、商品・技術のプレゼンテーションや交流会を開催する。	H23:500	①日時:H23年3月4日 ②会場:鹿児島商工会議所 ③テーマ:逸品発掘!「我が社のメイドインかごしま」 ④内容:参加企業によるプレゼンテーション(15社)専用ブース・共同PRコーナーでの展示・交流会 ⑤参加者:53社、87名	—	—	—	商工会議所	
3	2	3	1	かごしま異業種交流支援事業	2～25年度	(支援の概要) 平成24,25年度はソーシャルメディア活用研究会の活動を支援 (目的、効果等) Facebook、Twitterに代表されるSNSやブログなどのソーシャルメディアをビジネスとして有効活用したい中小企業がソーシャルメディア技術と情報の受発信のノウハウを習得し、その活用を研究する中で、異業種交流による新たなビジネス展開を推進することを目的とする。 【効果】 異業種との交流により、研究テーマに沿った具体的なノウハウ・製品・サービス等を生み出す	H23:1,496 H24:1,490 H25:1,656	1 これまでの経過 (23年度事業実績) かごしまグリーンビジネス研究会 2 成果指標の実績値(補助件数・回数・人数など)等 会員数:9事業者 月例会:12回(4月～3月) かごしま環境フェア(1回:11月) 成果報告会(1回:3月) 交流会(3回:7月、11月、3月)	1 実施方針 ①ソーシャルメディア活用研究会 ②異業種交流会 2 スケジュール ①ソーシャルメディア活用研究会 月例会12回(毎月1回) ②異業種交流会 交流会1回(12月開催) 3 成果指標の実績値又は目標値(補助件数・回数・人数など)等 異業種連携交流によるソーシャルメディア活用ビジネスモデルの創出及び成長分野の新産業創出	○ソーシャルメディア活用研究会 1.月例会10回(毎月1回、4月～2月(10月除く)) 2.異業種交流会 交流会1回(1月) 3.視察研修 視察先:東京、参加者:10人 4.「中小企業によるソーシャルメディア活用の手引き」作成 5.成果報告会の開催 3月	—	事業者、鹿児島県中小企業団体中央会(組織振興課)、市(産業創出課)	
3	2	4	1	技術相談会	19年度～	中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、鹿児島TLOと連携して技術相談・技術提携などの相談会を実施する。	—	(H23年度事業実績) (1)H24年2月 第6回技術相談会を実施 6社参加	1 実施方針 中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、鹿児島TLOと連携して技術相談・技術提携などの相談会を実施する。 2 スケジュール ①平成24年度は実施せず。	1 実施方針 中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、鹿児島TLOと連携して技術相談・技術提携などの相談会を実施する。 2 スケジュール ①平成26年3月「第7回技術相談会」を実施 7社参加	継続実施予定	南日本銀行	鹿児島TLO
3	2	4	1	事業化研究会支援事業	13年度～	大学等の研究シーズをもとに、その事業化を目指す産学官の連携による研究会に要する経費の一部を助成する。	H24: 0 H25: 51 H26:302	(19年度事業実績) 4件 (20年度事業実績) 4件 (21年度事業実績) 2件 (22年度事業実績) 2件 (23年度事業実績) 1件	0件	1件	継続実施予定	(公財)かごしま産業支援センター(産学官連携課)	県、大学、公設試等
3	2	4	2	地域技術提携起業化事業 (H24は地域技術起業化助成事業)	2年度～	地域の4社以上の中小企業等のグループが行う、新技術または新製品の起業化に要する経費の一部を助成する。	H24: 0 H25: 0 H26:3,128	助成件数 19年度 1件 20年度 0件 21年度 0件 22年度 0件 23年度 1件	0件	0件	継続実施予定	(公財)かごしま産業支援センター(産学官連携課)	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等		
														拡充	
3	2	4	2	新事業研究開発助成事業 (H24までは研究開発助成事業)	S58年度～	研究開発型企業等が行う、新技術・新製品等の開発・試作に要する経費の一部を助成する。	H24:4,630 H25:6,418 H26:6,412	助成件数 19年度 5件 20年度 4件 21年度 2件 22年度 2件 23年度 3件	3件	3件	継続実施予定	(公財)かごしま産業支援センター (産学官連携課)			
3	2	5	2	専門家派遣事業	12年度～	創業者や経営革新を図る中小企業者が抱える経営、情報化、販売、マーケティング等のさまざまな問題に対して、当センターに登録している民間の専門家を派遣し、診断助言を行う。	H24:2,118 H25:3,723 H26:5,023	○企業に対する専門家の派遣(過去3年間) H21年度:12社 81回 H22年度:12社 72回 H23年度:7社 44回	○企業に対する専門家の派遣 H24年度:7社 38回	○企業に対する専門家の派遣 H25年度:12社 66回	○企業に対する専門家の派遣 H26年度:12社 87回(予定)	(公財)かごしま産業支援センター (相談経営課)			
3	2	5	2	現場改善サポーターズ事業	—	工場や売場など現場改善策を模索している小規模事業者等に、大企業等で実際に改善を担当してきた経験豊富な専門家等を企業に派遣し、現場の分析から具体的な改善策の提案、実施までを支援する。 ①現場カイゼン支援(工場向け) ②売場づくり支援(専門店向け)	—	23年度 ①製造現場改善支援 2事業所・延指導回数2回 ②売場づくり支援 12事業所・延指導回数12回	24年度 ①製造現場改善支援 2事業所・延指導回数2回 ②売場づくり支援 8事業所・延指導回数8回	25年度 ①売場づくり支援 8事業所・指導回数8回	売場改善サポーターズ事業として継続実施	商工会議所			
3	3	1	1	ソフトプラザかごしま管理運営事業	14年度～	本市情報関連産業の育成や地元中小企業の情報化を図るため、ソフトプラザかごしまの円滑な管理・運営を行う。	H23:26,211 H24:26,503 H25:27,775 H26:29,290	ソフトプラザかごしまの管理運営 入居用施設入居状況(H24.3月末現在) 全24室中16室入居 (県内枠:9室、誘致枠:4室、大学等枠:3室)	1 実施方針 本市情報関連産業の育成や地元中小企業の情報化を図るため、ソフトプラザかごしまの円滑な管理、運営を行う。  入居用施設入居状況(H25.3現在) 全24室中16室入居 (県内枠:7室、誘致枠:6室、大学等枠:3室)	1 実施方針 本市情報関連産業の育成や地元中小企業の情報化を図るため、ソフトプラザかごしまの円滑な管理、運営を行う。  入居用施設入居状況(H26.3現在) 全24室中16室入居 (県内枠:7室、誘致枠:6室、大学等枠:3室)	継続実施予定	産業創出課			
3	3	2	1	企業立地推進事業	S61年度～	【目的】 市外企業の誘致や地元企業の増設等による企業立地を戦略的に推進し、本市商工業の振興、ひいては雇用の拡大及び確保に繋げる。 【概要】 「鹿児島市企業立地推進方策」に基づき、重点産業の立地に向けた取組みを実施する。 <重点産業> ・食関連産業 ・成長分野に関連する新産業 ・都市機能の集積を生かした産業 <取組み> ・優遇制度の充実、企業が求める人材の育成等 ・情報収集及びPR、企業訪問等	H23:33,444 H24:98,408 H25:76,351 H26:152,046	(23年度事業実績) ・企業訪問活動 ・企業誘致PR ・パンフレットの作成、配布 ・専門誌への広告掲載 ・展示会への出展 ・立地協定:5社 ・ソフトウェア業:3社 ・コールセンター:2社 ・企業立地促進補助金:6社 ・製造業:2社 ・ソフトウェア業:2社 ・研究開発業:1社 ・コールセンター:1社 ・優遇制度の拡充(コンテンツ・デザイン関係の業種拡大、新規雇用の補助拡大等):23年4月～ アンケート調査(都市型産業):23年9月	1 実施方針、スケジュール 「鹿児島市企業立地推進方策」に基づき、重点産業の立地に向けた取組み。  ・展示会への出展:24年11月 ・食関連企業立地戦略調査:24年11月 ・新産業の立地のための研究	1 実施方針、スケジュール 「鹿児島市企業立地推進方策」に基づき、重点産業の立地に向けた取組み。  ・展示会への出展:25年11月 ・コールセンター、市内食品製造業者等への立地アンケート調査:25年12月 ・新産業の立地のための研究	2 立地協定:10社	1 実施方針、スケジュール 「鹿児島市企業立地推進方策」に基づき、重点産業の立地に向けた取組み。  ・展示会への出展:26年11月 ・新産業の立地のための研究	2 立地協定:1社(平成26年7月3日現在)	産業創出課	
3	3	2	1	コールセンターの魅力発見事業	25年度～	鹿児島市企業立地推進方策に基づき、本市が重点的に取り組んでいるコールセンターの誘致にあたり、従業員の採用支援などを行うことで、魅力ある立地環境づくりを進め、あわせて、就業機会の拡大を図る。	H25:757 H26:10,270	—	—	—	1 スケジュール 25年12月 企画提案競技告示 26年2月 委託業者決定 26年3月 事業開始 2 実施回数 学生向け会社説明会の開催 7回程度 求職者向けセミナーの開催 10回程度	実施回数(予定) 学生向け会社説明会の開催 7回程度 求職者向けセミナーの開催 10回程度	産業創出課		
4	1	1	1	中核的企業創出プログラム事業	20～29年度	自動車、電子、食品、成長産業(環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連産業)関連の有望な技術シーズ等を有するか、若しくはその市場に新たに参入する意思を持つ中小企業者に対して、本県において中核的企業(地域を牽引する中核的な企業として成長が期待される中小企業)としての創出に必要な各種事業の実施に要する経費の一部を助成する。	H24:14,142 H25:13,702 H26:14,536	○企業に対する助成金(過去3年間) H21年度:4社 H22年度:5社 H23年度:6社	○企業に対する助成 H24年度 新規:1社 継続:6社 事業費:14,142千円	○企業に対する助成 H25年度 新規:2社 継続:3社 事業費:13,702千円	○企業に対する助成 H26年度 新規:3社 継続:3社 事業費:14,536千円(予定)	(公財)かごしま産業支援センター (相談経営課)			
4	1	1	1	ビジネスセミナー	7年度～	中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、時事に応じたビジネスセミナーを実施する。	—	(H23年度事業実績) (1)H23年4月 セミナー「第15回接客・マナー研修」 (2)H23年8月 セミナー「ホームページの見直し方法」	1 実施方針 中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、時事に応じたビジネスセミナーを実施する。 2 スケジュール (1)H24年4月 セミナー「第16回接客・マナー研修」実施 (2)H24年11月 セミナー「第1回賃貸経営再生セミナー」実施 (3)H25年2月 セミナー「第2回賃貸経営再生セミナー」実施	1 実施方針 中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、時事に応じたビジネスセミナーを実施する。 2 スケジュール (1)H25年4月 セミナー「第17回接客・マナー研修」実施	継続実施予定	南日本銀行			
4	1	1	1	講習会・講演会	—	商工業者の事業発展に必要な企業経営に関わる知識や技術など様々なテーマに関する情報を提供する	H23:6,200 H24:6,490 H25:6,490 H26:6,490	23年度 20講座・1,533名受講	毎月1～2回程度実施	継続実施 23講座開催 1,554名受講	継続実施	商工会議所			

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
4	1	1	1	講習会・講演会	継続	鹿児島県の若手経営者、および後継者と弊行とが、共同して企業経営のあり方、地域経済、その他の諸問題について研究し、お互いの経営能力を高め、会員相互の交流を図ることを目的とする。	H25: 1,970 H26: 2,200	・集団指導: 5回 参加者数: 138名 ・個別指導: 28回 参加者数: 531名	・集団指導: 4回 参加者数: 114名 ・個別指導: 27回 参加者数: 502名	・集団指導: 4回 参加者数: 109名 ・個別指導: 24回 参加者数: 482名	【平成26年6月30日現在】 3企業 ・顧客確保に向けたWebサービスの導入と利用方法 ・ネットオークションの導入や登録について(2回) ・営業活動に係る接客マナーについて	かごしま市商工会	
4	1	1	1	南友会の運営	6年度～	鹿児島県の若手経営者、および後継者と弊行とが、共同して企業経営のあり方、地域経済、その他の諸問題について研究し、お互いの経営能力を高め、会員相互の交流を図ることを目的とする。	—	(H23年度事業実績) (1)H23年7月 セミナー 会員企業5社によるプレゼンテーション (2)H23年11月 講演会 「人生生きがい」 (3)H24年1月 セミナー 「社長直伝『仕事』の極意」 (4)H24年3月 セミナー 会員企業3社によるプレゼンテーション	1 実施方針 引き続き鹿児島県の若手経営者、および後継者と弊行とが、共同して企業経営のあり方、地域経済、その他の諸問題について研究し、お互いの経営能力を高め、会員相互の交流を図っていく。 2 スケジュール (1)H24年7月 セミナー「薩摩剣士単人が伝えたいもの」 (2)H24年11月 講演会 「自分をみつめて世界をみつめる」 (3)H25年1月 セミナー 「商売繁盛・人生繁盛は、こころ元氣から!」 (4)H25年3月 セミナー 「アベノミクスの本質」	1 実施方針 鹿児島県の若手経営者、および後継者と弊行とが、共同して企業経営のあり方、地域経済、その他の諸問題について研究し、お互いの経営能力を高め、会員相互の交流を図っていく。 2 スケジュール (1)H25年7月 セミナー 会員企業3社によるプレゼンテーション (2)H25年11月 講演会 「恵・転・逢・人」 (3)H26年1月 セミナー 「イチロー思考で成功をつかむ法」 (4)H26年3月 セミナー 「事業承継の問題点と対策」	継続実施予定	南日本銀行	
4	1	1	1	エキスパートバンク事業	—	経営や技術など様々な専門的課題を抱えている小規模事業者を支援するため、専門的な技術・ノウハウ等を有する各分野の専門家や企業OBを直接事業所に派遣し、具体的な実践的アドバイスを行い問題解決を図る。	H23: 5,900 H24: 5,900 H25: 5,900 H26: 6,000	・149事業所 ・延指導回数177回 (内鹿児島市内89回)	・171事業所 ・延指導回数200回	・168事業所 ・延指導回数213回	継続実施	商工会議所	
4	1	1	1	エキスパートバンク事業	—	小規模事業者が必要とする専門的・実践的技術・技能習得について、深い知識・実技・経験を有する専門家(エキスパート)を派遣し、具体的・実践的な事項について適切な指導・助言を行い、事業者の経営資質向上をめざす。	H24: 8,510 H25: 10,120	H23年度実績(鹿児島県全体) ・206企業、延指導回数631回 (内、かごしま市商工会9企業・29回)	H24年度実績(H24.12現在) ・228企業、延指導回数610回 (内、かごしま市商工会9企業・21回)	・228企業、延指導回数635回 (内、かごしま市商工会18企業・38回)	【平成26年6月30日現在】 3企業 ・顧客確保に向けたWebサービスの導入と利用方法 ・ネットオークションの導入や登録について(2回) ・営業活動に係る接客マナーについて	鹿児島県商工会連合会(かごしま市商工会)	
4	1	1	1	かしん経営大学	8年度～	経済に関する様々な知識の習得と異業種交流で事業計画作成に取り組む。	—	H23年度(第15期)までの延受講者数719名	継続実施 48名入学	継続実施 39名入学	継続実施 44名入学	鹿児島信用金庫	
4	1	1	1	かごしま若手経営者育成事業 (かごしま産業おこし郷中塾)	24年度～ (短期)	グローバル化の進展や人口減少、超高齢化社会の到来など、変革の時代に対応した戦略的産業興しを実践する人材の育成 【対象者】 40歳代までの、県内に本社又は事業所を有する中小企業の経営者、後継者等	H24: 25,569 H25: 18,906 H26: 28,755	—	カリキュラム(6月～2月 計5回) ①全体講義 経営哲学や先端事例等の講演 ②交流会 小グループでの議論、意見交換 ③実践講座(希望者のみ) 新規開発や販路拡大等の指導 ○参加者 80名(62社)	カリキュラム(6月～2月 計5回) ①全体講義 経営哲学や先端事例等の講演 ②交流会 小グループでの議論、意見交換 ③実践講座(希望者のみ) 新規開発や販路拡大等の指導 ○参加者 80名(63社)	カリキュラム(6月～2月 計6回) ①全体講義 経営哲学や先端事例等の講演 ②交流会 小グループでの議論、意見交換 ③実践講座(希望者のみ) 新規開発や販路拡大等の指導 ○参加者 81名(63社)	県(商工政策課)	
4	1	1	1	かしん創業プランセミナー (H25まで「かしんビジネスプランセミナー」)	24年度～	事業計画書作成を1日で学ぶセミナー	—	—	24年 9月19日 24年 9月26日 24年10月 3日 24年10月10日 24年10月17日 セミナー実施	25年 4月27日 25年 5月25日 25年 6月22日 25年 7月27日 25年 8月10日 25年 9月28日 25年10月26日 25年11月30日 25年12月14日 26年 1月25日 26年 2月22日 26年 3月22日 実施	継続実施 事業名改称 改称前:かしんビジネスプランセミナー 改称後:かしん創業プランセミナー 26年 4月25日 26年 5月 8日 26年 6月 5日 26年 7月 3日 26年 8月 7日 26年 9月 4日 26年10月 2日 26年11月 6日 26年12月 4日 27年 1月 8日 27年 2月 5日 27年 3月 5日	鹿児島信用金庫	
4	1	1	1	かしんトップマネジメント大学	22年度～	○本講座を受講し、受講内容を経営に取り込み、企業の業績を向上させるとともに鹿児島県経済の浮揚を図ることを目的とする。 ○税理士や中小企業診断士による講義。	—	継続実施	継続実施 第3期までの受講生数240名	25年10月 9日 25年12月11日 26年 2月12日 26年 4月 9日 実施	継続実施予定	鹿児島信用金庫	

事業等の実施状況等〔継続事業等〕

資料3

拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
	4	1	1	1	そうしんビジネス・イノベーション大賞	24年度～	地域経済の発展・振興等に優れた成果をあげた企業・団体を表彰し、地元中小企業の発展・育成に寄与することを目的とする。	—	—	※本件、平成24年度から実施するも、前年度報告時未掲載であったため今回掲載する。 平成24年9月～10月中旬に募集、同年10月中旬頃選考会実施、11月上旬に発表・表彰を実施。 表彰結果①大賞1社②準大賞1社③奨励賞2社④特別賞1社 なお、大賞(副賞100万円)、準大賞(50万円)等入賞者には賞金を授与	1. 実施方針 独自性・革新性・市場性・将来性・地域性の5つの視点から、革新的な製品・サービス・取り組みを行うことでイノベーション企業を発掘。これらの企業を「イノベーション大賞」として表彰することで地元中小企業の発展・育成に寄与する。 2. スケジュール 募集期間平成25年9月中、同年10月に選考会実施、同年11月中旬に発表・表彰を行った。 3. 成果等 今回は大賞1社、優秀賞2社、特別賞2社を選考	1. H26年度も継続実施予定 2. スケジュールは、9月中募集、10月選考会、11月発表表彰を予定	鹿児島相互信用金庫	
	4	1	1	1	ビジネスドクターナビ事業	25年度～	当所HP内に弁護士・税理士等の「土業」の専門家を資格ごとに案内する専用のページを開設し、事業者の課題解決のための土業者探しを支援する。	H25:150 H26:150	—	—	・登録専門家 54件	継続実施	商工会議所	
○	4	1	1	2	中小企業資金融資事業	S35年度～	本市中小企業者(事業協同組合等を含む)の資金調達を円滑にし、経営基盤の安定・強化を図る。 1. 制度を利用する中小企業者に対する信用保証料補助 2. 信用保証協会、商工中金に対する損失補償 3. 商工振興資金利子補給(旧松元町) 4. 災害対策資金の利用者に対する利子補給 5. 金融ガイドブックの作成	H24:366,910 H25:328,487 H26:323,814	(23年度実績) ①信用保証料補助(資金別件数) ・産業振興資金 1,119件 ・小規模企業支援資金 169件 ・特別小口資金 6件 ・短期事業資金 48件 ・経営安定化資金 緊急特別対策 352件 ・環境配慮促進資金 6件 ・災害対策資金 0件 ・創業支援資金 58件 ・新事業展開支援資金 7件 ②損失補償の実施 108件 ③商工振興資金に係る利子補給金 10件	(24年度実績) ①信用保証料補助(資金別件数) ・産業振興資金 1,104件 ・小規模企業支援資金 196件 ・特別小口資金 9件 ・短期事業資金 56件 ・経営安定化資金 247件 ・環境配慮促進資金 7件 ・災害対策資金 0件 ・創業支援資金 54件 ・新事業展開支援資金 3件 ②損失補償の実施 146件 ③商工振興資金に係る利子補給金 7件	(25年度実績) ①信用保証料補助(資金別件数) ・産業振興資金 1,111件 ・小規模企業支援資金 266件 ・特別小口資金 7件 ・短期事業資金 71件 ・経営安定化資金 111件 ・環境配慮促進資金 5件 ・災害対策資金 0件 ・創業支援資金 69件 ・新事業展開支援資金 8件 ②損失補償の実施 140件 ③商工振興資金に係る利子補給金 5件	1. 実施方針 本市中小企業融資制度の円滑な運用を図るとともに、経済状況に即応した事業資金調達が図られるよう適切に対応する。 (26年度変更点) ・取扱金融機関の拡大	産業支援課	
○	4	1	1	2	新規開業支援利子補給金交付事業	19年度～	創業支援資金を利用する創業者に対して、借入後当初12月以内に支払った利子相当額を補助する。 ただし、1件あたりの補助上限額は30万円とする。	H24:4,791 H25:4,324 H26:5,750	(23年度実績) ・37件	(24年度実績) ・45件	(25年度実績) ・46件	1. 実施方針 創業者に対し利子補給を行い、利払い負担の軽減を図ることをもって、創業期の経営安定と事業の健全な発展を支援する。 2. スケジュール 取扱期間の延長 ※H27.3月末までに融資実行された方が対象	産業支援課	
	4	1	1	2	県中小企業融資制度運営事業	14年度～	本県中小企業者の経営の合理化及び経営の安定強化に必要な資金の融資を行うことにより、中小企業者の振興を図る。	H23:191,400 H24:172,627 H25:24,306 H26:104,801	汎用資金、経済活性化支援資金、経営安定対策資金の運営に係る保証機関に対する保証料補助	継続実施	継続実施	継続実施予定	県(経営金融課)	
	4	1	1	2	ワンストップ専門相談事業	—	様々な専門的相談に対応するため、毎月第2水曜日の午後に、弁護士・税理士・中小企業診断士等の専門家による個別・無料の相談会を実施。 なお、うち2回は各地区に出張し、「出前会議所」ナンドモ相談会」として研修会等と併せて実施する。 また、毎週第2水曜日は夜間に相談窓口「水曜夜間相談所」を開設し、金融等の相談に対応する。	H23:250 H24:350 H25:500 H26:600	・ワンストップ相談件数 51件 ・出前会議所(2箇所)相談件数 19件	・ワンストップ相談件数 42件 ・出前会議所(2箇所)相談件数 27件	・ワンストップ相談件数 36件 ・出前会議所(2箇所)相談件数 28件	継続実施	商工会議所	
	4	1	1	2	「知的財産推進戦略」推進事業	19年度～	「鹿児島県知的財産推進戦略」に基づき、知的財産権制度の普及啓発及び相談窓口の設置などにより、本県の産業競争力の強化及び地域経済の活性化を図る。	H23:3,805 H24:3,797 H25:3,908 H26:3,777	1 知的財産セミナーの開催 2 知的財産センターの管理運営 3 知的財産活用推進員の配置 4 知財戦略推進会議及び知財戦略推進ネットワーク会議の開催	1 知的財産セミナーの開催 2 知的財産活用推進員の配置 3 知財戦略推進会議及び知財戦略推進ネットワーク会議の開催	1 知的財産セミナーの開催 2 知的財産活用推進員の設置 3 知的財産権制度に関する相談窓口の設置 4 知財戦略推進会議及び知財戦略推進ネットワーク会議の開催	1 知的財産活用推進員の設置 2 知的財産権制度に関する相談窓口の設置 3 知的財産に関するセミナー等の実施	県(産業立地課)	事業者、大学、関係支援機関等
	4	1	1	2	地域総合整備資金貸付事業	—	地域振興に資する民間事業活動等が積極的に展開されるように、地方公共団体が、(財)地域総合整備財団(通称:ふるさと財団)の支援を得て、民間事業者等に無利子資金の貸し付けを行う。	H22:600,000	1 これまでの経過 ・三越鹿児島店の撤退後、丸屋本社が進めた空きビル再生事業に対して地域総合整備資金貸付事業により無利子資金の融資を行った。 2 成果指標の実績値 ・呉服町6番街区等整備事業 600,000千円	・実績なし(活用団体なし)	・実績なし(活用団体なし)	継続実施予定	産業支援課	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡充 振興の 方向性	基本 方針	推進 施策	主な 取組 み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
				金融指導事業	—	小規模事業者・中小企業者の資金繰りを支援するため、マル経資金の推薦や、日本政策金融公庫・県市の制度融資の斡旋を行う	H22:1,800 H23:1,800 H24:1,800 H25:1,800 H26:1,800	・マル経推薦 50件	・マル経推薦 41件	・マル経推薦 49件	継続実施	商工会議所	
				金融指導事業	—	小規模事業者・中小企業者の資金繰りを支援するため、日本政策金融公庫・県市の制度融資の斡旋を行う	H25:899 H26:900	・斡旋件数:148件	・斡旋件数 120件 ・貸付件数 109件 ・斡旋金額 1,593,800千円 ・貸付金額 1,267,890千円	・斡旋件数 112件 ・貸付件数 108件 ・斡旋金額 1,540,920千円 ・貸付金額 1,465,620千円	【平成26年6月30日現在】 ・件数 20件 ・斡旋金額 415,900千円 ・貸付金額 320,900千円	かごしま市商工会	
				経営安定特別相談事業	—	倒産等の危機に直面している中小企業者に対して、商工調停士等の専門スタッフが再建の方策を講じ、問題の円滑な解決に向けた支援を行う	H22:1,200 H23:1,200 H24:1,200 H25:1,200 H26:1,200	・受付件数 20件 ・終結件数 14件	・受付件数 11件 ・終結件数 8件	・受付件数 14件 ・終結件数 10件	継続実施	商工会議所	
				経営安定特別相談事業	—	倒産等の危機に直面している中小企業者に対して、商工調停士等の専門スタッフが再建の方策を講じ、問題の円滑な解決に向けた支援を行う	H24:1,200 H25:1,117	・相談件数:30件(鹿児島県全体)	・相談件数:28件(鹿児島県全体)	H25年度実績 ・3事業所4回(かごしま市商工会)	【平成26年6月30日現在】 実績件数なし	鹿児島県商工会連合会(かごしま市商工会)	
				鹿児島県中小企業再生支援協議会	—	(九州経済産業局委託) 中小企業の再生に向けた取り組みを支援するため、産業活力再生特別措置法に基づき設置し、事業の将来性はあるが、財務上の問題を抱えている中小企業を対象に、経営改善計画策定支援及び計画策定後のフォローアップを行う。	—	・相談企業数 37企業 ・再生取組案件 6企業 ・完了案件 5企業	・相談企業数 63企業 ・再生取組案件 30企業 ・完了案件 26企業	・相談企業数 109企業 ・再生取組案件 78企業 ・完了案件 76企業	継続実施	商工会議所	
				事業承継相談ネットワーク	20年度～	中小企業の事業承継が円滑になされることは、地域の雇用の機会及び経済活力の維持にとって重要な課題である。その課題解決のために、地域における事業承継支援機関及び支援者(金融機関、税理士等)が連携し、地域に根ざした支援ネットワークを形成することが求められている。 当金庫とTKC九州会鹿児島支部と連携し、金融機関と税理士の連携による事業承継への課題解決に向けた取組を行うことを目的として設立し、本部及び営業店にて随時実施している。	—	—	平成25年2月19日に開催	平成25年11月13日に開催	継続実施予定	鹿児島相互信用金庫	TKC
				消費税転嫁対策相談窓口相談等事業	25年度～	2段階にわたる消費税率の引上げに備え、各地商工会議所において相談窓口を設置し、地域の中小・小規模事業者からの相談にワンストップで対応するため、個別相談派遣相談、講習会等を実施することで、地域の中小・小規模事業者が消費税率引上げ分を円滑・適正に価格に転嫁できるよう支援することを目的とする。	H25:5,700 H26:3,800	—	—	・講演会 17講座、679名受講 ・窓口相談 549件	継続実施	商工会議所	
				経営改善支援センター	25年度～	金融機関や税理士法人等の認定支援機関と連携して、自ら経営改善計画や再生計画を策定することが困難な中小企業・小規模事業者の改善計画等の作成を支援する。	H25:87,680 H26:59,070	—	—	・延相談件数 278件	継続実施	商工会議所	
				経営改善円滑化支援事業(経営改善アドバイザー)	25年度～	中小企業金融円滑化法の終了に伴い、増加が見込まれる経営改善計画作成等について迅速に対応するため、経営改善アドバイザーを1名設置し、計画作成に係る窓口相談等を行う。	H25:3,800 H26:3,770	—	—	・受付件数 48件	継続実施	商工会議所	
				中小企業等消費税転嫁円滑化総合対策事業(H25:消費税転嫁対策窓口相談等事業)	25年度～	2段階にわたる消費税率の引上げに備え、個別相談派遣相談、講習会等を実施することで、地域の中小・小規模事業者が消費税率引上げ分を円滑・適正に価格に転嫁できるよう支援することを目的とする。	2,965	—	—	セミナー3回開催 個別相談窓口設置1回 専門家派遣事業4回(見込)	セミナー8回開催 個別相談窓口設置12回 専門家派遣事業12回 転嫁・表示カルテル組成30組合 転嫁・表示カルテル機能強化支援5組合	鹿児島県中小企業団体中央会	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
4	1	1	3	中小企業新製品等利用促進庁内展示会	22年度～	本市中小企業の新製品・新技術の受注機会の支援を図るため、県のトライアル発注制度で認定された本市中小企業者の製品等について、市庁舎内で展示会を開催するほか、市関係課への製品説明会を実施し、本市による発注を促進する。 ・出展企業 ①県トライアル発注制度で認定を受けた製品等を開発した本市中小企業 ②「メイドインかごしま」支援事業(新商品販路開拓支援)で支援対象の中小企業	H23: 0 H24: 0	中小企業新製品等利用促進庁内展示会の開催 ・出展企業実績 (22年度) 展示会の開催 ①21・22年度認定分: 6社 ②22年度支援対象分: 4社 (23年度) 展示会の開催 ①23年度認定分: 5社 ②23年度支援対象分: 3社	1 実施方針 県のトライアル発注制度で認定された本市中小企業者の製品等について、市庁舎内で展示会を開催するほか、市関係課への製品説明会を実施し、本市による発注を促進する。 2 スケジュール 展示会開催(9月24日～28日)及び説明会 ・出展企業 ①24年度認定分: 4社 ②24年度支援対象分: 6社	1 実施方針 県のトライアル発注制度で認定された本市中小企業者の製品等について、市庁舎内で展示会を開催するほか、市関係課への製品説明会を実施し、本市による発注を促進する。 2 スケジュール 展示会開催(9月4日～10日)及び説明会 ・出展企業 ①25年度認定分: 4社 ②24、25年度支援対象分: 5社	継続実施予定	産業創出課 産業支援課	
4	1	1	3	トライアル発注・販路開拓支援事業	17年度～	県内の中小企業等が開発した製品等について、県の機関が試験的に発注するとともに、県外での展示会等への参加を促進することなどにより、販路の拡大・受注機会の拡大を図る。	H23: 5,878 H24: 5,878 H25: 5,473 H26: 6,011	(22年度事業実績) ・製品の応募数: 21社28製品 ・発注状況: 10社13製品 ・販路開拓支援: 助成企業4社 (23年度事業実績) ・製品の応募数: 24社25製品 ・発注状況: 12社12製品 ・販路開拓支援: 助成企業2社	1 トライアル発注事業の実施 県内の中小企業等が開発した新製品等を、県の機関が試験的に発注・使用 2 販路開拓支援事業の実施 トライアル発注選定企業が、当該製品等を県外での展示会等に出展する際の所要経費の一部を助成 (補助率1/2、上限30万円) (24年度事業実績) ・製品の応募数: 19社29製品 ・発注状況: 8社9製品 ・販路開拓支援: 助成企業4社	1 トライアル発注事業の実施 県内の中小企業等が開発した新製品等を、県の機関が試験的に発注・使用 2 販路開拓支援事業の実施 トライアル発注選定企業が、当該製品等を県外での展示会等に出展する際の所要経費の一部を助成 (補助率1/2、上限30万円) (25年度事業実績) ・製品の応募数: 14社24製品 ・発注状況: 9社9製品 ・販路開拓支援: 助成企業4社	1 トライアル発注事業の実施 県内の中小企業等が開発した新製品等を、県の機関が試験的に発注・使用 2 販路開拓支援事業の実施 トライアル発注選定企業が、当該製品等を県外での展示会等に出展する際の所要経費の一部を助成 (補助率1/2、上限30万円)	県(産業立地課)	
4	1	2	1	中小企業連携組織等支援事業 (組合等運営活性化支援事業 (組合青年部・後継者))	—	組合青年部会員、中小企業若手経営者及び後継者を対象に、組合設立の理念と重要性を次世代に引き継ぎ、また、若い経営者層の眼からみた新たな共同事業の可能性を模索するとともに、その過程において組合員間の連携を深めることにより、組合活動の活性化を模索する。また、組合の結束力強化のため、青年部組織の活性化を図る。	H23: 235 H24: 205 H25: 285	(平成23年度実績) 青年部研究会 回数: 1回 参加者延べ人数: 43人 青年部講習会 回数: 1回 参加者延べ人数: 48人	次世代を担う経営者の役割と組合運営、そして中小企業活性化に必要な知識を習得するため、講習会を開催する。また、各業界が抱える課題等については、その課題に沿ったテーマにおいて研究会を実施する。 【青年部講習会】1回開催 開催日: 平成24年12月6日 テーマ: 「社長! あなたについていきます!」と言われるリーダーの条件 講師: オリジン・コーポレーション 代表 杉井保之 参加者: 47人 【青年部研究会】1回開催 対象: (協)鹿児島県鉄構工業会 青年部会 開催日: 平成24年11月2日 テーマ: 東日本大震災に学ぶ 講師: エーユーエム構造設計株式会社 代表取締役 濱尾博文 参加者: 34人	【事業再構築】2回開催 テーマ: 職別工事業における共同事業の再構築について テーマ: 経営革新計画策定等による事業運営について 【経営強化・運営改善】2回開催 テーマ: 最新技術導入による自動車電装品整備への取り組み テーマ: 印刷会社の著作権セミナー～身近な事例から考える～ 【地域資源振興】3回開催 テーマ: 地方・地域を元気にする～地域資源の発掘と活用～ テーマ: 地域資源の振興を目指した商品づくりについて テーマ: 地域資源を活用した新商品開発 【環境・リサイクル】1回開催 テーマ: 県産材の需要拡大と循環型社会への対応 【危機対応】1回開催 テーマ: 危機対応の研究～事業継続計画策定のポイント～	組合を対象とし、テーマに基づき、研究会を開催する。テーマは以下の通り。 ・新規事業 対象: 鹿児島県旅行業(協) 開催日: 平成26年7月7日 テーマ: どうなるこれからの旅行業 講師: 五木田・三浦法律事務所南青山オフィス 弁護士 三浦雅生 ・環境リサイクル ・地域資源振興 ・事業再構築 ・経営強化・運営改善	鹿児島県中小企業団体中央会 (組織振興課・連携支援課)	県
4	1	2	1	中小企業指導団体助成事業	S28年度～	中小企業者及び事業協同組合等の総合的な向上改善と育成に努めている指導団体の事業の円滑な運営を促進する。	H23: 20,100 H24: 20,100 H25: 20,100	・鹿児島商工会議所 6,400,000 ・かごしま市商工会 10,500,000 ・県中小企業団体中央会 1,300,000 ・県商店街振興組合連合会 200,000 ・(一社)鹿児島市商店街連盟 1,500,000 ・(社)鹿児島県工業倶楽部 200,000	・鹿児島商工会議所 6,400,000 ・かごしま市商工会 10,500,000 ・県中小企業団体中央会 1,300,000 ・県商店街振興組合連合会 200,000 ・(一社)鹿児島市商店街連盟 1,500,000 ・(社)鹿児島県工業倶楽部 200,000	・鹿児島商工会議所 6,400,000 ・かごしま市商工会 10,500,000 ・県中小企業団体中央会 1,300,000 ・県商店街振興組合連合会 200,000 ・(一社)鹿児島市商店街連盟 1,500,000 ・(社)鹿児島県工業倶楽部 200,000	継続実施予定	経済政策課	
4	1	2	1	事業承継セミナー	22年度～	年1回の頻度で実施。小企業経営者の高齢化が進展し、円滑な事業承継の重要性が高まると同時に、税務や自社保など様々な側面からの対策を検討する必要性があるため、県内中小企業経営者の今後の事業承継対策に役立てることを目的として、「事業承継」のポイントをわかりやすく解説する「事業承継セミナー」を開催している。	—	—	平成25年2月19日に開催	平成26年3月11日に霧島市にて開催	継続実施予定	鹿児島相互信用金庫	中小企業基盤整備機構
4	1	3	2	地域中小企業外国出願支援事業	24年度～	経済のグローバル化による国際的な事業展開や知的財産権侵害品へ対応するため、中小企業の戦略的な外国への特許出願等に対してその費用の一部を助成する。	H24: 5,162 H25: 12,749 H26: 9,161	—	1. 特許出願支援 助成 3件 2. 商標出願支援 助成 1件	1. 特許出願支援 助成 4件 2. 商標出願支援 助成 2件	継続実施予定	(公財)かごしま産業支援センター (新産業育成課)	県、大学、公設試等
4	1	4	1	中小企業情報化促進事業 ※事業廃止後は、情報提供コーナーの運営と、セミナー及び交流促進については、ソフトプラザかごしま管理運営事業、新規創業者等育成支援事業でそれぞれ実施	13～24年度	ソフトプラザかごしまの情報提供コーナーの運営、情報化セミナーの開催等により、市内中小企業の情報化促進を図る。 また、入居企業をはじめ、市内の情報関連企業に対して、ソフト面から支援を行うことにより、情報関連産業の育成を図る。	H23: 1,143 H24: 1,434	(23年度実績) ○情報提供コーナーの運営 ・利用者 3,575件 ・図書等貸出 290件 ・会議室利用 479件 ○産学官共同セミナー等の開催 合計6回開催(349名参加) ○中小企業と入居企業との交流促進	○情報提供コーナーの運営 ○情報化セミナー等の開催 ○中小企業と入居企業との交流促進	—	—	産業創出課	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
4	1	4	1	ICT高度活用促進事業 (H24は情報化基盤整備基金事業)	2年度～	コンピュータ等の情報機器を活用する中小企業の情報化を支援することにより、経営の安定に寄与する。	H24: 1,517 H25: 3,756 H26: 5,728	① 電子商取引等IT活用を支援するセミナーの開催 鹿児島市など3地区 ② 情報化に関する相談にアドバイザーを派遣 2社	① 電子商取引等IT活用を支援するセミナーの開催 鹿児島市など3地区 ② 情報化に関する相談にアドバイザーを派遣 2社	① 電子商取引等IT活用を支援するセミナーの開催 鹿児島市など3地区 ② 情報化に関する相談にアドバイザーを派遣 4社	① 電子商取引等IT活用を支援するセミナーの開催 鹿児島市など2地区 ② 情報化に関する相談にアドバイザーを派遣 5社	(公財)かごしま 産業支援センター (総務情報課)	
4	2	2	1	情報誌作成事業	12年度～	研究開発型企業等や中小企業支援機関向けに産業技術及び産学官の連携に関する情報等の提供を行う。	H24: 791 H25: 768 H26: 1,144	(23年度実績) 情報誌「KISC」の発行 年6回(隔月発行) 2,500部/回	(24年度実績) 情報誌「KISC」の発行 年4回(季刊発行) 2,700部/回	(25年度事業計画) 情報誌「KISC」の発行 年4回(季刊発行) 2,700部/回	(26年度事業計画) 情報誌「KISC」の発行 年4回(季刊発行) 2,700部/回	(公財)かごしま 産業支援センター (総務情報課)	
4	2	2	1	メール配信サービス事業	—	当所セミナー等の各種事業や、関係団体事業、各種経営情報をタイムリーに案内するため、メールマガジンを発信。発行は毎月5日と20日。	0	登録企業数約2,100社	登録企業数約2,200社	登録企業数2,100社	継続実施	商工会議所	
4	2	2	1	中小企業・小規模事業者ワストップ総合支援事業(ミラサポ) (※H25は「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」)	25年度～	中小企業・小規模事業者(創業予定者含む)が専門家と経営・起業に関する情報交換や相談に対応できるように、ITクラウドを活用した経営支援システムを開発・運営をするとともに、高度な経営課題等の相談に対応するため、専門課派遣を行う。	—	—	—	専門家派遣実績数 11社、17件	継続実施	商工会議所・ かごしま市商工会	
4	2	2	2	輸出チャレンジ支援セミナー (ジェトロとの共催)	25年度～	輸出に興味のある中小企業者や、輸出チャレンジ支援事業の補助を受けた中小企業者を対象に、輸出に関するセミナーを実施し、新たに輸出にチャレンジする事業者の掘り起こしを行うとともに、輸出に関するスキルアップを図り、アジアへの販路開拓を促進する。	0	—	—	セミナーを開催(H26.1.29) ・第1部 事例報告(2社) ・展示会・商談会参加における体験談や反省点、成約へのハードル等を報告してもらい、参加者との意見交換を行った。 ・第2部 「貿易実務講座(初級編)」(ジェトロ主催) 参加者 47名、38社	継続実施予定	経済政策課	ジェトロ
4	3	1	1	ニュービジネスプランコンテスト事業	22年度～	新規創業者等の斬新なアイデアの事業化に対する支援を行うことにより、新事業の創出を促進し、本市の経済活性化を図る。	H23: 4,932 H24: 3,704 H25: 4,570 H26: 606	※H23年度まで:新事業創出・販路開拓支援事業 (23年度事業実績) ①ニュービジネスプランコンテスト 1件(報奨金1,000千円、施設使用料補助金330千円) ・対象:㈱SESH:受発注基盤ネットショップシステム ②産学連携支援 3件程度、補助上限額100万円(補助率1/2以内) 該当なし ③販路開拓支援 5件(補助金1,991千円) ・対象:㈱ワンネット:マイビク・ジャパン ・対象:一庵エッチングスタジオ:オリジナル焼酎ミニボトル ・対象:㈱ハラダ精工:ゴミステーション ・対象:㈱有村屋:さつま揚げ(レトルト) ・対象:Dog Company TSU:犬のおやつかごしま黒豚燻製「つん」	1 実施方針 ・募集件数:2件 ①新規創業者部門:1件 ②中小企業者部門:1件 ・支援内容 ①報奨金:100万円 ②施設使用料等補助(1年間) SP・SOHOの場合:上限69,000円/月 民間事務所の場合:上限50,000円/月 2 スケジュール ・募集:5～6月 ・決定:8月 3 対象 新規創業者部門:アグリエージェント 「鹿児島県の農の未来をプロモーション」 中小企業者部門:(株)フォーエバー 「人材マッチング・育成システム HOSHIKA～よか人材が欲しい～」	1 実施方針 ・募集件数:2件 ①新規創業者部門:1件 ②中小企業者部門:1件 ・支援内容 ①報奨金:100万円 ②施設使用料等補助(1年間) SP・SOHOの場合:上限69,000円/月 民間事務所の場合:上限50,000円/月 2 スケジュール ・募集:5～7月 ・決定:10月 3 対象 新規創業者部門:㈱ドリームワン カゴシマ 「鹿児島農業のICT見える化推進事業 ～農商工連携によるデータ経営への転換～」 中小企業者部門:㈱TSグループ 「～塗装職人を安定高収入な憧れの職業に～ "あなたの町の塗装屋さん"直売職人集団化計画」	事業終了 なお、平成25年度大賞受賞者に対する支援を継続	産業創出課	
4	3	1	1	ビジネスインキュベーション施設 ホームページリニューアル事業	25年度～	ビジネスインキュベーション施設であるソーホーかごしまとソフトプラザかごしまのホームページを統合、リニューアルすることで、本市の創業支援に係る取組みを一体的に紹介するとともに、リアルタイムに情報を発信する体制を構築する。	H25: 2,010	—	—	(1)新たなホームページの作成(デザイン等のリニューアル) (2)ソーシャルメディアページの構築 (3)スマートフォン対応サイトの構築	—	産業創出課	
4	3	1	1	創業応援ナビゲーター事業	25年度～	創業者向けのメール配信やHP、ブログ等を通じて、施策や会議所の情報を伝え創業相談者の創出を図る。	H25: 50 H26: 50	—	—	・登録者数 92名	継続実施	商工会議所	

事業等の実施状況等〔継続事業等〕

資料3

拡充 振興の 方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等	
○	4	3	1	2	新規創業者等育成支援事業	20年度～	新規創業者等の育成支援のため、次の事業を行う。 (1)ソフトプラザかごしま、ソーホーかごしま入居者等に対する経営・販路面のアドバイスなど、成長のための支援 (2)新規創業者に対する創業準備のための支援 (3)SOHO支援イベント、セミナー等の開催 (4)創業支援関係機関と連携した取り組み	H24: 6,922 H25: 7,760 H26: 9,482	(23年度実績) ①新規創業者支援 インキュベーション・マネージャー(IM)相談対応 443件 (相談内容) ・経営全般に関する事 ・事業計画に関する事 ・販路や販売戦略に関する事 など ②SOHO支援イベントの開催 (内容) 講演、パネルディスカッション ・平成23年6月11日 参加者86名 ・平成23年11月26日 参加者31名 ③ビジネススキル養成講座の開催(全9回開催) ・参加者 延べ160名	(24年度実績) ①新規創業者支援 インキュベーション・マネージャー(IM)相談対応 700件 (相談内容) ・経営全般に関する事 ・事業計画に関する事 ・販路や販売戦略に関する事 など ②SOHO支援イベントの開催 (内容) 講演、パネルディスカッション ・平成24年6月30日 参加者79名 ・平成24年12月8日 参加者25名 ③ビジネススキル養成講座の開催(全9回開催) ・参加者 延べ152名	鹿児島相互信用金庫への業務委託(H25.7～)により実施 ①新規創業者支援 インキュベーション・マネージャー(IM)相談対応 906件 (相談内容) ・経営全般に関する事 ・事業計画に関する事 ・販路や販売戦略に関する事 など ②創業・ビジネスセミナーの開催 創業スキル養成講座(6回シリーズ) 8/27～1/6開催 延べ参加者 365名 ・情報化セミナー(3回開催) 延べ参加者184名 ③販路開拓・マッチング支援 ④ソーシャルビジネス事業者への支援 ・相談・対応 ・アドバイザー派遣(実績6件)	鹿児島相互信用金庫への業務委託により実施 ①新規創業者支援 ・IM(2名)が経営面、販路面のアドバイスなど成長のための支援を行う。 ②創業・ビジネスセミナーの開催 ・創業スキル養成講座(6回シリーズ)基礎編 ・情報化セミナー(2回開催) ・ビジネスプラン作成講座(5回シリーズ)実践編 ・ビジネススキルアップセミナー ・入居者等勉強会 ③販路開拓・マッチング支援 ④ソーシャルビジネス事業者への支援 ・相談・対応 ・アドバイザー派遣(10件)	産業創出課	関係機関、民間企業等
	4	3	1	2	中小企業連携組織等支援事業 (組合等連携強化指導事業(創業・起業・新分野))	—	組合を対象とし、5つのテーマに基づき、セミナーを開催する。テーマは以下の通り。 ・事業再構築支援 ・新規事業展開 ・経営革新 ・労働問題 ・地域資源振興	H24: 850 H25: 1,205 H26: 1,300	(平成23年度実績) ・事業再構築支援 回数4回 参加者延べ人数49人 ・新規事業展開 回数:1回 参加者延べ人数:26人 ・環境リサイクル 回数2回 参加者延べ人数:88人 ・地域資源振興 回数2回 参加者延べ人数44人 ・事業転換支援 回数1回 参加者延べ人数26人	【事業再構築支援】 東郷物産販売(協)を対象に、共同販売及び販促事業の見直し及び活性化を目的に研究会を1回開催する。参加者人数延べ20名程度。 【新規事業展開】1回開催 対象:鹿児島県運動具小売商(協) 開催日:平成25年2月20日 テーマ:(仮)新規事業展開への取り組み～購買動向の変化に対応した販売戦略の研究～ 講師:(株)武宮スポーツ代表取締役 武宮兼敏 参加者:約30人 【経営革新】1回開催 対象:鹿児島県自動車整備(協) 開催日:平成25年1月11日 テーマ:新規事業展開への取り組みについて 講師:(株)中村輪業代表取締役 中村耕一 参加者:31人 【労働問題】1回開催 対象:鹿児島共同配車センター事業(協) 開催日:平成25年2月19日 テーマ:運輸業における労働問題 講師:社会保険労務士 畑野昌作 参加者:約20人 【地域資源振興】2回開催 対象:さつまいも産業振興(協) 開催日:平成24年8月28日 テーマ:鹿児島県特産品の販路拡大に向けて 講師:(有)ビジネスプランニング代表取締役 勝瀬 典雄 参加者:29人 対象:さつまいも産業振興(協) 開催日:平成25年3月4日 テーマ:地域特産品を活用した売れる商品づくりについて 講師:飯急百貨店 バイヤー(催事計画部長)薬師寺雅文 参加者:30人(見込み)	【事業再構築】2回開催 テーマ:設備工事における共同事業の再構築 テーマ:経営革新計画策定等による事業運営 【経営強化・運営改善】2回実施 テーマ:最新技術導入による自動車電装品整備への取り組み テーマ:身近な事例から学ぶ印刷会社の著作権セミナー 【地域資源振興】3回開催 テーマ:地方・地域を元気にする～地域資源の発掘と活用術～ テーマ:地域資源の振興を目指した商品づくりについて テーマ:(仮)地域資源を活用した新商品開発 【環境・リサイクル】1回開催 テーマ:県産材の需要拡大と循環型社会への対応 【危機対応】1回開催 テーマ:危機対応の研究～事業継続計画策定のポイント～	組合を対象とし、テーマに基づき、研究会を開催する。テーマは以下の通り。 ・危機対応 ・環境リサイクル ・地域資源振興 ・事業再構築 ・経営強化・運営改善 新規に経営強化・運営改善を実施予定。	鹿児島県中小企業団体中央会 (組織振興課・連携支援課)	県
	4	3	1	2	創業促進事業 (H25:地域需要創造型等起業・創業促進事業)	24～27年度	新たに起業・創業や第二創業を行う者に対して、その創業等に要する経費の一部を助成する事業で新たな需要や雇用の創出を図り、我が国経済を活性化させることを目的とする。	H24: 192 H25: 14,900 H26: 11,320	1 実施方針 3回の公募を行い、採択予定件数の達成を目指す。 2 スケジュール (1)公募(25年度中に公募3回を予定) (2)申請・選定作業等(公募ごとに書面審査、面接審査、地域審査を実施) (3)事業管理等(採択先に対する事業進捗ヒアリング及び事業完了後のフォローを実施) 3 成果指標の目標値(補助件数・回数・人数など)等 3回の公募により、申請予定件数333件、採択予定件数111件を目標値とする。 ※24年度は、第1回公募に向けた告知及び説明会開催準備を実施。	1 実施方針 公募に向けた広報、申請受付、選定作業並びに採択先に対する事業管理、事業後のフォローを実施することにより、新たな需要や雇用の創出を喚起して経済の活性化を図った。 2 実施内容 (1)第1回～第3回の公募に係る広報の他、書面審査、地域審査委員会、選定作業等採択に係る事業を実施、併せて交付決定手続きを行った。 第1回から第3回目までの応募件数は186件で、採択件数は107件であった。 (2)第1回から第2回交付決定者に対し、中間検査を実施し、併せて事業管理等のフォローを実施した。	1 今後の実施方針 公募に向けた広報、申請受付、選定作業並びに採択先に対する事業管理、事業後のフォローを実施することにより、新たな需要や雇用の創出を喚起して経済の活性化を図る。 2 スケジュール (1)第1回公募に係る書面審査、地域審査委員会、選定作業等採択手続き及び交付決定手続き (2)採択先に対する事業管理及びフォロー	県中小企業団体中央会	中小企業庁、認定支援機関	
	4	3	1	2	女性起業家育成事業	25年度～	地域に潜在している起業意欲を持った女性を対象に事業開始を目的として経営者としての基礎や商品開発等の学びの場のほかビジネスを通じた交流の場を提供する人材育成を推進する。	H25: 5,184 H26: 5,607	—	—	女性起業家育成スクールの開催 ・開催回数12回(12月～3月) ・参加者15名	女性起業家育成スクールの開催 ・開催回数:6回(6月～9月) ・定員15名	産業創出課	
	4	3	1	2	新規創業者等育成支援事業の受託	25年度～	鹿児島市から、市の新規創業者等育成支援事業について業務委託を受け、主にセミナーや新規創業のための講義等を実施する	—	—	—	①インキュベーションマネージャーの配置 ②小規模及び新規創業者等向けセミナー及び交流会開催 ③情報関連セミナーの開催(②・③で全16回程度) ④ビジネスマッチング交流会の開催(全2回程度) ⑤ソーシャルビジネス事業者支援(助言、マッチング支援、アドバイザー派遣、データベース蓄積) ⑥鹿児島市新規創業事業の広報・アンケート実施及び市インキュベーションセンターの入居者募集等	①インキュベーションマネージャーの配置 ②創業スキル養成講座(基礎編)(全6回開催) ③創業スキル養成講座(実践編)(全5回開催) ④情報関連セミナー、入居者勉強会の開催 ⑤ソーシャルビジネス事業者支援(助言、マッチング支援、アドバイザー派遣、データベース管理) ⑥鹿児島市新規創業事業の広報・アンケート実施及び市インキュベーションセンターの入居者募集等	鹿児島相互信用金庫	市

事業等の実施状況等〔継続事業等〕

資料3

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等	
	4	3	1	3	ソーホーかごしま管理運営事業	16年度～	SOHO事業者を育成、支援するための拠点施設「ソーホーかごしま」の管理・運営を行うことにより、ベンチャービジネスの展開や新規創業を促進し、本市経済の活性化を図る。	H23: 17,358 H24: 18,763 H25: 17,794 H26: 19,621	ソーホーかごしまの管理運営 入居用施設入居状況(H24年3月末現在) 全21室中19室入居 (企業:6、個人・グループ:8、NPO法人:4、一般社団法人1)	1 実施方針 SOHO事業者を育成、支援するための拠点施設「ソーホーかごしま」の管理・運営を行うことにより、ベンチャービジネスの展開や新規創業を促進し、本市経済の活性化を図る。 2 入居用施設入居状況(H25年3月末現在) 全21室中16室入居 (企業:4、個人・グループ:8、NPO法人:4)	1 実施方針 SOHO事業者を育成、支援するための拠点施設「ソーホーかごしま」の管理・運営を行うことにより、ベンチャービジネスの展開や新規創業を促進し、本市経済の活性化を図る。 2 入居用施設入居状況(H26年3月末現在) 全21室中18室入居 (企業:5、個人・グループ:10、NPO法人等:3)	継続実施予定	産業創出課	
	4	3	2	1	デザイン関連人材育成・交流支援事業	25年度～	デザイン関連人材のスキルアップ教育やデザイン関連イベント、企業とのマッチング等を支援することで、高度なデザインスキルを有する人材の輩出やその活用、デザイナーの情報発信等を図る。	H25: 4,524 H26: 27,540	—	—	・デザイン関連イベント(5回)、企業マッチングイベント(1回)の開催 ・デザイン関連スクールの開講準備(教室候補地の選定) ・デザイナー等データベース構築(28件) 実施時期:H26.1～	デザイン関連スクールを開講するとともに、引き続きデザイン関連イベント等を開催予定	産業創出課	
	4	3	2	2	中核的専門人材育成のためのグローバル・コンソーシアム参加	25年度～	平成25年度文部科学省委託事業「中核的専門人材育成のためのグローバル・コンソーシアム」(代表校:九州大学)に参加している。進展するグローバル化を視野に入れつつ、地方においてビジネスを発展させていく方策として、大学、短大、専門学校といった教育機関が、体系的なリカレント教育(社会人の学び)を担っていくプランを構築することを目的としている。	—	—	—	鹿児島商工会議所の協力のもと、鹿児島市の企業に対して、リカレント教育に関連したアンケート調査をおこなっている(現在集計中)。この結果を参考にし、本学が中心となり作成した原案を基に詳細なモジュールプランを作成する予定	継続継続予定	県立短大	
	4	3	2	2	商談スキルセミナー	25年度～	海外見本市や、国内商談会等の事前準備として、同セミナーを実施する。商談の成果をより高めるため商談のノウハウ等を提供する。	—	—	—	事業概要の通り	継続実施予定	ジェトロ	
	4	3	2	3	「地域ナレッジ活性化センター」の設置検討	H25年度	地域の知の拠点を構築するための学内組織を検討する。	検討中	—	個々の学内部局にて地域行政等との連携を行ってきた。	学内及び関係機関を交えての意見交換会を開催した。	「鹿児島COCセンター(仮称)」を設置予定	鹿児島大学	鹿児島県、鹿児島市、薩摩川内市、与論町
	4	3	3	1	ものづくり職人人材マッチング事業	23年度～	ものづくりを支える職人に興味のある若年者への職場体験等の場の提供やホームページを活用した職人等の魅力の情報発信により、担い手の掘り起こしを行い、ものづくり分野での就職・起業につなげる。	H23: 19,261 H24: 3,213 H25: 5,205 H26: 5,320	(23年度実績) ・事業所調査(訪問によるアンケート調査) 有効回答数 601社 ・イベント 参加者 503名 ・マッチング マッチング(就職) 3件、若年者の求職登録 87件 事業所の求人登録 12件	・イベント 参加者 36名 ・マッチング マッチング(就職) 5件、若年者の求職登録 186件 事業所の求人登録 15件	・イベント 参加者 26名 ・マッチング マッチング(就職) 10件、若年者の求職登録 332件 事業所の求人登録 44件	・イベントの実施 ・マッチング	雇用推進課	
	4	3	3	1	若年者のための就職面談会	—	厳しい雇用状況にある若年者の県内就職を促進するため、就職面談会を開催する。	—	(22年度実績) ・6月30日(鹿児島市) 参加企業:60社、参加求職者:558人 ・11月11日(鹿児島市) 参加企業:54社、参加求職者:340人 (23年度実績) ・6月30日(鹿児島市) 参加企業:73社、参加求職者:763人 ・11月2日(鹿児島市) 参加企業:68社、参加求職者:343人	(24年度実績) ・6月28日(鹿児島市) 参加企業:87社、参加求職者:735人 ・11月21日(鹿児島市) 参加企業:76社、参加求職者:395人 ・2月2日(鹿児島市) 参加企業:52社、参加者:143人	(25年度実績) ・6月27日(鹿児島市) 参加企業:106社、参加求職者:748人 ・11月21日(鹿児島市) 参加企業:82社、参加求職者:403人	継続実施予定	県、鹿児島労働局、鹿児島県若者就職サポートセンター	
	4	3	3	2	若年者就職サポート事業	16年度～	若年者の雇用状況の改善を図るため、求人数の減少や雇用面のミスマッチなどの課題に対応した取組みを実施する	H23: 435 H24: 324 H25: 429 H26: 563	(1)求人開拓 市職員が直接事業所(100社)を訪問し雇用枠拡大を要請 (2)キャリア形成ガイドブックの発行 セミナー等の紹介冊子を発行(10,000部) (3)高校生ステップアップセミナーの開催 市内高校3年生を対象に面接試験の対応研修を開催	(1)求人開拓 市職員が直接事業所(50社)を訪問し雇用枠拡大を要請 (2)キャリア形成ガイドブックの発行 セミナー等の紹介冊子を発行(10,000部) (3)高校生ステップアップセミナーの開催 市内高校3年生を対象に面接試験の対応研修を開催	(1)求人開拓 市職員が直接経済団体(25団体)を訪問し雇用枠拡大を要請 (2)キャリア形成ガイドブックの発行 セミナー等の紹介冊子を発行(10,000部) (3)高校生ステップアップセミナーの開催 市内高校3年生を対象に面接試験の対応研修を開催	(1)求人開拓 市職員が直接経済団体(25団体)を訪問し雇用枠拡大を要請 (2)キャリア形成ガイドブックの発行 セミナー等の紹介冊子を発行(10,000部) (3)高校生ステップアップセミナーの開催 市内高校3年生を対象に面接試験の対応研修を開催	雇用推進課	

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
拡充				①高齢者就業機会確保事業 ②団塊世代の就労促進事業 (※H26より、「団塊世代の就労促進事業」を統合)	①S56年度～ ②18年度～	臨時的・短期的な就業を通じて、定年退職者等に就業機会を提供するシルバー人材センターを育成することにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりを図り、活力ある地域社会づくりを推進するとともに、高齢者のもつ知識・経験や技能・技術を就労分野において積極的に活用促進する。	H23:46,355 H24:46,903 H25:49,820 H26:48,557	(1)シルバー人材センターへの補助 (2)高齢者無料職業紹介所等の設置 (3)団塊世代のITスキルアップ講座の開催(定員20人) (4)就労促進ガイドブックの発行 セミナー等の紹介冊子を発行(10,000部)	(1)シルバー人材センターへの補助 (2)高齢者無料職業紹介所等の設置 (3)団塊世代のITスキルアップ講座の開催(定員20人) (4)就労促進ガイドブックの発行 セミナー等の紹介冊子を発行(10,000部)	(1)シルバー人材センターへの補助 (2)高齢者無料職業紹介所等の設置 (3)団塊世代のITスキルアップ講座の開催(定員20人) (4)就労促進ガイドブックの発行 セミナー等の紹介冊子を発行(10,000部)	高齢者就業機会確保等事業へ統合	雇用推進課	
				若年者等雇用促進助成事業	21年度～	雇用環境の厳しい若年者等の正規雇用の機会を拡大するため、国のトライアル雇用事業によりトライアル雇用した市内事業主に対し、奨励金を支給する。	H23:14,993 H24:15,230 H25:12,686 H26:14,182	<対象者> 対象労働者:若年者等(40歳未満)、障害者、中高年齢者等 <奨励金の額> 1人 最大6万円(2万円×3月) ≪23年度支給実績≫ 216事業所 242人	トライアル雇用支援金を支給する。 <対象労働者> 対象労働者:若年者等(45歳未満)、障害者、中高年齢者等 <奨励金の額> 1人 最大6万円(2万円×3月) ≪24年度実績≫ 221事業所 243人	トライアル雇用支援金を支給する。 <対象労働者> 対象労働者:若年者等(45歳未満)、障害者、中高年齢者等 (※平成25年7月1日以降に雇用開始した事業主については申請日において引き続き対象労働者を雇用していること。) <奨励金の額> 1人 最大6万円(2万円×3月) ≪25年度実績≫ 171事業所 200人	トライアル雇用支援金を支給する。 <対象労働者> 市内に住所を有し(住民登録があること)、国のトライアル雇用事業または障害者トライアル雇用事業により市内に事業所を有する事業主に雇用された者。(※平成25年7月1日以降に雇用開始した事業主については申請日において引き続き対象労働者を雇用していること。) <奨励金の額> 1人最大12万円	雇用推進課	
				就職困難者等雇用促進助成事業	S63年度～	高齢者等就職困難者の雇用機会の増大及び雇用の定着を図るため、市内に事業所を有する中小企業等の事業主が、市内に住所を有する就職困難者等を継続して雇用する労働者として雇い入れた場合に、事業主に対し奨励金を支給する。	H23:3,708 H24:2,742 H25:4,775 H26:3,779	<対象者> 対象労働者:市内に住所を有する身体障害者等、高齢者、精神障害者、母子家庭の母等及びその他就職が特に困難なもの <奨励金の額> 重度障害者、精神障害者等:月額6,000円を12ヶ月間 重度以外の障害者:月額3,000円を12ヶ月間 高齢者(60歳以上)、母子家庭の母等、その他:月額3,000円を6ヶ月間 ≪23年度支給実績≫ 155事業所 170人	就職困難者等雇用奨励金を支給する。 <対象者> 対象労働者:市内に住所を有する身体障害者等、高齢者、精神障害者、母子家庭の母等、父子家庭の父及びその他就職が特に困難なもの <奨励金の額> 重度障害者、精神障害者等:月額6,000円を12ヶ月間 重度以外の障害者:月額3,000円を12ヶ月間 高齢者(60歳以上)、母子家庭の母等、父子家庭の父及びその他:月額3,000円を6ヶ月間 ≪24年度実績≫ 122事業所 135人	就職困難者等雇用奨励金を支給する。 <対象者> 対象労働者:市内に住所を有する身体障害者等、高齢者、精神障害者、母子家庭の母等、父子家庭の父及びその他就職が特に困難なもの <奨励金の額> 重度障害者、精神障害者等:月額6,000円を12ヶ月間 重度以外の障害者:月額3,000円を12ヶ月間 高齢者(60歳以上)、母子家庭の母等、父子家庭の父及びその他:月額3,000円を6ヶ月間 ≪25年度実績≫ 205事業所 229人	就職困難者等雇用奨励金を支給する。 <対象者> 対象労働者:市内に住所を有する身体障害者等、高齢者、精神障害者、母子家庭の母等、父子家庭の父及びその他就職が特に困難なもの <奨励金の額> 重度障害者、精神障害者等:月額6,000円を12ヶ月間 重度以外の障害者:月額3,000円を12ヶ月間 高齢者(60歳以上)、母子家庭の母等、父子家庭の父及びその他:月額3,000円を6ヶ月間	雇用推進課	
				IT人材育成事業	22年度～	新卒未就職者をはじめとする若年者を対象に、産学研修や職場実習を通じて、情報・通信分野における人材の育成を図る。	H23:44,674 H24:44,119 H25:34,264 H26:35,590	○雇用の創出とともに、産学研修や職場実習を行う。(22年6月補正により、7月から実施) ○H22年度 新規雇用者数 20人 ○H23年度 新規雇用者数 20人	○雇用の創出とともに、産学研修や職場実習を行う。 ○H24年度 新規雇用者数 21人	○雇用の創出とともに、産学研修や職場実習を行う。 ○H25年度 新規雇用者数 15人	○雇用の創出とともに、産学研修や職場実習を行う。 ○H26年度 新規雇用予定者数 15人	雇用推進課	
				若年者緊急雇用支援事業(雇用基金)	24～25年度	厳しい雇用環境に置かれている若年者の再就職を支援するため、就業に必要な知識・技術を習得させる研修を行うとともに、県内企業等への一定期間派遣による雇用機会の提供を行うことにより、派遣期間終了後の常用雇用を目指す。	H24:35,491 H25:39,333	—	・雇用人数:60人 ・雇用期間:2月～3月	・雇用人数:60人(継続) ・雇用期間:4月～6月	—	県	
				鹿児島県若者就職サポートセンター事業(厚生労働省委託)	22年度～	地元企業の人材確保、若年者の雇用拡大を図るため、厚生労働省の委託事業である若年者地域連携事業を受託し、若年者を対象とする就職相談会の開催やカウンセリング、若年者雇用に向けた企業の発掘及び支援を行う。ヤングハローワークとの併設により若年求職に対するワンストップ機能の提供を行う。 ①若年者地域連携事業 ・若年者の採用拡大のための広報・啓発 ・若年者に対する就職相談会の実施 ・就職活動支援講座 ・若手経営者と語ろう会 ・面接サポート交流会 ・コミュニケーション能力アップ講座 ・就職内定者に対する講習会 など	—	・センター利用の登録 新規登録人数3,406人、就職者数418人 ・カウンセリングの実施 相談件数2,535件 他	・センター利用の登録 新規登録人数3,459人、就職者数443人 ・カウンセリングの実施 相談件数2,535件 他	・センター利用の登録 新規登録人数3,211人、就職者数427人 ・カウンセリングの実施 相談件数2,535件 他	継続実施	商工会議所	
				鹿児島県ジョブ・カード企業支援センター	20年度～	地元企業の人材不足を解消するため、厚生労働省の委託事業であるジョブ・カード事業を受託する。 ①ジョブ・カード制度の普及、啓発 ②ジョブ・カード制度を利用した職業訓練生の受入企業の開拓 ③企業における職場実習・産学研修の実施支援 ④ジョブ・カード普及サポーター企業の開拓 ⑤在職労働者に対するキャリア・コンサルティング実施体制の整備支援	—	・訓練計画確認経済事業所:30 ・訓練開始件数:23コース ・ジョブ・カード普及サポーター企業登録事業所:177	・訓練計画確認経済事業所:40 ・訓練開始件数:46コース ・ジョブ・カード普及サポーター企業登録事業所:232	・訓練計画確認経済事業所:302事業所427コース ・訓練開始件数:247コース ・ジョブ・カード普及サポーター企業登録事業所:314コース	継続実施	商工会議所	
				そうしんカバン持ち体験事業	23年度～	学生が企業の社長を初めとした経営幹部の"カバン持ち"をすることで一日中行動を共にし、企業トップの行動や発言に直接触れ、その体験をもとに「自己の将来の"キャリアデザイン"を考えるというインターンシップとして開催する。	—	—	平成24年度は、8月から9月に3日間実施した。	以下の日程で開催 ①学生向け事前学習:平成25年8月に2日間 ②企業向け研修として平成25年8月から3日間 ③研修報告会を平成25年10月に実施	以下の日程で開催 ①学生向け事前学習:平成26年8月に2日間 ②企業向け研修として平成26年8月から3日間 ③研修報告会を実施予定	鹿児島相互信用金庫	鹿児島国際大

## 事業等の実施状況等〔継続事業等〕

拡 充	振 興 の 方 向 性	基 本 方 針	推 進 策	主 な 取 組 み	事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等	
		4	3	3	2	就活フォーラム	23年度～	新社会人となる前の大学生の「就業力」アップの支援を目的に、地域貢献活動の一環として実施する。	—	平成24年1月14日に実施	平成25年2月5日に開催	「かごしまIT就職フェア」の実施と兼ねる	日程未定	鹿児島相互信用金庫	鹿児島国際大 鹿大
○		4	3	3	2	障害者技能向上支援事業	25年度～	障害者の雇用促進につなげるため、特別支援学校の生徒を対象に技能体験教室や職場見学を実施し技能向上の機会を提供するとともに、新たにアビリンピック出場を目指す従業員を雇用している事業主に対し技能留得に要する経費を助成する。	H25:562 H26:626	—	—	・障害者技能労働者奨励金の支給 40,000円(10,000円×4人) ・技能体験教室の開催 3回 15名参加(延べ人数) ・職場見学の開催 3回 20名参加(延べ人数)	・障害者技能労働者奨励金の支給 ・技能体験教室の開催 ・職場見学の開催 ・障害者技能向上奨励金の支給	雇用推進課	
		4	3	3	2	長期実践型インターンシップ事業	25年度～	長期間にわたるインターンシップのコーディネートを行い、大学生等に対し、仕事や地元企業を知り就職のイメージをつかんでもらう機会を提供するとともに、中小企業の事業拡大の支援を行う。	H25:15,610 H26:8,838	—	—	・長期間のインターンシップの実施 13社19人 ※鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し実施。 新規雇用者 4人	・長期間のインターンシップの実施 ※鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し実施。	雇用推進課	
		4	3	3	2	仕事・職業人情報発信事業	25年度～	インターネット等による様々な仕事や職業人等の魅力の情報発信などにより、就職活動中の学生等の情報収集を支援するとともに、職業観の醸成を促し、離職率の抑制や雇用のミスマッチの解消を図る。	H25:5,790 H26:5,346	—	—	・インターネットを活用した様々な仕事や職業人等の魅力の情報発信 ・若者と職業人との対話イベントの開催 ※鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し実施。 新規雇用者 2人	・インターネットを活用した様々な仕事や職業人等の魅力の情報発信 ・若者と職業人との対話イベントの開催 ※鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し実施。	雇用推進課	
		4	3	3	2	若年者就職応援事業(雇用基金)	25年度～	厳しい雇用環境に置かれている若年者の再就職を支援するため、就業に必要な知識・技術を習得させる研修を行うとともに、県内企業等への一定期間派遣による雇用機会の提供を行うことにより、派遣期間終了後の常用雇用を目指す。	39,390	—	—	・雇用人数:30人 ・雇用期間:10月～2月	—	県	
		4	3	3	2	若年者雇用・人材育成事業(雇用基金)	25～26年度	潜在的な求人意欲のある創業間もない地元企業等において、地域資源を活用した新商品開発や販路開拓等の事業拡大に必要な人材を確保するため、若年未就職者を雇用し、人材育成を行うとともに、当該企業の成長を通じ今後の県内雇用の受け皿の拡大を図る。	140,273	—	—	・雇用予定人数:150人 ・事業実施期間:12月～3月	・雇用予定人数:150人(継続) ・事業実施期間:4月～11月	県	
		4	3	3	2	かごしまIT就職フェア	25年度～	人材不足に悩む県内IT企業が学生にPRする場を提供するとともに、IT系企業への就職を望む学生等を支援する。就職支援等を通して鹿児島市経済の活性化、インキュベーション施設(ソフトプラザかごしま)の周知を図る。	—	—	—	平成26年2月27日に実施。 平成27年3月卒業予定の学生、若年既卒者50名程度を対象に、企業プレゼンや企業個別訪問を通じて県内IT企業をあっせんするとともにIT企業の新入社員の実験発表会や講演会等を実施。	平成26年度継続実施予定スケジュール等は検討中、今年度とほぼ同様のスケジュールを予定。	鹿児島相互信用金庫	・鹿児島市 ・(一社)鹿児島県情報サービス産業協会
		4	3	3	3	UIターンフェア“かごしま”&県内就職合同面接会	—	県内企業の人材確保と、鹿児島県へのUIターン希望者の就職を促進するため、就職面接会を開催する。	H22:1,306 H23:1,583 H24:1,583 H25:1,583	(23年度事業実績) ・8月12日開催(鹿児島市) 参加企業:85社、参加求職者:387人	・8月10日開催(鹿児島市) 参加企業:85社、参加求職者:364人	・8月12日開催(鹿児島市) 参加企業:90社、参加求職者:318人	継続実施予定	県、鹿児島労働局	
		4	3	3	3	ふるさと人材相談室の運営	—	県内企業の人材確保を図るため、東京、大阪及び鹿児島において、県内企業の中核的な人材となるようなUIターン希望者を対象とした無料職業紹介を実施する。	H22:4,371 H23:5,297 H24:4,884 H25:4,882	(23年度事業実績) ・県内企業とUIターン希望者に対する無料職業紹介の実施 ・県ホームページや、リーフレットの作成・配布による事業のPR ・企業訪問による求人開拓 等	同左	同左	継続実施予定	県	
		4	3	3	4	勤労者交流センター管理運営事業	12年度～	勤労者の余暇活用の充実と相互交流を促進するため、勤労者交流センターを設置する。	H23:69,693 H24:69,336 H25:69,866 H26:71,708	〔管理運営〕 ・委託先:(財)市中小企業勤労者福祉サービスセンター ・業務内容:施設の維持管理、施設等の使用許可、使用料の収納 など	〔管理運営〕 ・委託先:(財)市中小企業勤労者福祉サービスセンター ・業務内容:施設の維持管理、施設等の使用許可、使用料の収納 など	〔管理運営〕 ・委託先:(公財)市中小企業勤労者福祉サービスセンター ・業務内容:施設の維持管理、施設等の使用許可、使用料の収納 など	〔管理運営〕 ・委託先:(公財)市中小企業勤労者福祉サービスセンター ・業務内容:施設の維持管理、施設等の使用許可、使用料の収納 など	雇用推進課	
		4	3	3	4	中小企業勤労者総合福祉推進事業	5年度～	本市の中小企業勤労者に総合的な福利厚生事業を提供する(公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターを育成することにより、中小企業勤労者の工場を図るとともに中小企業の振興、地域社会の活性化に寄与する。	H23:13,615 H24:13,615 H25:13,615 H26:13,615	(財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営に係る経費及び健康の維持増進事業に係る経費の一部を助成する。	(財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営に係る経費及び健康の維持増進事業に係る経費の一部を助成する。	(公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営に係る経費及び健康の維持増進事業に係る経費の一部を助成する。	(公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営に係る経費及び健康の維持増進事業に係る経費の一部を助成する。	雇用推進課	

事業等の実施状況等〔継続事業等〕

資料3

振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	事業・事業名	事業期間	事業概要	事業費 (千円) <small>決算(見込)額 または予算額</small>	23年度までの実施状況	24年度の実施内容	25年度の実施内容	26年度以降の実施計画	実施主体 (所管)	関係機関等
4	3	3	4	労働関係相談及び雇用促進事業	S49年度～	(1)雇用相談 市民の方々が職業相談ができるよう、市役所東別館1階市民相談センター内に雇用相談室を設けている。 【内容】 職業相談、雇用相談、求人・求職情報の広報、職場適応相談、雇用保険の相談、労働環境の相談 (2)雇用労働会議 雇用労働問題について、経済団体、労働団体、行政機関が一堂に会し、各団体の取組状況などについて、意見交換を行い、相互の理解と連携を深める。	H23:2,495 H24:2,488 H25:2,247 H26:2,595	(1)雇用相談 インターネットを活用した求人情報の提供 団塊世代を対象とした相談窓口の開設 シルバー人材センターコーディネーターによる事業紹介等 無料職業紹介の開設 【23年度実績】 相談件数:279件 (2)雇用労働会議 雇用労働会議の開催 (出席団体:8機関(国2、県2、関係機関4))	(1)雇用相談 インターネットを活用した求人情報の提供 団塊世代を対象とした相談窓口の開設 シルバー人材センターコーディネーターによる事業紹介等 無料職業紹介の開設 【24年度実績】 相談件数:217件 (2)雇用労働会議 雇用労働会議の開催 (出席団体:8機関(国2、県1、関係機関5))	(1)雇用相談 インターネットを活用した求人情報の提供 団塊世代を対象とした相談窓口の開設 シルバー人材センターコーディネーターによる事業紹介等 無料職業紹介の開設 【25年度実績】 相談件数:247件 (2)雇用労働会議 雇用労働会議の開催 (出席団体:7機関(国3、県1、関係機関3))	(1)雇用相談 ハローワークの求人情報のオンライン提供を活用した求人情報の提供(9月～) シルバー人材センターコーディネーターによる事業紹介等 無料職業紹介の開設 (2)雇用労働会議 雇用労働会議の開催	雇用推進課	
4	3	3	4	中小企業退職金共済掛金補助事業	S52年度～	市内中小企業の中小企業退職金共済制度及び特定退職金共済制度への新規加入を促進することにより、中小企業勤労者の福祉の増進に寄与する。	H23:6,544 H24:8,924 H25:3,144 H26:5,372	<対象者> 次の要件を全てに該当する共済契約者(事業主) ・市内に事務所または事業所を有する者 ・新規に共済契約を締結した月から引き続いて12か月分の掛金を納付している共済契約者 <補助金額> 被共済者1人につき、掛金の額(掛金の額が5,000円を超える時は5,000円)の12か月分に相当する額に100分の20を乗じて得た額 ≪交付実績≫ 68事業所(491人)	<対象者> 次の要件を全てに該当する共済契約者(事業主) ・市内に事務所または事業所を有する者 ・新規に共済契約を締結した月から引き続いて12か月分の掛金を納付している共済契約者 <補助金額> 被共済者1人につき、掛金の額(掛金の額が5,000円を超える時は5,000円)の12か月分に相当する額に100分の20を乗じて得た額 ≪交付実績≫ 61事業所(649人)	<対象者> 次の要件を全てに該当する共済契約者(事業主) ・市内に事務所または事業所を有する者 ・新規に共済契約を締結した月から引き続いて12か月分の掛金を納付している共済契約者 <補助金額> 被共済者1人につき、掛金の額(掛金の額が5,000円を超える時は5,000円)の12か月分に相当する額に100分の20を乗じて得た額 ≪交付実績≫ 47事業所(163人)	<対象者> 次の要件を全てに該当する共済契約者(事業主) ・市内に事務所または事業所を有する者 ・新規に共済契約を締結した月から引き続いて12か月分の掛金を納付している共済契約者 <補助金額> 被共済者1人につき、掛金の額(掛金の額が5,000円を超える時は5,000円)の12か月分に相当する額に100分の20を乗じて得た額	雇用推進課	
4	3	3	4	子育て応援企業登録事業	—	一般事業主行動計画(次世代育成支援対策推進法に基づく。)を策定し、従業員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業を「かごしま子育て応援企業」として登録し、広く県民に紹介することで社会的に評価される仕組みを作り、県内企業の子育て支援に対する自主的な取組を促進する。	H22:227 H23:294 H24:— H25:—	(23年度実績) ・平成24年1月4日現在の登録企業数:122社 ・登録企業の名称、取組内容等を県ホームページ、広報紙、ハローワークや若者就職サポートセンターにおける就職窓口等で紹介	・平成25年2月1日現在の登録企業数:161社 以下同左	・平成26年2月3日現在の登録企業数:228社 以下同左	継続実施予定	県	